夕刊
滿洲日報
一月十八日

近づいたロンドン會議

各國全權、顧問は十九日中に全部勢揃ひ

【ロンドン十七日發電】米全權に引續きイタリー首席全權グランヂ海相は本日午後ロンドン到着、佛外相ブリアン氏は明十八日佛首相タルヂユ氏も十八日午後到着し、其他の佛伊全權、顧問等も續々着京、十九日午後までには全部揃ふはず、なほ此等の正式歡迎はしないと

日本側の全員會議 萬遺漏なき對策を協議

【ロンドン十七日發電】日本全權事務所では本日午後二時半から三時間に亘り若槻全權以下各員の總會議を開き米全權一行の着英に對する日本側の對策につき協議し萬遺漏なきを期する事となつた若槻全權は更に今度マ首相と會見すべく米全權とも近日中に會見の運びとなるであらう

打ち合せ更に主力艦々型、備砲口徑縮小問題に關して意見の交換をなしたものと解せられて居る、會見終るやスチムソン長官は直ちにホテルリツツに引返し各國新聞記者と會見した

米全權着英 一行は總勢百五十名 ロンドン到着多數出迎裡に

【プリマウス十七日發電】ロンドン會議アメリカ全權一行はジョージ、ワシントン號で本日早朝當港着、駐英アメリカ大使ドーズ氏プリマウス市長其他多數の出迎へを受け汽車でロンドンへ向つた、ロンドンには本日午後到着のはず、なほ一行は全權隨員の夫人連に二十餘名のタイピスト等及び四十名の新聞記者を加へて總勢百五十名である

【ロンドン十七日發電】ロンドン會議アメリカ全權スチムソン氏一行は午後二時少し前特別列車でパディングトン停車場に到着、英外相ヘンダーソン氏、外務省高官連在英アメリカ大使館員、在留アメリカ人等多數の出迎へを受けた、日本側よりは齋藤情報部長が代表として出迎へた

米全權一行 車中會議

【ロンドン十七日發電】米全權一行着英に依り軍縮に對する一般の注目は俄に高まつた一行の汽車は皇室用の特別列車で、プリマウスからロンドンまで二百二十六哩を四時間二十分で突破したがスチムソン氏はプリマウスを發するや直にドーズ大使、ギブソン全權等と初會議を車中に開き交々情報を報告するところあり、殊に最近マクドナルド英首相が發表した戰艦廢止の意嚮及び差當つての艦型縮小に關し重要協議を遂げた、全權一行は午後二時半本部なるホテルリツツに入つたが、スチムソン氏は一服の間もなく午後三時からマクドナルド氏を首相官邸に訪問し氏一流の目ざましき活動を開始した

十八日に公式會見 米國全權語る

【ロンドン十七日發電】スチムソン米全權はマクドナルド首相と會見後ホテルリツツで各國新聞通信記者と會見したが、會見の内容については「只おいしい御茶を御馳走になつて世間話をしたゞけである」と逃げた後、左の如く語つた
マクドナルド首相とは再び十八日正午アメリカ全權と共に公式會見することになつてゐる、開會間もないことであるから各種會見は日曜日でもする積りである、佛、伊全權とは開會前に會見することになつてゐる、若槻全權とも日は決つてゐないが會議前に會見し引續き意見を交換する筈

スチムソン全權 マック首相訪問 會議に關し意見交換

【ロンドン十七日發電】米國主席全權スチムソン氏はロンドンに到着するや旅の疲れを休める間もなく直ちに午後二時四十五分ダウニング街官邸にマクドナルド首相を訪問し三時間に亘つて會見する處あつた、商議の内容は主として會議のプログラムに關するもので佛國の主張たるロンドン會議と國際聯盟との關係、地中海問題を最初の議題とするか又は直ちに主力艦問題より論議を開始すべきかにつきした譯である

高松宮さま 光學工場御視察

【東京十八日發電】高松宮殿下には十八日午前八時二十五分御殿御出門芝の日本光學工業會社に成らせられ社長斯波孝四郎氏の御案内にて同工場御視察主として光學機械製造の全般につき詳細御覽同十時十分より更に府下大井の同分工場に成らせられ正午御歸還遊ばされた

西北軍の宋氏が土匪に拉致さる 軍費數十萬元と共に

【北平十七日發電】西北軍將領宋哲元氏、將領夫人及び幹部夫人連が西安に赴く途中潼關の西方に於て土匪に襲はれ輸送中の軍費數十萬元と共に拉致され人質となつた旨本日某軍事機關に入電があつた

歐亞聯絡の列車は二十二日から運行 在哈勞農機關代表等三百餘名乘込み モスクワ出發の豫定

【ハルビン特電十八日發】滿洲里は十三日黑龍第二旅程志遠の騎兵到着し、支那の秩序を恢復した爲め邦人自警團は解散した、ダウリヤに止められてゐた支那兵の捕虜七千名の内一部は滿洲里に送られ直ちに齊々哈爾に押送されるが、彼等の食糧品其の他燃料は既に滿洲里に到着し危險なし、在留邦人二百名は暴風一過の跡を眺めて重荷を下した氣持で喜び合ひ、歐亞連絡の日の近づきつゝあるを祝福した、歐亞連絡は二十二日モスクワよりハルビンに向け直通車編成され、ロシア國營機關の代表ゴストルグ、ダリバンク、トウシリジ等約三百餘名の代表が東道として連絡第一報のトップを切り來哈する由、ハルビンからはモスクワよりの列車到着を待ち發車する事に決定してゐる

松黑航行權問題 露支間に紛糾の傾向

【ハルビン特電十八日發】ロシア側はハルビン市内に於ける電話も回收する旨十七日の理事會に提案するらしく、若し支那側が右の提議に對し現在電政監督の下に管理するならば、ロシアの據つた投資額にて買收すべきであると主張し莫德惠氏は之が爲め一兩日南下を遲延した、尚ロシアは支那の不自然なる松黑航行權回收を不適當と認め航行權劃の協定をも提案するの意あり、之が爲め露、支間に暗雲低迷し、再び紛糾の傾向あるも結局支那の泣き寢入りで問題は決定するだらうと

露公營機關の許可訓令

【ハルビン特電十八日發】ダリバンク其の他ロシア公營機關の復活に就き許可を與へよと張學良氏から行政長官に訓令あり、一時沒收したダリバンクの財産は返還され既に同銀行はキタイスカヤの舊家屋に移轉した

閻氏の河南乘出は全く失敗に歸す 蔣氏完全に河南を征服

【上海特電十八日發】蔣介石氏は何成濬氏に多額の軍費を託して鄭州に派遣し雜色軍各將領の買收に努めしめた結果、既にその目的を達する事に成功し魏益三、劉春榮、王金鈺、萬選才、楊勝治氏等は去る十五日何成濬氏の指揮に從ふべき事を表明し河南一部に進出せる西北軍も夫々軍職を與へられ、韓復榘氏も赤閻錫山氏の任命した前敵總指揮の職を辭する事を表明し、河南に於ける雜色軍は閻氏の麾下より離れ孫殿英軍も近く鄭州より河北に還る筈である、斯くて最近全支の癌となつてゐた河南は完全に蔣氏の手に歸するに至つた、閻氏が最近に山西省整理と稱して鄭州を引揚げたのは事實は全く斯くの如き事情に因るものにして閻氏の鄭州乘出しは之によつて全然失敗に歸した譯である

東鐵西部線慰問記（三） 日章旗翻へる所安全地帶となる

十二日滿洲里にて 秋山特派員

◆…日の丸の旗がいかに偉いものであつたかはブハト以西滿洲里に至る邦人の居住せる地方で露軍の襲來があつても爆彈投下の災厄を脫れたにみても判るだらう。
◆…ジヤライノールの戰ひに名譽の戰死を遂げたと報道され第十七旅長韓光第氏は勞農軍が本月二日撤退した後三日ヒヨコリ滿洲里に姿を現はしたが、聞けば韓氏がジヤライノールの日章旗の下に便服を着けて避難し潛伏してゐた爲め生還したと云ふ話。
◆…十一月十九日勞農軍が滿洲里を襲撃した際、日本ホテルに砲彈が飛來し遂に滿鐵吉武正男氏が重傷を負ひ、給仕中の尾崎フジヨ（二三）は無慘即死した、彼女は熊本縣天草郡小田床村生、不幸なる彼女は矢張娘子軍の一人として滿洲に來り既に年期奉公も終へて多少の貯金さへも出來たが國元には親類縁者もなく全く孤獨の淋しい女であつた。
◆…今まで暢氣でゐた邦人は同胞の慘死を直觀して多少恐怖に襲はれ「これでは我々は絶對絶命互に抱き合つて死なねばならぬ」と云ふに至り、我領事館では在留民を假場の一個所に收容日の丸の旗の下で最後の運命を待ちつゝあつた。
◆…露が敗退した支那兵は算を亂して最も安全地帶である我領事館の日章旗前に逃げ來り勞農軍の騎兵約六百は市の南方から襲來し支軍二百餘名を捕虜とし勢ひに乘じて益々市街に肉薄し來た。
◆…梁司令は形勢既に非なるを知り自動車で露軍陣地に白旗を掲げて軍使を送り停戰を申込んだが露軍は十七日ジヤライノールを占領せる後條件降伏すべしと支軍に軍使を派遣した處、支軍は之を射殺したのでその報復として支軍の降軍使を追ひ返した、其夜梁司令は參謀會議を開き愈二十日未明から總退却をせんと軍を整へ、市民に對しては安全地帶に避難せよと布告し揚噠、露支人大官、紳商の右往左往して避難するもの市中に續々し支那婦人は我日の丸の旗の翻へる領事館に殺到し犇めき救ひを求めた。
◆…梁司令は軍を纏めて後退せんとした處、全滅を期待せる勞農軍は既に包圍し應戰の氣力ない八千の支軍は市中に雪崩れ込み領事館前に集つた梁司令が自動車で領事館に駈つけ無條件停戰斡旋方を田中領事に交渉したのは此日であつた。
◆…領事館氏では直に勞農軍飛行機に對し「支軍は戰意なし降伏する」と信號をするため鹽田書記生は屋上に駈上り避難民の白い敷布を白旗代りに振つてみせるが屋上の白雪に飛行機からは判らぬのか備勞農軍は砲彈を浴びせかけ爆彈を投下し市内には火災起り支那敗殘兵は民家を掠奪し危險この上もない狀態となり、遂に重野書記生と井上氏が支那側軍使と共に八十六待避驛に向ひ交渉し漸く滿洲里は安全となつた（寫眞は十一月二十日約八千の支那兵が領事館前に殺到し停戰交渉を田中領事に懇願する所）

休會明け劈頭の政友會側の論陣 是々非々主義で進む

【東京十八日發電】休會明け議會劈頭濱口首相の施政方針演說に對し政友會より何人が質問演說の先鋒を承はるかは極めて興味ある問題であるが、今のところまだ幹部間に於ても具體的に協議が纏まつてゐない、然し目下代表演說者の顏觸れとしては床次、山本（悌）、三土、山崎氏等が噂に上つてゐるが、一方には又犬養總裁を陣頭に立て正々堂々政府に肉薄せしむべしとの意見も有力で鈴木喜三郎氏等は此意見を總裁に進言せる事實もあるが、犬養氏を質問演說の第一陣に送るについては餘程愼重なる考慮を要する次第で政友會では其人選に非常に綿密なる注意を拂つてゐる、即ち萬一議會解散となれば此質問演說は直に總選擧への繼續戰ともなるから餘程愼重に取扱つてゐる模樣で其質問演說の内容に於ても從來の如き只反對せんがための攻擊演說は之を避け金解禁の善後策、緊縮政策並びに來年度豫算案に關し政策上の是々非々主義に則り國民生活を基調とし民論を代表したる堂々たる演說をなす方針であると

五年振で西藏へ歸參の班禪ラマ 來る廿五日奉天出發

【奉天特電十八日發】久しく當地に滯在してゐた西藏の後藏の活佛班禪喇嘛は本月十五日北平に赴く豫定であつたが延期して二十五日頃出發することゝなつたので張學良氏は北寧鐵路局に特別車の準備を命じた、班禪喇嘛が前藏の達賴喇嘛及び英國勢力との微妙な三角關係から西藏を逐はれるやうにして一年間の長旅を續けて北京に來たのは大正十四年であつて爾來北京、浙江、蒙古、奉天と轉々して既に五年の旅愁を味はひ坐ろに故郷が戀しくなりまた達賴喇嘛とも妥協が成立したので來る五月頃には西藏に歸ることにならうと

地方委員聯合會 けふ奉天で開く 午前中準備委員會

【奉天特電十八日發】第七回滿鐵地方委員聯合會は十八日午前十一時より當地滿鐵社員俱樂部で開催開會前午前九時より準備委員會を開き會議項目を決定、更に二十一日午後零時半より日本人大會幹部末光氏外三名は沿線の各委員と會見し滿洲に於ける多頭政治の統一に就き懇談する處あり、午前十一時滿鐵本社より保々地方部長、中西地方課長、奉天地方事務所より小倉所長、大岩地方係長等列席、沿線委員四十二名出席の上、開會した、劈頭鷲尾氏議長席に着き開會の挨拶を陳べ次いで諸般の報告あり正午過ぎ晝食、俱樂部前で一同記念撮影後、午後一時より本會議に移つた

滿鐵改革協議會 第二回は廿五日開く

【東京十八日發電】滿鐵改革に關する第二回會議は二十五日午後一時より首相官邸に於て開會され前回と同樣濱口首相、宇垣陸相、井上藏相、幣原外相及び仙石總裁が出席する筈

樺山床次兩氏 犬養總裁と懇談

【東京十八日發電】樺山資英、床次竹二郎氏は十七日午後六時犬養總裁を訪問し現下政局につき懇談した

北寧滿鐵兩鐵 有志交驩

【奉天特電十八日發】北寧鐵路局の有志は意思疏通の意味で舊臘二十二日滿鐵奉天驛員十餘名を招待し懇親宴を催したが奉天驛では之に答禮する爲め不日北寧路局員十五名を招宴すると

駐滿師團初年兵 約二千名の上陸日割

駐滿師團初年兵約二千名は左記の通り上陸豫定の旨通牒があつた
▲二十日午前十時宇品丸より埠頭第九區に上陸、步兵第三十八聯隊約五百六十名、騎兵第二十聯隊約八十名▲廿一日午前十時呂宋丸より埠頭第九區に上陸、野砲兵第二十二聯隊約三百名、步兵第二十聯隊約三百六十名、工兵第十六大隊第一中隊約八十五名、步兵第三十三聯隊約五百五十名

大連農會の造林成績

大連農會では曩に基本財産林造成並に林業獎勵の資に供する目的のもとに十年計畫を樹て昨秋既に第一回の造林を行ひ同年秋引續き第二回の造林を爲した、而して春季造林は植栽後の經過頗る良好であるが秋季造林にありては植栽後直に冬季に入りたるを以て今春に至らざれば苗木活着並種子の發芽を見ることが出來ないが、造林の作業は殆ど豫定通り順調に進捗し植栽並播種共その實行に遺憾の點なく各樹種を通じ大體良好な結果を得るであらうと期待されてゐる、秋季植栽の分は大連管内小平島會大饑屯の面積二十五町步で種苗は柞種子六石三斗、イタチハギ苗木一萬五千本を植栽し造林費三百七十八圓九十八錢を投じたと

消組問題座談會

大連六文會にては十九日午後一時からヤマトホテルで消費組合座談會を開くべく滿鐵代表、滿鐵社員消費組合幹部、村井商議會頭、その他市中商人側も出席すると

人事

▲宇野卽成氏（元大蓮寺住職）十八日出帆はるびん丸にて內地へ
▲高室三郎氏（天理教教師）外百七名同上

大觀小觀

◇ 解散は避けられぬ趨勢とあらば一層のこと、正々堂々と論戰せよ それが取りも直さず議會政治だ。
◇ 濱口が獅子吼せば、何ぞ犬養が出でて龍攘虎搏せざる。
◇ その論戰の如何によつて國民は總選擧の投票を決するであらう。
◇ 十月十日から支那で釐金税や類似の徵税を撤廢すと。
◇ 例によつて例の如くに。
◇ この釐金税の撤廢一つでも完全に實施し得るならば、支那統一の前途、樂觀して可なり。
◇ だが、その釐金税の撤廢、いふべくしてシカも容易に實行し得ぬところに支那の現實がある。
◇ 關稅自主とか、治外法權の撤廢とかいふ問題も、釐金問題の解決を試驗石としてからでも遲くはあるまいテ。

天氣豫報

十九日 晴れ北西の風一時曇

	十一時	昨日最低
大連	零下六、九	零下六、三
旅順	同四、〇	同六、五
營口	同九、〇	同一四、三
奉天	同一四、一	同一九、六
長春	同一五、二	同一八、二

御大禮を奉祝の滿鐵献上品の一つ

大連港模寫の銀製置物謹製成る

廿日に手續を執る

◇—滿洲製產品を材料にして美事な出來榮え

【東京特電十八日發】御大禮奉祝のため滿鐵より獻上した二品のうち大花瓶は昨秋既に獻上したが、他の一つ即ち大連港模寫の銀製置物は、豫て美術學校に依賴し正木校長監督のもとに圖案渡邊教授、原型和田助教授、彫金淸水教授等主任となり

謹製中 のところ、このほど漸く出來上つたのでいよ／＼來る二十日午後一時獻上の手續きをとることになり、山本、松岡前滿鐵正副總裁は十七日午後、狸穴の滿鐵社宅においてこれが下檢見をなし、十八日朝美術學校の教授および學生など製作關係者一同集まり社宅においていろ／＼の手入れを行つた、獻上の大連港模寫置物は巾三尺、奥行き三尺三寸五分、高さ一尺で、その臺座は巾三尺二寸五分、奥行き三尺、高さ二尺八寸であるが、その使用原料は全部滿洲製產品で、先づ滿鐵本社、大連醫院、大連驛、港口の燈臺、大煙突などは

白金鋼「(鍋鐵)」にて、大連の大華電氣冶金公司の上島氏が多年研究、製出せる特殊鋼を用ひまた海面一帶、貯水池などは金屬マグネシユーム即ち南滿で多く產するマグネサイトを原料として滿鐵中央試驗所で多年研究の結果、出來せる輕金屬で作り、その他全部銀を用ひ、ところ／＼に金の

象眼を 施した頗る美麗燦然たるものである、なほ臺座の木材はチーク張り、飾り鋲は白金鋼、羃板にはめた石材はマグネサイトをもつてこれに當てゝゐると

州内中等學校辯◇論◇大◇會

あす大連商業分校で

第三回州內中等學校辯論大會は十九日午前九時より市內天神町大連商業學校分校講堂に於て開催されるがプログラムは次の如くである開會の辭當番幹事大商校長友木龜▲太平洋の浪龍がば(日)大二中大塚忠夫▲トーマス、ヘンリーヘツクスレー(英)旅二中馮文章▲中國の前途(中)大商岡本忠夫▲朝(日)旅師範出雲藻▲ヘンリーフオード(英)大一中收秀夫▲現代の孝道(日)旅一中石川淸三、休息(十分)▲滿洲問題(英)大二中市丸三郎▲中日提携の鍵(日)旅二中李士道▲囚れたる良心の釋放(英)大商原國俊雄▲孔教辯(中)旅師範王義權▲辯解何の用ぞ(日)大一中堀本泰造▲モツトーの少年時代(英)旅一中神田謙之、中食(四十分)▲不言實行(日)大商榎原芳人▲變(中)旅二中于淸涯▲滿洲子の叫(日)大二中笹川茂▲眞理は平凡の裡にあり(日)旅師範劉繼唐▲文弱に亡びて剛健に興る(日)大一中渡部榮▲幻想を見よ(日)旅一中加藤正義▲講評▲閉會の辭友木龜

半沈沒船漂流 十七日午後三時當地海務局への情報によると天津より青島に向つて航行中の大汽長平丸は、青島沖合千里島附近に漁船らしき半沈沒船が漂流してゐるのを發見したが、附近航行船舶の航路に當るから頗る危險であるから各船舶に注意されたいと

けふ大連第一中學校の新講堂落成記念學藝大會

昨年六月に起工、約三萬圓の工費を要して新築された大連第一中學校新講堂落成記念學藝演習大會は、十八日午前八時から同講堂に於いて開催されたが、見るからに質素ながら氣持が好い、そして窓を廣くして充分に光線を取り入れた講堂である、愛する自分の子供や弟の日頃の勉强振りを見るために集つた奥さん連も多く非常な盛會だ、會は先づ西內校長の開會の辭に始まり、午前中に二十五回のプログラムが進んだが、どれもこれも集つた來賓の人々をビツクリさせる立派な出來榮え、校長さんのニコ／＼顏もさこそとうなづかれた、父兄の休憩室には生徒の學藝品、專門家跣足の地圖、軍艦模型、油繪等が陳列されてゐる、そして會は午後の部から益々面白いプログラムに移つた【寫眞は得意のハーモニカ吹奏】

高勇吉氏夫妻歡迎茶話會

十八日開く

大連グリー倶樂部主催の下に、十八日協和會館にて開催の「ゼロと舞踊の夕」に出演する高勇吉並にヘテイー夫人の歡迎茶話會を十九日午後三時半より青年會館に於て開催するが、一般有志の出席を歡迎するとなほ希望者は當日正午迄に電話五〇六〇番へ申込まれたしと會費三十錢

念佛入亂れ大交響樂

素晴しく賑つたはるびん丸船出

十八日出帆のはるびん丸は春季大祭に本部大和へ參詣する在滿天理教信者百七名を載せて行つたが、また東京へ轉任の元大連寺住職宇野卽成氏も同船に乘合せ、これを見送りの日蓮宗信者百餘名が團扇太鼓で囃立てれば、一方天理教も負けて居ず、惡しきを拂への合唱手踊に果ては兩宗入亂れての大交響樂に他の見送り連も大喜びの中に賑やかなことであつた

讀者優待の特選映畫大會

いよ／＼けふから『大日活』で晝間から人氣を博す

本社主催の市內磐城町「大日活」における新春讀者優待特選映畫大會は上映々畫「都會交響樂」「髷卷長屋」のいづれもがプロレタリヤ、イデオロギーを持ち、現代人の神經に强く響く映畫であるため、非常な期待を持たれ、全市の人氣を集めて居たが、いよ／＼本日より上映される事となり、既に本日晝間の如きも大入滿員で大喝采を得る盛況ぶりであつた【寫眞は「都會交響樂」の小杉勇と入江たか子】

ふえる少年の犯罪

竊盜—恐喝—詐欺—家出等々……

罪は家庭教育の缺陷と活動寫眞 混濁した世相の反映

少年の犯罪が著るしく增加して來た、竊盜、恐喝、詐欺、放蕩、猥褻、家出等々……冒險的であり智能的犯罪が、いたいけ盛りの十八歳未滿の少年によつて犯されつゝあるとは混濁せる世相の反映とはいへ、餘りに空恐ろしい世相ではある——大連署少年係の手で檢擧された昨年中の十八歳未滿の少年犯罪は

日本人 竊盜二十二名、詐欺一名、放蕩二名、猥褻七名、家出三名で支那人は竊盜廿一名である、この外初犯は大抵訓戒だけで家庭に引渡したり、微罪不檢擧の者もあるのでこの數を加へると百件以上に達するであらう、雪のやうに純であるべき少年が恐ろしい罪を犯す動機は申合せたやうに家庭教育の缺陷と活動寫眞の感化を受けてゐる

大連署 ではこの點に鑑み昨年四月少年係員を新設し、防犯檢擧と思想善導に努めてゐるが、犯罪數は減ずるよりも寧ろ智能的に傾いて來たことは、家庭及び教育者の考慮すべき點であると云はれてゐる

小橋氏の取調べ大體終了す

今明中に司法首腦部が協議 最後の決定を見ん

【東京十八日發電】小橋氏は十七日午後一時七回目の召喚を受け東京地方裁判所に出頭、午後二時より目下收容中の山ノ手急行監査役一條丈人氏と對質訊問を受け午後七時まで續行、夕食後越鐵關係で久須美東馬氏と對質訊問を受け午後九時歸宅を許された、小橋氏の取調はこれで大體終り今明日中に司法首腦部會議を開き最後の決定を見る筈である

けふ床次氏再び喚問

二萬圓收受の眞相について

【東京十八日發電】今朝九時再度の召喚に應じた床次竹二郎氏は午前十時半から午後にかけて兩角豫審判事の取調べを受けたが、右は小橋前文相が佐竹三吾氏の手を通じて久須美東馬氏から收受した二萬圓が、果して小橋氏の主張の如く本黨の黨費に寄附されたものであるかの點及び越鐵買收につき本黨の態度が贊成に急轉した事情を聽取したもので、床次氏の陳述は小橋氏の運命を決する上に重大視されてゐる

細民窟移轉に反對の聲擧る

譚家屯嶺前屯方面に

大連署多年の懸案であつた寺兒溝千代田橋以東一帶の官有地にある支那細民窟は、いよ／＼尾崎新署長の着任により今春の解氷期を待つて斷然寺兒溝細民窟を撤退せしめ、市外石道街方面に追ひ拂ふ方針に決定したことは既報の如くであるが、彼等は

寺兒溝 に居住して初めて同地の屬昌苦力を相手に生活をしてゐるもので若し同地を追はれて石道街方面に移轉することゝなれば忽ちにして生活の安定を脅かされ、必然的に彼等が大連市內に出入するところの出入口たる譚家屯、嶺前屯方面は彼等によつて各種の犯罪が敢行せらるゝ虞があり彼等の移轉によつて更により以上同地方面の各住民は生活を脅かされることになるといふので大いに脅威を感じ、兩地居住の有力者はこれが對策について講究すると共に、細民窟石道街移轉について反對の聲が擡頭して居る

埠頭ビルを根城に萬引や無錢遊興

喧嘩を賣りかけて只で飲む 僞記者遂に捕はる

最近僞新聞記者が横行し廓やカフエー街を荒し廻るので、大連署で內偵中のところ、去る十五日岩代町路上で通行人に喧嘩を賣つてゐる男を大連署員が取押へ調べると住所不定松本金作(二七)といひ「俺は滿洲日報記者だ」と威張り散らしたが將來を戒めて放免した、其後松本の身元につき司法係で內偵すると同人は常に伊藤某の

變名で 滿洲日報記者だと豪語し、黒猫カフエーその他飲食店で記者風を吹かしては喧嘩を賣り、仲直り又は仲裁と云つて、嘘飲みしてゐたことが判明したが、更に同人は埠頭ビル六階を根城に十數名の不良少年を手足につかつて毎夜市中に出沒し萬引、無錢遊興の惡事を働いてゐたことが暴露したので目下大連署で搜査中

『おせん』を脅す兇暴性の男

『あなたがその氣なら』で大連署で元の鞘に

十八日午前十一時大連署保安係で取調べの警官を中に挾み、人目も恥ずに言ひ爭つてゐる男女があつた、男は市內二葉町四丁目前科三犯常習賭博者岩爪藤藏(三)女は大廣場藝妓おせん事坂井キサ(三)で、おせんは岩爪と昭和二年四月から昨年五月まで內縁關係で同棲してゐたが、男の放埒さに愛想を盡かし、叔父に當る浪速町一四〇番地和田某を仲に入れ、昨年十一月サツパリ夫婦別れをして終つた、ところが男の方で未練を殘し再三復緣を迫つたが、聞かぬので男は持前の兇暴性を現はし打つ蹴るの暴行を加へ果ては「殺してやる」と脅迫し、夜毎日毎におせんの身をつけ廻るので

恐怖の 餘り稼業も出來ず思案盡きて大連署に保護を願ひ出たものである、そこで双方呼び出され、說諭を受けたが男は未練たつぷりで「眞面目に立ち返つて正業に就くから」と復緣を迫ればおせんは「あなたがその氣なら」と妥協成立係官を煙に卷いて引退つた

壽洋丸離礁す 既報昨十七日未明基隆附近船頭鼻に於て擱坐した山下汽船所屬壽洋丸は、同日午前十一時半無事離礁し基隆に入港した旨大連無線電信局に通知があつた

いま、上海の映畫界はトーキー全盛時代

日本の『新派悲劇時代』をゆく支那のシネマ 上流社會に蔓る忌しのフイルムよ

(9)一記者 若人、惱みの魅力

「見てそして聽きなさい」これは今上海を席捲しつゝあるトーキーが大衆に呼びかけてゐる聲である「音のなきところに生命なし」此短い言葉は上海といふ土地から完全にサイレントピクチユアーを奪ひ取つてしまつた、もし强て

○…**無聲映畫** の感激のないものに接したいならゴミ／＼した城內にある幾つかの支那映畫の上映劇場に行くより仕方あるまいだが所詮それは諸君の近代官能にとつて餘りにも無聊味な、餘りに幼稚なもので、必らず失望するに違ひない「五嶽三十八洞英雄と女」我々が嬉い時、大きな魅力となつて絡みついてゐた、あの新派悲劇時代の足跡を今支那映畫界は踏襲してゐるに過ぎないのだ、大きな青龍刀を持つたセイラーパンツのモボが

○…**若い娘を** 殺さうとする様な實に下らない筋のフイルムが臆面もなく上映され、その矛盾に氣のつかない頓馬な支那青年、子女に隨喜の涙を絞らせてゐるのである、だが今そういつた騷された時代遺物を默殺して一度租界內の映畫館に目を及ぼすなら、なんとさんらんたる壘の如き映畫陣が砲列を敷いてガツチリ設けられてゐることに一驚するだらう、靜安寺路にエムパシイ、北四川路にアポロ同アイシス、オデオン、カピタル、カルトン、何れもが堂然たる映畫殿堂即ち音と畫の交響樂、油然と興趣湧く

○…**歡樂境の** 態を示してゐるのである、オールトーキング、オールダンシング、オールシンギング……コウいつたチヤーミングなプロパガンダが新しい手段と方法で街の辻々に物凄い宣傳戰を行つてゐる、そしてこれ等のムービイホールは設備の點から衞生の點から大連においても學ぶべき幾多の好きものを持つてゐることは見逃せない、その最も華麗を誇る「カピタル」の如き實に氣の利いたものでそのサロンが一寸寧天丸の喫煙室に似てゐるなぞうれしいではないか

○…**閑話休題** 普通大洋一枚放り込めばボーターが見頃の椅子に案內してくれる、殊に上海なぞといふ土地になると遙い異域から萬里を遠しとせず來てゐる諸外國人が雜然としてゐる關係上、外人の觀客が多く約六割、日本人二割、支那人二割と云ふ割合である揚子江警備に廻されたセイラーが暗がりのホールの片側でシルバーシートに映し出される故國の山河風物、人情に淡い郷愁を感じてゐるのや又は若き夫婦が紹のコートを仲よく膝にかけフイルムが生む香高い感激に汗ばんだ

○…**手を握り** 合ふなその場面はザラに見受られるが、何んとエキゾチツクな氣持よ、靜かな寂しさではないか、上映自由制度からフイルムは原語そのまゝでトーキーになるとキツスの音が艶ましくかすかな魅力をもつて若人の胸うちをくすぐる「もしヴアレンチノ、今にして命ありトーキーに出演せんか全世界の子女は正に神經衰弱に陷るべし」これはトーキーが如何に近代人に官迫性に富んだものであるかを物語るものである、だが上海における映畫界に見逃せないのはモヒとヘロイン中毒患者が幾何級數的に

○…**增加する** と同様、いまはしいフイルムが上海社會に組合組織の下に流行してゐるといふ事である

末廣席 藝妓おせん事坂井

平安異香（229）

葉多默太郎作　一瓢畵

神樂囃子（七）

人間に附纏ふ暗い運命のやうに常にお蘭の身邊に附纏ふて、お蘭の方を脅かしてゐる怪人である。お蘭は再び叫ばうとした。が、怪人の射竦めるやうな眼にあふと胸が石のやうに固くなつて、聲が出なかつた。

「奥方さま、お蘭の方さま」

憎惡と侮蔑と、蛇のしつこさを含んだ聲が、ねつとりとお蘭の方の耳にからんで來た。

お蘭の方は、負けてはならないといふやうに、瞳を開いて、瞬きもせず、ぢつと怪人を見返した。

その眼に、怪人の顏が段々大きくなつて來る。聲が、續いてお蘭の方の心臟を凍らせる。

「奥方さま、お蘭の方さま。遂々十壇場になつたぢやないか。亭主の師輔は滅んでしまつたぞ。二十年の榮耀榮華に終結が來たのだ。二十年の榮耀榮華だ。たんのうしたらう。面を脫いではどうだ、皮を脫いではどうだ」

「師輔がどうならうと、淸盛の女の姿に、平家の天下が續く限り、榮耀は續く、陰陽師めいたくり言いはずと退りや」

「強情な女だな。もつとも、手前は昔から強情な奴だつた——」

といつて、怪人は顎まで垂れかゝつた髮を掴んでかなぐり捨てた。眼を開いた。口に抑めてゐた不様な齒を吐いた。と、それは、くゞつの甚十郎に相違なかつた。

「二十年といやあ、手前には短かつたか知れねエが、おれには長い月日だつたぞ。手前をめつけ出すのを、一生の仕事にして艱難辛苦だ。時には、たかゞ女一人のために、と思つて、我ながら情ねエ心持になることもあつたが、因果といふのか、手前があきらめ切れなかつた。二十年の間、自まゝにしておいてやつたんだ、おれと一緒に行つてくれ」

いふ甚十郎を尻目にかけて、お蘭の方はタヽヽと笑つた。

「不愍な男ぢやな。鱗を失ふて氣が狂ふたと見える。よい〳〵、西八條の邸に落着いたなら、その女とやらを探してとらす。日を改へて訪ねて來るがよい。今は構ふてをれぬ、行きや、行きや」

甚十郎の面に、惡鬼のやうな憎しみがみなぎつた。お蘭の方はぞツとした。思はず立ちかゝると、その裾を掴んで甚十郎がいつた。

「あくまでも手前は人をこけにする氣か。手前はとつくにわしをわしと知つてゐた筈だ。おい、お藤、しらをきるなら、これが證據だ」

いひさま襟を掴んで引倒し、肩に手をかけて引裂くと、裂けた重ね着から乳色の肌。腕を掴んでねぢあげた。と、桃色の腋下に黛色の刺青一つ——指を丸めた程の髑髏だつた。

「これ見やがれ、髑髏のくゞつの印の刺青だ。太政大臣の女に、こんなものがあつてたまるものか」

絶體絶命のお蘭、探りあてた短劍の鞘を拂つて、いきなり甚十郎の脇腹へぶつゝり——

「な、なにをしやがる」

手首を掴まれて、短劍は、お蘭の手からもぎとられさう——

牢を出た春光は、庭で拾つた鎧下を頭から被つて、邸中を駈まはつた。物置などがあると頭を入れて「幸、幸」と呼んでみた。が、駄目だつた。北殿へ忍びこんで、樣子をうかゞつてゐると、突然、ギヤーといふ女の悲鳴が聞えた。ぎつくりして、戸を蹴返して飛込むと、それはお蘭の方の居間だつた。

一人の男が、春光を振返つて、一足跳びさがつた。お蘭の方が虛空を掴んで、仰向けさまにぶつ仆れた。その乳の下に、短劍がつゝ立つてゐる。

何が何だか分らないが、春光はいきなりお蘭の腕から短劍を引拔いて、

「曲者！」

と叫んで男に躍りかゝつた。

「手前は春公、春光だ」

男がいつたが、春光はかむしやらだつた。

今日この頃の春光の腕力は素晴しかつた。大悲山で「死んでも負けるな」と奥義とも秘訣ともつかぬ術を、辛苦して鍛錬した腕力は、雜作なく甚十郎を組み敷いた。その時、

「待つた、待つた」

と叫んで、致命の一刀を振りかぶつた春光の腕を掴んだ者があつた。

映畫と演藝

受難苦業を經た問題の映畫『都會交響樂』

ブルジョア對プロレタリヤの階級對立を意識的に描かうとしたもの それが「都會交響樂」である、けれども此の映畫が完成した時、被壓迫階級の描寫に可成りの鑿肘を加へる現行檢閱制度は、俄然「都會交響樂」の上映を禁止したのであつた、以來二ヶ月間、映畫界空前の問題として騷爭し、幾分編輯を變へる事によつてやつと解禁上映の日を迎へたのであつた、幾多の苦難を經て生れ出でた「都會交響樂」そこに描き出される物は何か、ブル對プロの階級的對立、ブルジョア階級の內實暴露、現代資本主義社會の內的矛盾の暴露等である、此の映畫の持つ力強さは、必ず觀る者の胸に強くうつたへる所がろう。

新妻四郎獨得の龍卷長屋

イデオロギーのある物語

名目と上邊ばかしの見得で飾られてる利己的な有産階級よりも、赤裸々で、あるがまゝなる「その日稼ぎ」の棟割長屋の貧民窟の方が、どれだけ美しい人情味や、社會組織的觀念が旺んであるか判らない。

この蟻の隧道よりも劣つた汚い巢の中に、雨の降る日は破傘を天井から吊して寢てゐる數十人の日雇稼ぎの群に交つて、これはまたあたら免許皆傳の腕前を蚤と虱の喰ふに任せ、世を罵り暮す汚い浪人赤屋（新妻四郎）は、浮世の痒の態公八公の親分でもあり 同時に人の道を說く道學先生ともなつて兎に角面白からぬ浮世の毎日を、自棄糞三昧で送つてゐるのであつた。

それでも表へ出れば、例の持ち前の氣質で、天下の良民を窘め苦しめる惡旗本等や、長脇差連の横暴を默つて居られず、まるで子供でも扱ふ樣に懲らしては、せめて日頃の溜飲をさげてゐるのを「イヨウ、今樣中山安兵衞ぢや」と囃て上げる野次馬連に無氣味な一瞥を呉れて、さり氣もなく去つて了ふ。巢窟へ歸れば屑拾ひの夫婦喧嘩のさばきやら、サイコロの手慰みを叱り飛ばすことを彼は商賣の樣にして、イヤそういふ風に世間が彼をさせて了つたのである。

然し彼にも脈々の熱い血汐は流れてゐて、左官の庄公（葛木香一）の妹で、當時深川で評判の羽織藝妓小鹿（櫻井京子）が惡旗本に執拗くつけ廻されて困つてゐるのを救ふために、身受けの料を拵えやうと素人芝居の蓮小屋を興行したりしたが、根が色氣といふ奴を、その顏形と同樣藥にする程も持ち合はさないといふ變物だから、小鹿から口說かれても、彼の往來での俠客ぶりに惚れ込んで、結婚を膝詰め談判で押しかけて來た、天下の直參佐伯氏や、その愛娘の切なる戀をも彼には何の反響をも起さしめ得ないのだ。

けれどもこの佐伯氏が、娘のことから惡旗本連に虐殺されたと聞いた彼は、忽ち奮然と、決して寬げなかつた愛刀の鯉口を切つて、深川八幡の境內で、縱橫無盡の働きは、物見遊山のできない長屋の人々に、飛んだペイジエントを演じてやつた譯だ—（監督渡邊邦男）

映畫常設館新築にからみ、上映々畫の會社に就き、流言益々燃えさかり、惑星入れ飛ぶ大連映畫界▲突如一昨日帝國館々主南氏が陸路內地に向つたが▲浪速館々主吉田氏が、約する所あつてか、あらずにか、やはり近日歸國するとの噂が傳へられて居る▲大浪速館新築の根本たる浪速町土地建物株式會社の計畫、なかなかはかどらぬ模樣、策士しきりに笛吹けど……嗚呼▲本社主催特選映畫大會いよ〳〵今晩より大日活に於て▲プロレタリヤ映畫とはいかなるものか、イデオロギーを持つ映畫とはいかなるものか▲本紙刷込割引券を盛んに利用されたい

ラヂオ

滿日放送の夕　愈よ明晩開催

大連（十九日）自午後〇時三十分ニユース▲自午後三時三十分ニユース▲自午後七時△ニユース△ジヤズ（一）フオツクストロツト ゼー、ウイ、タンカンヅル、アロング（二）ワルツ、マイピクトリー（三）スロー、アオツク、トロツトラブケイング、コーリング大日活ジヤズバンド△挨拶高柳滿日社長△セロ獨奏（一）コンセルト（ゴルターマン）（二）スワン（サンサーン）（三）ハンガリアン、ラプゼデイー（ポツパー）高勇吉△普化尺八（一）本調追分（二）本曲眞言阿字觀谷狂竹△講演此頃の小兒流行病醫學博士金子甚藏△淸元四君子淸元延園松社中△長唄紀文大盡唄宇佐美、同安藤、同山住、同田中、三味線平田、同中村、同仙波、同中里、補導吉住小之藏、鳴物四世田中傳兵衞社中▲九、料理獻立▲十天氣豫報

東京（十九日）自午後六時廿五分、浪花節の夕△紀國屋文左衞門港家小柳丸△相馬大作八洲天舟△義理の柵東武藏△葛の葉子別れ東家左樂遊

新春特選映畫會
讀者割引券（此券持參者に限り割引）
階上 一般九十錢 讀者五十錢
階下 一般七十錢 讀者四十錢
於大日活
主催 滿洲日報社

新春特選映畫會
讀者割引券（此券持參者に限り割引）
階上 一般九十錢 讀者五十錢
階下 一般七十錢 讀者四十錢
於大日活
主催 滿洲日報社

最新刊

- 西創生著　滿洲藝術　壇の人々　特價十五圓
- 大藏公望著　ソウエート聯邦の實相　特價四圓五十錢
- 布施勝治著　馮玉祥　實價二圓十錢
- 忠村木雄著　油母頁岩工業　實價一圓五十七錢
- 朝日新聞社著　日本美術年鑑　實價三圓十五錢
- 三重吉著　十二の星　實價三圓六十七錢
- 篠田六三著　大連圖繪　實價五十錢
- 清澤洌著　巨人を語る　實價一圓二十六錢
- 高橋龜吉著　經濟國難來　實價一圓五十七錢
- 棚田保之助著　獨逸文法書　實價一圓五十七錢
- 大槻憲二著　夢の註釋　實價一圓五十七錢
- 高橋源太郎著　朝鮮ってどんなとこ　實價一圓五錢
- 竹内克巳著　滿洲での日米外交戰　實價七十三錢
- 驚西亞通信社　露西亞事情集　實價一圓五錢送料八錢
- 風成志著　女心風景　實價二圓二十六錢送料八錢
- 森本厚吉著　苦悶の經濟生活　實價一圓七十八錢送料十錢
- 川邊喜三郎著　社會學概説　實價一圓五十七錢送料十錢

大連市浪速町　大阪屋號書店

最新刊

- 九重左近著　江戸近世舞踊　實價五圓七十七錢送料五十五錢
- 千葉省三著　ワンクニものがたり　實價一圓三十七錢送料十錢
- 木村文助著　村の綴り方　實價二圓四十一錢送料十錢
- 直木三十五著　仇討淨瑠璃坂　實價一圓三十七錢送料十錢
- 生田蝶介著　妖説天草丸　實價一圓三十七錢送料十錢
- ゾラ著　巴里　實價三十一錢送料四錢
- 松本郁之介著　噴水感情　實價一圓三十七錢送料六錢
- 野々村戒三著　良寛元政　實價五十二錢送料四錢
- 大藏公望著　ソウエート聯邦の實相　特價四圓五十錢送料六拾五錢
- 中里介山著　大菩薩峠　實價三圓六十七錢送料二十錢
- 佐々木味津三著　旗本風流陣　實價一圓六十八錢送料十錢
- 池谷信三著　一週間　實價二十一錢送料四錢
- 法尾俊彦著　佛天解釋法　實價二圓六十二錢送料八錢
- 入澤宗壽著　汎愛派の教育思想研究　實價四圓七十二錢送料二十錢
- 野邊地天馬著　ワシントン物語　實價五圓七十七錢送料五十五錢
- 宇井伯壽著　印度哲學研究　實價五圓七十七錢送料五十五錢
- 三田谷正道著　婦人衛生篇　實價一圓五十七錢送料十錢

大連市大山通　滿書堂書籍部

滿日地方版

奉天

繼母に虐められ十四少年の家出
列車内で警官が發見

十五日午後十一時頃下り廿五列車が奉天驛を發車間際に同列車の三等車内に十三四歲位の日本少年が無賃乘車してゐるのを警乘員が發見し文官屯驛到着と同時に下車せしめ保護を加へて送り返したがこの少年は奉天江島町二番地菅原勝太郎長男貞夫(一四)で聞く處によれば貞夫の母は繼母で家庭の圓滿を缺き常に無斷家出して騷がした事のある少年であると

溫泉廻り團奉天見物

本社主催の溫泉廻り團一行は大連鐵道事務所の林信記氏及び本社の淺枝畫伯同道で十七日午前十一時半着奉し大部分は自動車を驅つて北陵見物に赴き一部分は城內見物その他に向つたが無風快晴に惠まれ嚴寒中には珍しい遊覽日だつたので一行孰れも滿足してゐた

優勝旗爭覇戰
奉天道場にて

武道奬勵會主催第三回優勝旗爭覇戰は二月九日午前九時から奉天署道場に於て擧行されるが本年は昨年の優勝組である醫大(劍道)警察(柔道)の外にも之を奪回すべく猛練習を續行してゐるチームもあるので盛會が期待されてゐる尙劍道は二段以下正選手七名補缺一名柔道は正選手五名補缺一名で希望者はチームを整へ二月五日まで奉天署へ申込まれたいと

格闘の上捕へた曲者
全く冤罪と判る

十六日夕金票千三百圓を强奪せる强盜が百七十號列車で奉天に向つたとの手配搜査を受けた奉天署では折から舊年末で非常警戒に努め緊張し切つてゐる時なのでおのれ逃さじと同列車警乘員並に各驛取締巡査に通告し大警戒の中に百七十號列車に警官を乘り込ませ進行中犯人と思はれる一支那人を格闘の上逮捕し奉天署に送り取調べを行つた處その實は强盜でも何でもなく撫順よりも奉天の方が兩替の率がよいといふので千五十圓を持ち奉天に來た事が判明した

人事

▲佐藤滿鐵々道部次長 十七日安奉線急行にて來奉同日歸連 ▲二宮憲兵隊長 十六日渦奉旅順へ ▲川合奉天署長 十六日鞍山より歸奉 ▲松田關東廳高等警察課長 廿一日急行にて來奉二泊二十三日鐵嶺へ向ふ筈 ▲有田同保安課長 同上 ▲齊吉長鐵路副局長 十七日長春より來奉

沿線ところどころ (一)

豫定もなければ、順序もない、長くつて一泊、短ければ數時間、仕事の暇々に五日か一週間の沿線飛び步記、旗の緖切つて最初の滿洲旅行、いきのいゝ處をと云ひたいが、問屋が卸さぬ。大きな聲では云へぬが……責塞ぎ、と御承知ありたい。事實、今更めいた土地の紹介、歷史の復習では讀者諸君の方で願下げだらう。

◇

で、私事に亘つて恐縮だが……

「人生なんて變なものだなあ」——夜汽車の寢臺は、通路の電燈をカーテンで遮つて、仄かな薄明り、みうちを擽るやうな暖かさに抱擁されながら、發つと考へ込んだことだ。

闇の曠野は凍てついてゐるであらう滿洲の深夜を、長春行の急行列車は轟々と駛る——午前二時。

◇

出不精で、無口で、だから、一月でも家庭の人達と全然沒交渉で變人扱ひに甘んじてゐた小生、二十年に近い東京生活の間に、電車で一時間の橫濱をつい去年まで知らなかつた小生、日曜といへば正午まで寢込んで、午後は陽光ぼツこで晩食を待つ小生——一足飛びに「紅い夕陽」で馴意なばかりの滿洲を、夜汽車で、しかも欣々然として、橫行するのだから、小生の身にとつては、

「人生は變なものだなあ」である

◇

が、考へてみると、「人生に偶然はない」とも云へるのだ。

今を去る十五年前——話は舊い——有樂町から日比谷公園へ拔ける二間幅の路次、花月食堂もあれば故大場茂馬博士の法律事務所もあらうといふものを、誰が、どうして呼び初めたかヤマカン橫町。その一劃に聳り立つ一事務所に、小生が通つてゐた事がある。

◇

仕事は月刊雜誌。但し此の雜誌はヤマカンではなかつた。小生なぞは文壇に出る足場にしようなぞと虫のいゝ量見で、會計から鬱めツ面を浴びせられながら、正宗白鳥だの、田村とし子だの等々、當時では高い原稿料を奮發して自分も每號書いたものだつた。

◇

小生の尊い、然し、ちよツと打算的な努力にも拘らず、雜誌は餘り賣行增加と來ない。そのうちに社主兒玉箕南氏が代議士に當選すると、間もなく廢刊になつたから同氏の宣傳雜誌だつたのか、と力を落した連中もあつたのはヘンだつた。が、兎も角、二千部刷れば八百は賣る。箕南氏からは叱言を喰ふ。小生は苦心慘憺——今から思へば幼稚極まる雜誌だつたのは自認するが、第一、社の連中が惡い。

◇

主幹の松本烏城氏は寡默謹嚴、謗々の論が災をなして當時の寺內朝鮮總督から追はれた名文家「此の口舌で俗謠を唱はず」と同人を讚嘆せしめたものだが、每月、校正時期となると、忽然として病床に呻吟する癖の持主。主幹の小山田劍南氏と來ると全然野武士の典型だ。素面の時は溫厚玉の如き大人だが、一度盃を擧げたが最後、慷慨淋漓、悲痛の意氣天に沖し、怒號、罵聲、最後が鐵拳だ。傍に居る友人、醫者——誰彼の容赦はない。

◇

所謂ヤマカン橫町の事務所へ、こゝいらを主體に巢をくつてる連中の處へ袁世凱を手玉に取つたと噂の主の內藤隈南氏、黃興に親交を呈したといふ何とか某氏等々が每日のやうに縱談橫議だ。隈本日南先生も偶に姿を見せられる。滿天鬼氏が肥つた體を大儀さうに持込んで

「蒙古で羊を飼ふので農商務省から補助して貰はにや」

と、稀にない算盤話。

◇

出不精で、無口で、編輯屋の小生が、その裡に居たのだ。

「北齋の描いた梅暦の丹次郎だね」

箕南氏が小生を評した言葉——思へば夢だ。

が、その丹次郎、見上げるやうな大男の隈南氏の、云ひ分を憤慨して、決闘すると騷いだこともあつた。

◇

朝から晩まで支那が語られ、支那を聞かされる。天下國家が月桂冠四合瓶の口から飛び出し、十五錢の合の子辨當で大陸跋涉の勇氣が橫溢する。畏友本山荻舟氏のお蔭掛で、小生が遲まきながら「人生修業」「商賣修業」の第一步を踏み出した。ヤマカン橫町の事務所——

矢ツ張り支那に緣はあつたのだ。

◇

時代は移る。

送別の席に附物の「滑城朝雨」は「テナモンヤモンヤ」の道頓堀節に代り、往年の「北齋描く丹次郎」は鬢髮霜を置いた。弱冠氣銳にして、足、居を出でなかつた小生は、「我見ても久しくなりぬ」の嘆深い現在、夢も圓かに滿洲の曠野を驅騁する——

「人生は變なものだなあ」だが、人生に偶然は無い。

◇

述懷が過ぎた。さて、沿線を巡らう(一記者)

撫順

在撫青年の爲めに青年會館を設立
一部の有識者で計畫

最近撫順體育協會有力者間に多期間戶外的大衆スポーツの猛練習をなし得る大ホールを有する青年會館建設の議が起こり既にその設計案まで出來たと傳へられてゐる、場所は眺望もつともよき永安臺社宅街の南臺町と北臺町との中間の廣漠たる空地が擬せられてゐる、その理由は滿洲の多は餘り長く而もスキー、スケートの如き一部的のものである上降雪量その他の關係上練習し得る日は極めて些なく且期折角鍛錬した身心が無爲に苦む多の間ですつかり壞されて了ふ且つ無聊に苦むが爲についうかうかと麻雀などを覺えお終ひには金錢を賭するやうにもなりそれ以上

雜多な弊害

が起るので消極的には滿蒙の第一線に活躍すべき使命ある中堅たる青年の身心の蠹毒を防止するに止らず積極的には夏期と等しい大衆的スポーツの奬勵をなさんとするにある、經費は約五萬圓であらゆる競技の練習をなし得るは勿論室內プールまで設けると云ふのだから在撫幾千の青少年はその實現を非常に渴望してゐる

地下二十米の鉛管が酷寒で破裂する
◇係員泣かせの水道事故◇

流石は滿洲の多連日零下三十幾度と云ふ大陸的酷寒の襲來せし撫順に於て舊臘十二月十八日より一月十五日まで一ケ月足らずの間水道係の調査に依る水道鐵管破裂等の故障が七百七件と云ふのだからたまらぬ、やさしいのは水栓口から三、四尺の凍結を始めひどいのになると屋外の埋沒鉛管二十米突も凍つた上破裂し修理係を泣かした件數も相當ある係員は多い時は四、五十名勘い時でも三十名位が晝夜兼行で忙殺されてゐる、とは滿洲の多にふさはしい特殊現象である

市場賣上高

撫順市場會社の手を通じて供給されたお正月の材料である舊臘十二月中の魚類菜果類賣揚高は總計三萬六千百十六圓六十八錢で三年同月の三萬七千三百十三圓三十五錢に比し一千百九十六圓六十七錢の減少を示し茲にも舊多流行の緊縮の聲が現はれてゐる、尙四年十二月の賣場內譯は次の如くである

▲中央市場 鮮魚が斷然多く二萬一千六百七十二圓四十七錢次が菜果五千四十九圓四十錢、製造物二千四百二十六圓九十四錢、鹽干もの二千二百十五圓五十二錢、計三萬一千三百六十四圓三十三錢

▲千金市場 魚類は僅に四百六十一圓二十錢、野菜四千二百九十一圓十五錢、計四千七百五十二圓三十五錢

大倉組事務所の小火

古城子スキップ捲場大倉組出張所事務所より十六日午前九時四十分出火五十四坪を全燒同十時二十分鎭火、損害家屋五百圓、家具衣類一千圓機械類一千二百圓計二千七百圓の損害、原因失火

千金出張所移轉

十六日より撫順局千金出張所は山城町消費組合隣の舊千金電燈部出張所跡に移轉した

安東

安東氷滑大會
けふ鴨綠江リンクで

安東氷滑部の鴨綠江リンクは漸く完成をとげ各選手及び一般會員も每日猛練習を開始してゐるが、氷滑部幹部は十六日協議の結果、豫定の通り十九日午前九時から安東氷滑大會を開始する事となつた、當日のプログラムは

▲學生の部 二五〇米(二回)五〇〇米(二回)一、五〇〇米(二回)五、〇〇〇米(一回)一〇、〇〇〇米(一回)背進二五〇米(一回)同五〇〇米(一回)千米リレー(一回)

▲中等學生の部 二五〇米(二回)五〇〇米(二回)一、五〇〇米(二回)五、〇〇〇米(一回)一〇、〇〇〇米(一回)背進二五〇米(一回)同五〇〇米(一回)二、〇〇〇米リレー(一回)

▲一般會員の部 二五〇米、五〇〇米、一、五〇〇米(各二回)五、〇〇〇米、一〇、〇〇〇米、背進二五〇米、五〇〇米、二、〇〇〇米リレー(各一回)

▲初年生の部 二五〇米、五〇〇米(各一回)

▲老頭兒組の部 五〇〇米、一、〇〇〇米(各一回)

なほこの外に選手リレー及び團體リレー等も行はれる筈である

林田滿洲體協主事

滿洲體育協會主事林田學氏は十六日來安し氷滑部河原地幹事の案內にて鴨綠江リンクを視察し、更に地方事務所に於て滿鮮大會開催に關する準備その他の件につき協議を遂げた

鞍山

手長の女中
質屋で盜み

鞍山北一條町飲食店「鹿兒島屋」女中佃某は昨年十一月より本年一月までの間に、北二條町質店高島七之助方に出入し數回に亘り金時計五、六個、クローム時計四、五個金指輪二、三個を竊取したこと自白したので目下其筋で嚴重取調べ中である

實業青年團役員會

鞍山實業青年團は十六日午後七時より會堂に於て役員會を開き協議の結果、總務部および常任幹事を廢し幹事全員を四分し月番幹事制に改正、十二日の定例役員會を三日に變更したがその組合せは次の通りである

一番藤招、伊藤、太田▲二番野村、內野、池尻▲三番藤平、野尻、河村、犬塚▲四番三好、秋貞、武田

警備會議出席者

營口に於て開催される警備會議に出席すべく松木鞍山警察署長、太田驛長、山本保安主任、千山、濱田驛神田立山驛長等が十八日出發した

地委聯合會出席者

奉天に於て十八、九の兩日開催せられる全滿地方員聯合會に出席すべく伊藤地方係長は十七日出發し正副會長增田直次、石川義助兩氏は十八日出發した

遼陽

更に代償要求か
工場移轉善後策として 實青年團の態度强硬

遼陽實業青年團總會は十六日午後一時からカフエー笹卷に於て開催出席者廿餘名工場閉鎖後の市內小賣商工業者救濟案に付協議の結果案は微溫的なりとし往年滿鐵が撫順市街地移轉に際し緩和料支拂の實例もあり一層强硬に滿鐵當局に望むべく實青團から實行委度會に希望條件として提出することにし午後四時散會した

地委代表出奉

奉天に於て十八、九の兩日開催の第七回全滿地方委員聯合會には遼陽から青山員雄、安藤吉三郎の兩氏が出席した

工場長別離宴

遼陽工場長杉浦能男氏は廿日午後六時から在住官民の主なる向を公會堂に招待別離の宴を催す

遼陽工場跡
使用希望多し

遼陽工場は既報の如く沙河口工場に併合したので其跡を使用せんとする希望者は多く、その主なるものは奉天の野田、大連の機械等及び立山鐵鐵會社等であるが、鞍鐵會社の神保晉藏氏は多年滿鐵に貢獻する處あるので滿鐵本社々長室審査役和田九一氏が來遼調査中である

新入隊兵到着
廿三日午前

遼陽駐剳步兵第廿聯隊及び工兵第十六大隊第一中隊に入隊した新兵は廿三日朝七時六分着列車で着遼の筈多數歡迎されたしと

人事

▲山崎副領事鐵道警備會議出席の爲め十八日營口へ ▲長山警察署長 同上 ▲橫山第十六師團參謀 同上 ▲酒井憲兵分隊長 同上 ▲田中驛長 同上 ▲福田機關區長 同上 ▲川村保線區長 同上 ▲田島沙河口工場技師長 十七日來遼々陽工場引繼

英國植民地功勞者列傳 (十)

在牛津 關屋悌藏

濠太利の部 (2) キヤプテン・ジエイムス・クツク (下)

その後の航海は案外無事で、恙なくオタハイテ島に到着し、金星觀測の目的も達し、第二の計畫ニユージーランド行に就き容易く今のポバテイー灣に着いた。土人のマオリ族は、この船を大きな島と間違へ、殊にその翼(帆)の美しさに感嘆したと云ふ。こんなことで退屈な長い船路の鬱を遣り、この間、まだ充分探險の屆いて居なかつたニユージーランドの海岸をよく調べた。○ニユージーランドが

南北の二島

から成つて居ると云ふことはこの時初めて發見された愈々一路歸英の途に就いて出帆後數日、即ち一七七〇年四月十九日、右舷に陸影を認めた。近づいて見ると思ひがけない大きな土地だ●ニユージーランドの西に大きな島があると云ふことは漠然と云ひ傳へられてゐたがそれが斯の如き美しい大陸であらうとは夢想だもしなかつた。一同意外の收穫に有頂天になつた。この時、一方植物學者でもあつた前掲のジヨセー・バンクス(後年のサア、ジエー、バンク?)がこゝで採集して

倫敦へ持歸

つた數種の標本が世界への植物學上貴重な仕事をした後このエンデヴァー號が初めて錨を下した灣をボタニー灣と呼、この地方の風景が、ウエイルスのペンブロウク、カマアセン邊の丘陵地に似て居るのでニユー、サウス、ウエイルスと名づけた。さて一同、クツク、バンクス兩人の技倆に全く信賴し何の不安も感じなかつたばかりか、目の前に見る新大陸の美しい姿に誘惑を覺え、もつと長く留まつて更に大きい收穫を擧げたかつたが

公の命令で

來て居ることの航海に豫定の日數をそんなに多く費すわけに行かなかつたので、一まづ錨を上げて目出度くプリマスに歸着し、英國船の世界一周記錄を初めて完成した。クツク、バンクスの報告によつて、南洋の新大陸に異常な興味を有つた英國政府は直に第二回探險隊派遣の

計畫を立て

た今度はリゾリユーション號(四五〇噸)アドヴエンチニア號(三〇〇噸)の二軍艦でリゾリユーション號の長にクツク、アドヴエンチユア號にキヤプテン、ファーノークスを任命した。二艦は一七七二年七月十三日プリマスを出て今度は、前航海の反對に喜望峰から南洋に向つた。頗る難航で、暴風雨のため兩艦が十四週目にやつと落ち合つたこと等があつた。然し兎に角首尾よくボタニー灣に到着し

此處を中心

にニユーサウスウエイルスの奧地、海岸を調査し、貴重な收穫を擧げた後更にニユージーランドに寄り、ケープホーンを經て本國へ歸つた。第三回の探檢が企てられた。派遣艦は前回の二艦で、クツクはまたリゾリユーション號の艦長に、デイスカヴリー號へはキヤプテン、クラークが任命された。一七七六年七月十二日リゾリユーション號はプリマスを出帆した。此の時クツクは年四十八歲、この年で、而も前二回の航海で充分な功績を擧げ、名譽を獲た後、更に

新な冒險に

向はうと云ふ、その冒險も、四五〇噸の扁舟で茫漠たる荒海を乘切らうと云ふ筆者が彼に感心する最大なものはこの邊の壯な意氣である。しかも彼はこの第三回の冒險に遂に命を棄て了つた。勿論惜んで餘りあることである。彼に猶多くの天壽が藉されたとしたら、それは啻に英國の利益のみではなかつたかもしれない。然し乍ら、此種の冒險家の死所はその冒險の途中である冒險、探險等の效果は必ずしもその

經濟的利益

(之も妙な言葉だが)ばかりでない、詩歌の世界に生き後世の人々の心を勵ます所がその身上ではあるまいか。冒險家が冒險の途中に身を終ると云ふことは、正にその詩味を無限に引き上げるものであり、彼等の人としての務めを完成するものだらう。筆者はクツクの死をかう見て居る。第三回の探險は妙な目的を有つて居た。それはケイプ、ホーンとニユージーランドの丁度眞中邊から南極洋へかけて素晴しい

大陸がある

と云ふ噂を確めようと云ふのであつた。然し四〇〇噸の小船は充分の續航力がなくその上天候に惠まれなかつたので、思ふやうな探險が出來なかつた。で何の收穫もあつたのだけれ共、クツクとしては何かあると云ふ噂を全く否定するに足るだけの充分な探險がしたかつたのである。この探檢の後、彼等は更に太平洋から大西洋に通ずる航路を南北アメリカのどこかに

見出さうと

云ふ目的の航海に移り、南アメリカの太平洋岸を北航した。彼等はアメリカはどこかで南北に切れて居るのだらうと云ふ考へであつた。彼等はこの時アリユーシヤン群島からベーリング海峽まで行つて居る。規模の大きいと聞くだけで胸がすくではないか。歸航の途中オタハイテ島で、はしなくも土人と衝突した防禦につとめたが、寡勢の悲しさ恐れを知らない猛獸のやうな土人との太刀打は非常に困難であつた

苦闘の間に

四人の味方を喪つた。キヤプテン、クツクもその一人であつた。味方の最後に立つて土人の追擊を防いで居るうち、彼は流れ矢に當つて倒れた。再び起き、闘つて居る裡に、遂に力盡きて息を引とつた。彼は第三回の探險から歸つたら、從男爵位が授けられる筈で、首を長くして歸航を待受けた英國の上下は、この不幸な通信を悲しんだ。キングジヨウジは即座に、彼の寡婦に年三百磅の扶助料を送ることを決定させた。然し繰返す通りキヤプテン、クツクは寔に死所を得たものである。無事に歸つて從男爵の

榮位を樂ん

だ所で何程のとがあつたらう。胸のすくやうな思ひ切つた大冒險で太平洋の南北を征服した後、春の花のやうに突然散つて行つた行く春を惜む人の心に永く彼の面影が殘る。今日シドニー灣頭の彼の記念像を仰ぐ人の胸に、彼がこのはてしない南太平洋の孤島で敢なく死んで行つたと云ふことが、彼に對する思慕の想ひをどの位强くして居ることであらう。(寫眞はクツクと土人の格闘)

長春

邦人を襲つた强盜の片割

去る十四日市內三笠町四丁目二十七番地藥種商日昇堂事井手儀治方を襲つた强盜二名はその場から姿を晦ましたので極力嚴探中十六日城內新市場廣澤醫院前に於て擧動不審の一支那人を發見し日支警官共力して取押へ、公安局に連行取調べた所日昇堂方に押入つた强盜の一名にて山東省生與國新なること自白した

校長會議に出席

來る二十二、三、四日間滿鐵本社に於て小學校長會議が開催されるので長春からは上原室町、田城西廣場各小學校長、小林公學堂長が出席すると

同仁醫院の失火

市內富士町同仁醫院方では十六日午前一時頃失火し居室及び事務室の一部を燒いたが大事に至らずして消し止めた原因は煖房の不完全かららしいと

新築郵便局へ
十九日に移轉

今回新築された長春郵便局は昨年中に引越の豫定であつたが年末に差迫つた爲め延期され愈々十九日移轉した、新築と共に計劃された自働式交換機も實現の運びとなり、十五日より配線其他の工事に着手したが、自働交換機も二月中には到着の筈で愈々完成され自働式に依り通話されるのは三月半頃になるであらう、右自働式に改正の爲め電話交換局のみは現在のまゝ繼續され完成と共に引揚げると

原視學大連へ赴任

今回大連民政署に榮轉した當支署の原視學は十六日七時五十五分發列車にて家族同伴離任した、驛頭には署長兩課長以下署員市民、支那人等多數の見送りがあつた

開原

兩課長視察

關東廳松田高等警察、有田保安兩課長は所管事務視察のため管內各署巡視の途次來る二十三日午前十一時二十一分着列車にて鐵嶺より來開し事務視察の上同日午後五時三十三分發列車にて四平街に向ふ

川崎所長招宴

川崎所長は十六日午後六時より當地新聞記者を二葉に招待し盛宴を催した

四平街

滿鐵講堂
六百人收容の公會堂に利用

公會堂建設計畫は久しき以前より地方の懸案となつてゐたが累年萎靡せる地方財界では工費捻出に方法なく其必要に迫られつゝも荏苒今日に至つてゐた折柄滿鐵本年度の施設として現存の社員俱樂部橫手空地(從來相撲場跡)に工費二萬八千餘圓總坪數四一〇平方米優に六百名を收容し得る大講堂を建設すべく既に滿鐵本社の認可を經て本年の解氷期を俟つて着手し秋期までに竣工せしむべく確定したが前記地方の計畫である公會堂が果して何時になれば實現するか今尙豫想すらつかざる折柄とて滿鐵這回の企ては最も機宜を得た地方施設なりと喜んでゐるが該講堂に百尺竿頭更に一步を進めて公會堂代用として一般地方に開放する樣地方側より滿鐵に請願する處あつたが滿鐵側も地方の實情に鑑みて右請願を諒とし公會堂代用として開放することに決したがそれには該講堂の施設に更に舞臺並びに樂屋等を設け常に活動寫眞、芝居等の興行をもなし得る設備を要すべきが這は滿鐵當事者が地方側との意見を徵して理想的に設備をなすことに確定したが右地方側より舞臺樂屋の附帶工費は一般地方民より金五千圓醵金して前記工費の一部を援助することになつた

鐵嶺

華商窮境
廢業屆出者廿軒に達す

舊節季逼迫と共に支那側商店は難關切拔け策に相當頭を惱ましてゐる模樣なるが既に廢業申出る者も最近稅捐局に屆出たる者二十軒に達し中には理髮店、靴屋、藥物屋、錢舖、特產商、質屋等一寸名を知られた店もあると

入學屆出を
至急提出されたい

鐵嶺に於ける本年度學齡兒童は八十八名の處入學願書の提出者僅に卅一名に過ぎず書類整理入學準備等にも支障あるにつき期日たる二十日前に至急入學願書を提出されたいと希望してゐる尙學齡兒童は來る二十五日午後一時より病院に於てトラホーム檢査を行ひ二十八日午前九時より小學校に於て學校專門醫の體格檢査及父兄と學校側との懇談會を催すにつき當日は父兄同道出席されたしと

鐵俱電話架設

滿鐵クラブでは十六日より公衆電話を架設した番號は三百二十六番であると

日語學堂學生募集

當地日語學堂では來る四月新學期に入學の學生を募集するが人員は六十名願書受付は三月二十日まで二十五日に入學試驗を行ふと

人事

▲江草憲兵分隊長 十五日衞戍病院より退院自宅で療養中 ▲末廣榮二氏 全滿地方委員會出席の爲め十七日赴奉 ▲山田桂藏氏 同上十八日赴奉 ▲岳憲人氏(新任鐵嶺公安局第十五大隊長) 十五日着任挨拶の爲め各方面歷訪

貔子窩

舊年末に一仕事
貔子窩馬賊團部下を集合

日本のお正月も過ぎて今度は支那人に慌たゞしい年の瀨が訪れた、此苦い決算を濟ませる爲めに强盜が橫行する、馬賊の樣な商賣にもお正月が來る、莊復二縣を根據に暴威を逞しうして居る匪賊頭目曲長江は一時何處にか姿を晦まして居たが、最近部下二十名を率ゐ莊河縣玉皇廟附近に潛伏し復縣の全明叔を頭目とする約十名の一團と合し、此年末に一仕事せんものと此外に各地に散在する部下を呼合しつゝある模樣である、警務課では何時當管內に入るやも判らんので署員を督勵し警戒を嚴にしてゐる

南征雜錄 (81)

難波勝治

日本人と農業（上）

比島に於ける日本人集合地は大別して五箇所ある、ルスン島のマニラとバギウ、セブ島のセブ、ミンダナオ島のダバオ及びサンボアンガが即ちそれで、この中歴史の最も舊いマニラとセブとは、在住者概ね貿易其他の都市營業に從事して居るが、殘り三箇所は農業經營が總ての中堅だ就中注意すべきはこれ等

農業地帶 への入植が、バギウに於けるベンゲット移民に原因附られた事である、比島人が東洋無比の避暑地と誇稱するこの地は、ルスン島北方の西部山脈中にあつて、海拔約五千呎、氣候の好適と風光の明媚とを以て知られて居り、開拓者は現米國大審院長タフト氏である、當時比島總督として令名あつた同氏が、養痾の爲めに同所にキャムプ生活を送つたのが緣となり、これを遊覽保養の地たらしむべく

基礎案を 設計させた、其うちダルモチス驛からバギウまでの自動車道路築造のために、一千五百人の日本勞働者を輸入したが時は明治三十六年、今を距ること二十七年の昔話である、ボエド河に沿ふて左曲右折する二十五哩の谿谷は、木曾川の上流にも比すべき峻拔險難の奇勝だけに、開鑿架橋の諸工事に使役された同胞の勞苦は一方でなかつた、二個年後の竣功と共に大部は日本に送還されたが、その中バギウ市の郊外に足を駐めた者、及びミンダナオ島のダバオに渡航した人々は、この地に

農業經營 の基礎を開拓したのである、ダバオに比すればバギウの耕地は數と量と共に乏しく小さいが、其素朴堅實な落着き振りは寧ろ後者が立優つて居る、私は七月二十三日以後の三日間を同地の踏察に費したが、ダモルチスはマニラを北に距ること百五十哩、其處から乘合自動車で驅登る二時間の山路は、激湍岩を嚙む深谿を下瞰し、布を懸けたやうな瀑流や、空にそゝり立つ斷巖絶壁や、いやが上に重なり合ふ峰巒や

それ等を 彩る疎らな松林など眞に飽くなき幽雅な勝景を送迎する、バギウ驛に着いたのは午後五時過ぎ、其處から中央盆地の右手を降り行く一筋道は、煉瓦木造取交ぜた家屋が立ち並んで、市中唯一の繁華な商店街である、目下人口約七千、市廳あり、舊教寺院あり、夏期行政官の事務所に充當する諸建築あり、（圓形劇場）キャムプ・ジョン・ヘイあり、比島教員大會用のテイチヤース・キャムプあり、中央盆地のバアンハム公園を廻つて、ホテル、別莊、住宅等が

林樹の間 に隱見する光景は宛然一幅の畫圖である、旅館は米人經營のパイン・ホテルを第一とし、スペイン人、ヒリッピン人支那人の營業する者各一戸あり、私の落着いた支那人旅館ワシントン・ホテルは、昭和三年四月開業した木造の新家屋で間數四十を有する清楚な三階建である、何より心強いのは日本商店の發展振りで早川商店の如きは各國人中その右に出づる者もないが、更にこれ等邦商の幾んど總てが

赤手空拳 で仕上げた處に特色がある、早川商店主早川秀雄君はベンゲット移民中に交つて身を立てた山梨縣人だが、二十餘年間拮据經營して今日の礎を成し、雜貨商を本業に建築輸送等の諸方面に手を擴げて居る、今しも活動の衝に當る令息豊平君は

神戸高商 卒業後渡航してから茲に十四年、業務の傍ら民會長として邦人間に信望を博して居るが、試みに主なる商店を擧ぐれば左の通りである

業種	氏名
雜貨請負及運送業	早川豊平
時計販賣	浦田松雄
食料雜貨	木下初六
同上	阿部商店
雜貨商	谷永松吉
同上	荒川豊
同上	宮井國吉
寫眞業	辻義光

このうち 浦田君の郷里は熊本縣、農學校卒業後米國に渡航し、コロラド州でキャベツ栽培に從事して居たが、十年前友人を頼つてダバオに轉住し、間もなく避暑の積りで出懸けたのがこの地に落着く緣となつた、お門違ひの時計商はホンの申譯、民會副長として專ら農業地の改善發達に努力して居る【寫眞はバギウのベンゲット道路】

馬の偉勳 死の魔手から人間を救ふ（上）

血液十四萬瓦を供給した馬 免疫血清の犠牲

南滿獸醫畜産學會 倉賀野晋

人類社會に及ぼす馬の貢獻は軍事、産業、交通運搬から娛樂機關たる外尙隱れたる功績がある、殊に吾人生命の危機に際し顯著の勳功を奏して居る、即ち醫療的方面に於て血清療法に對し貴重なる血清を人類に供給することである、容姿大に揚り歩様輕快の駿馬は騎士に愛され、體軀雄大力量強大なる肥馬は輓曳農耕に、夫々適所に使役せられるが不幸にして體軀の發育整調ならず充分なる勞役に服し得ない馬も血清療法に利用される場合にありては天晴

偉勳を奏 し幾百千の人命を救ふのである、馬は血清療法に要する免疫血清を供給し人類の傳染病、家畜傳染病の免疫血清を供給するが、人類と至大の關係ある傳染病中殊にヂフテリーに對する場合を次に説明しよう、抑々ヂフテリーの血清療法は吾が北里博士が今を去る三十年前ドイツのコッホ先生の許に於て細菌學免疫學に沒頭研究せられた際、ベーリング先生と共同研究を遂げ遂に完成したものである、其の實施は明治二十七年末からであるが、其奏效神の如きヂフテリー血清の製造は明治二十六年頃に着手したもので、先づ緬羊に對してヂフテリー毒を注射する第一回は熱發、食慾斷絶

苦惱衰弱 を伴ふが恢復を待つて第二回第三回の注射を行ひ遂に免疫たらしめた此の緬羊から血清を絞り取るが死に至らしめぬ程度にて止め、健康恢復を待つて更に採血する方法であつた、然し血清の需用が多くなるに伴ひ緬羊の代りに馬を用ゐることになつたのである、馬を免疫せしめた時代は明治二十八年であるが最初これがために十五頭の馬を用ゐた、其中一頭の馬は非常に高度に免疫した、此の馬は格別の名馬でもなく血統も判明せず

凡庸なる 馬であつたけれども體質が良く免疫付與操作が順調に運んで有効なる血清を提供したのである、其後も斯く強き免疫血清を得らるゝものは稀であつたこの可憐なる犠牲動物が八年の久しきに亘り供給したる血清量は總計實に十三萬七千百瓦に達した、唯一匹の馬から得たる血清の爲めに九死に一生を得た人は幾百人に達したことであらう、容姿振はざる一獸馬と雖もその偉大なる勳功に對しても感謝の念を禁じ得ない

八ッ相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと

鐵道事務所の方々への希望

奉天 一特産商

奉天驛食堂へ行つてみると正午頃はいつも大入滿員だ、どうかすると席が空くのを待ちくたびれて退却する事すらある、常連の内には鐵道事務所の偉い方々の顔が見えるがこの方々の腰が頗る長い、定つて一時半の急行列車の發車まで雜談が續く、一般の迷惑は勿論驛員連中も不平たら／＼である、この方々も食堂のお客樣である以上別に文句をいふ譯ではないが相成るべくは事務所内の專用食堂で願ふ事はできないだらうか？お役目がら特に一般旅客の便宜に御注意をいただきたいものだ。

市中の浴場の改善を切望す

大連 入港狂

僕は昨年の七月以來朝鮮の京城で暮したが、赴任準備かた／＼當地で先方の新聞を閲讀してゐる間に最も頭を惱ましたのは浴場だ、新聞の記事によると恐ろしく不潔で到頭警察から干渉を初めたがなか／＼改善されない、といふのだ一日に二度でもお辭儀をしない入浴好きの僕は何よりも怖氣を振つて縮み上つたものだが、行つて見ると大した相違、このお湯屋で不足の云へる京城人がつく／＼羨しくなつた。東京と藤澤、大阪と尼ヶ崎――京城と大連の湯屋を比較するとそれ位の優劣はある。劣つてゐるのは……遺憾ながら大連の方だ。第一、水が違ふ。大連の湯屋で水道を使用してゐる宅があるか、僕ですら三日も入浴を續けようものなら皮膚が痛むのだから、大連女性の玉肌に及ぼす被害に至つては慘澹たるものがあらう。浴場内の陰暗不潔に至つては沙汰の限りだ。最近警察署から注意方を示達するといふ新聞記事を見たが遲い／＼である。文化都市が聞いて呆れる醜態だ。それでゐて京城は十月六錢に値下したのだから大連のは高からう惡からうだ。入浴者が嫌いにしてからが湯屋擁護ばかりでは公衆衛生の保善は困難だらう。自宅に湯殿を持たない人達の事も考へなければ内地人の所謂植民地式ダラ官の標本になる。

紅い夕陽

滿洲安圖縣松風落月酒林中に根據を有する朝鮮獨立標榜の一派百濟團は、福鮮の臨事總會で懸賞付襲擊隊鮮内潜入を決議し實行に着手した▲この懸賞付襲擊隊は血氣の青年四十名を四隊に分けて武裝せしめ結氷期中に鴨綠江岸地帶を襲擊するといふので懸賞方法は目指す對手一名を殪せば賞金三百圓、二名が五百圓、三名以上五名に八百六十圓、六名以上十名に對しては千三百圓〇〇を襲ひ武器を掠奪した際には長銃、軍刀、拳銃の種別に應じ夫々賞金が與る事になつてゐる▲各隊は舊臘二十日根據地を出發し第一隊は馬道山、第二隊は玄一廬、第三隊は張英哲、第四隊は黃世雄の指揮で長白縣以下安東縣までの間に通路を求め鴨綠江岸に向つたと

食物の消化と不消化

＝好き嫌ひ＝といふ事と消化不消化とは密接な關係がある。たとへば如何に牛乳が消化がよいと言つても、牛乳を好まない人には容易に消化しないのみならず異常の醱酵作用を起したりすることさへある。また反對に、蛸の如き消化し難い物でも、之を好む人の胃腸は忽ち消化して了ふ。之が好かない人だと殆ど絶體に消化しない、時には其のまゝ糞便の中に出て來ることがある。また習慣と消化とも關係が深い、たとへば

＝澱粉質を＝食ひなれた胃腸と、蛋白質を消化しつけた胃腸とがある。勿論詳細な研究をして見れば分らぬことであるが日本人は祖先傳來澱粉で生活して來てゐるから、概して澱粉に對する消化力が遺傳的に强いやうに思はれる。從つて消化云々といふことも一概には言はれないことで、その人の健康狀態と嗜好とを考へなければならぬ。それから俗に消化がよい、惡いといふこと、學問上の消化の良否とは少しく違つてゐる。俗に消化がいゝといふのは食べてから早く

＝腹の空く＝ものであるが、單に腹が空き易いといふだけでは、未だ本當の消化がいゝといふことにならぬ。早く腹が好くといふことは、食べたものが早く胃を通りぬけるといふことで、感ずるから、それで早く通り拔けるものが消化がよいと俗に考へるわけである。ところが、胃腸を通り拔けてその儘それが便と一緒に出てしまつたのでは何んにもならない。そこで先づ

＝學問上の＝消化の良否を調べるには、食つたものが幾ら身體に殘つて、即ち吸收されて幾ら外に排泄されたかを見るのである。例へば飯を二杯食ふとしたら、飯三杯の中にある養分を計つて、それから大便を調べる、さうして食物の方にあつた養分と、大便の中にまだ殘つてゐる養分とを差引いた殘りが、消化されたと見るのである。その消化の割合を計算したものが即ち「消化率」で消化率のよいものが本當に消化のよい食物なのである。そこで、こうした研究の結果から見ると

＝蛋白質や＝脂肪に富んだ食物は概して胃腸を通りぬけることが非常に遲い。即ち野菜と肉類とを比較すると、肉の方は野菜より遙かに消化率は高いが、肉を食ふと、いつまでも腹に持つてゐるから、なかなか腹が空かない「どうも肉類は消化が惡い」などいふ人があるのも全くそのためであるが、實際は野菜類より肉類の方が遙かに消化がよいのである。兎に角腹が早く空くから消化がいゝと思ふのは大いなる誤りである。却つて消化が惡いために早く腹を通ることのあることを考へねばならぬ。

生食は 健康を増進する

吾々は物を美味しくたべるために常に煮たりやいたりして食べるがそれは生で食べる場合とは大變その效果がちがふ。それは次の樣な試驗によつて立派に證明される。即ち鼠に米を主食として之にバター、オリザリン、カゼイン等を適宜に與えて、煮た米を與へたものと、生の米をあたへたものとを比較した處、煮て食べさせるものは最初のうちは成長が早かつたが早く死亡した。之に反して生で與へたものは比較的永く生存した事實を確める事が出來た。これは始め單に不思議な現象とのみ考へてゐたのであるが、その後、二三年經て、一九二六年にドイツの消化器病學會に於て生食食療法について報告があり、一九二八年にはオランダで開かれた同學會では人體について研究された結果生食の效果が認められた。それは、生食は健康者に用ひればいよいよ榮養を良くし、病人、特に貧血症、肺結核、糖尿病、心臟病、腎臟病、不姙症の人々に效果の多いことが分り、なほ病氣の治療を早からしめる。これは生命によつて新陳代謝機能を旺ならしめ食事樣式による身體の變調を整へる作用があり、カロリーやヴイタミンのみでは不足する何物かを補給する働きを持つてゐるからである

大チャンノ モウジウガリ（8）

ハルミチ作　ジラウ畫

フイニ　キリツケラレテ　オドロイタ　タコクン　コンナ　オホダコ　ニ　スヒツカレテハ　ソレコソ　タイヘン　デス。大チヤン　ハ、ポケツトカラ、ピストル　ヲ　トリダシ、タコ　ノ　アタマ　ヲ　ナンボンモ　ウゴメカシナガラ　イマニモ大タコ　ハ、スコシモ　ヒルマズ、オホキナ　アシ　ヲ　オドラセナガラ、フタリ　ノ　ハウニ　セマツテキマス。

ハ　ウミ　ノ　ウヘ　ニ、ニユーツ　ト　アタマ　ヲ　アゲテ、クチ　ヲ　トガラセマシタ。ソシテ、ヘビ　ノ　ヤウニ　ナガイ　アシ　ヲ　メガケテ、メツタウチニ　シマシタ。シカシ　チヤン　ヤ、オヂサン　ニ、スヒツカウト　シマシタ。

懸賞童話 ＝佳作＝ 比呂志（上）

敏浩二郎

今日も比呂志は校庭の東のすみに植ゑられてあるポプラによりかゝつて、晴れ渡つた空を、ジッと見つめて居るのでした。

秋です。

澄み切つた大空、色づいて來たポプラ、アカシヤの葉。

秋です。

「澁谷君」

比呂志は、ハッとしてふり向きました。

と、一葉、二葉生、氣を奪はれ力もないポプラの葉が、ヒラヒラと比呂志の上に落ちて來ました。

そこには、受持ちの土肥先生が眼鏡の奧から優しい瞳を見せて、立つて居りました。

「君はいつも、このポプラによりかゝつて、寂しさうに空を見て居るね」

比呂志は頭をたれました。

重苦い氣が、胸先の方から咽喉元の方へ込み上げて來ました。

「寂しさうにして居ると、しまひには、病氣になるよ」

比呂志は、肩の上にのせられた先生の掌から、いひあらはせない溫かみを感じました。

「滿洲の秋は始めてだね」

比呂志は首をたれたまゝ小さくうなづきました。と、にじみ出た涙が一滴、乾いた赭土の上にポッツリと黑く、しるしづけました。

比呂志の胸のうちには、又しても、一度消えた故鄕のことが、繪卷物をひろげる樣に、うつし出されました。

藁屋根の大きい家。

枝もたわむ許りにみのつた柿。

白壁の土藏。

栗毛の馬。

土藏のわきに有る樫の木。

樫の實のこま。

…………

「澁谷君の國はどこ？」

その聲に、胸の手にうつされて居た故鄕のことどもは消えうせて……思はず頭をあげました。

「いばらぎけんです」

「おや？。君は泣いたね」

いはれて、再び首をたれて、面を赤らめました。

泪をにじませてゐるのを、先生に見付けられたことが、比呂志には恥られたのでした。

……

「泣くなんて……泣くなんて……」

二言つゞけ樣にいつて先生は、唾を呑み込みました。

「泣いちや駄目だよ。……ね……日本人は、別けても日本男兒は今少し强いはずだよ」

そういつて先生は、比呂志の肩を優しく、二つ三つ叩きました。

「泣くなんて、女の赤ちやんのすることだよ。澁谷君は、日本男兒だらう。泣いちや駄目だよ。泣いちや駄目だよ」

ラヂオ露語講座

大連放送局十一月二十日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ДВАДЦАТЬ ШЕСТОЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы завтра утром дома.
Б.—Сейчас я хорошо не знаю, может быть, буду дома.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно обедаете.
Б.—Я всегда обедаю в двенадцать часов.
А.—А скажите пожалуйста, в котором часу вы ужинаете.
Б.—Я ужинаю в семь часов вечера.
А.—Скажите пожалуйста, всегда ли вы встаете в семь часов утра.
Б.—Да, я всегда встаю в это время.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы сегодня встали.
Б.—Сегодня я встал в восемь часов утра.
А.—Почему вы так поздно встали.
Б.—Потому что вчера вечером у меня были гости и я поздно лег спать.
А.—Если вы будете свободны в это воскресенье, то приходите, пожалуйста, ко мне.
Б.—Благодарю вас, если я буду свободен в это воскресенье, то непременно приду.

第二十六課

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，明朝 貴下ハ御在宅デスカ？
Б.—只今私ハヨクワカリマセン，多分家＝居ルデセウ。
A.—何ウゾ言ツテ下サイ，平常貴下ハ何時＝晝食ナサイマスカ？
Б.—私ハイツモ十二時＝晝食シマス。
A.—何ウゾ言ツテ下サイ，何時＝貴方ハ晩食ナサイマスカ？
Б.—私ハ夜ノ七時＝晩食シマス。
A.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴下ハ常＝朝七時＝起床シマスカ？
Б.—ハイ，私ハ常＝此ノ時刻＝起キマス。
A.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴下ハ今日何時＝起床ナサイマシタカ？
Б.—今日 私ハ 朝ノ八時＝起キマシタ。
A.—何ウシテ貴下ハソンナ＝オソク起キマシタカ？
Б.—何故ナレバ昨晩私ノ處＝オ客ガアリマシタ，ソシテ私ハオソク就床シマシタカラ。
A.—若シモ今度ノ日曜日＝オ暇デシタラ何ウゾ私方ヘオ出デ下サイ。
Б.—有難ウゴザイマス，若シ私今度ノ日曜日暇デシタラ必ズ參リマス。

歐米の印象（20）

……阿左見貂馬……

日本人でありながら 日本語の勉强

日本から米國に出稼に來てゐる親の多くは勞働者であるから、うまく英語が話せない。しかし、米國生れの子供達は小さい時から英語で育つてゐるから、日本語は拙いが英語は達者だ。そこで親子の間がどうも旨く行かない。親父が一生懸命日本を說いても、地圖を開けば豆粒大の島であり、街に出れば、天どん、一ぜんめし屋の貧弱さを見せつけられては益々米國カブレになつて了ふ。が然し、中學、女學校と進むにつれ米人はもう學校の往復も一緖にはしない「ジャップ」と云つて馬鹿にする。米人として立つかにはしない日本人として立つか第二世の惱みはこゝにある「せめて日本語を學ばせてをいたら」の親心から子供達は放課後日本語學園に通はせてゐるのである（寫眞は在米邦人に日本語を敎へる桑港の金門學園）

阿左見少年團主事の歐米印象記は以上の二十回を以て一先づ完結とします。尙同氏は近く同氏の撮影にかゝる四百餘枚の寫眞を印象記と共に旅行本として發表するさうです。

テレビジヨン

◇…我國の文字文章及び假名遣ひ等が頗る複雜であることは我國文化發達の上に非常なる障害となつてゐるが、今度近衞文麿公、鎌田榮吉其の他數氏が發起となり國語整理統一の大運動を起すことゝなり各大臣參列の上十五日に發會式を擧げた。

◇…山梨縣東山梨郡後屋敷村女子靑年團では十一日に同村小學校の二階の敎室で禮儀作法講習會開催中俄然大音響と共に床が落ちて十數名が重輕傷を負ふた。

◇…和歌山縣高野口町湯本織物の工場の女工田中イノは六十五歲の高齡であるが獨臘三十日に女兒を分娩、母子共健全であるとは珍しい。

◇…鹿兒島で新年明けの七日の夜活動寫眞館に入りゆつくりと映畫を見物しながらい、氣持ちで永眠往生したお婆さんがあつた

◇…長野縣諏訪郡岡谷下町木戸幸次郎長男孝（ニ）が疊の上に落ちてゐた留針を吞み込み苦悶してゐるのを母親が發見して附近の醫院にかつぎ込み目下手當中お母さん御用心。

胃
食欲減退、胃酸過多、胃加答兒等の病的消化器の慢性を帶びたるものゝ保健に
◎ミツワ健胃錠
定價 百錠入二十錢・三百錠入五十錢
適應症候
急(慢)性胃加答兒、胃酸過多症、胃弛緩症、胃擴張症、胃下垂症、胃潰瘍、胃痛、消化不良、嘔吐、神經性胃病
制酸 ミツワ制酸錠
消化 ミツワ消化錠
賣捌 全國著名の藥舖・雜貨店に無き時は本舖より直送
◎ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店
熱・痛
感冒、頭痛、齒痛、レウマチス、神經痛等に因る發熱疼痛に卓效ある
◎ミツワ解熱錠
適應症候
感冒、頭痛、齒痛、レウマチス、神經痛等に因る發熱並びに疼痛
咳・痰 ミツワ鎭咳錠
結核 ミツワミユース
御申越次第送呈 ミツワ家庭藥三十二方を說明せる小冊子あり
◎ミツワ石鹼本舖 東京 丸見屋商店
鼻
鼻腔內分泌腺を調節し、且消炎作用あるを以て、鼻病に確實なる效ある
◎ミツワ鼻病液
定價 四十錢
適應症候
鼻加答兒、鼻汁過多、鼻閉塞、鼻充血、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹
眼 ミツワ點眼液
齒 ミツワ齒痛液
御申越次第送呈 ミツワ家庭藥三十二方を說明せる小冊子あり
◎ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店
11.51
常に新柄と新型 ユルヤカニシツクリト
大連 丁子屋洋服店
電話六二七 振替大連三四三九
大連市愛宕町(天金前)
內科專門 櫻井內科醫院
電話七〇〇〇番
產室完備入院隨意
產婦人科
婦人の病は婦人の手で
女醫 永井清子
永井婦人醫院
大連市若狹町四十三
あつさりと美味しくあがる高級食料油―サラダにフライに天ぷらに
ノモイル
一升罐 二升罐 四合瓶
日清製油株式會社
化學工業博覽會銀牌受領
東京博覽會優良國產賞牌受領
◎ミツワ人參葡萄酒
香味高潔清和滋養豐富
元氣增進興奮作用優秀
▼如斯人は直接醫療方法の傍强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ひらるべし▲
Ginseng Wine
◎ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店
代理店 大連市浪速町百四十七番地 寶藥株式會社大連支店
1.36
品質優良 白米
多少に拘らず御用命願上ます
大連市若狹町
米穀商 志摩洋行
辻利茶店
イカ鹽辛 ハゼ佃煮
カツヲ鹽辛 アミ佃煮
鮎ノ春日漬 蛤時雨煮
辻利食料品部
溫泉旅館
御保養に御入浴に永滯在の御客樣にも樂しい遊び場所です
保健浴場
良い醬油は……
キッコータツ
大連市伊勢町
丸辰醬油會社
電話四八五八番
七寶製美術品
金盃・銀盃・洋盃
金銀製寶飾品
ブロンズ工藝鑄器
洋銀錫製美術品
一般彫刻象嵌
徽章鑄金作品
金華號本店
型錄送呈
ライオン齒磨
新春劈頭の第一聲!
「今年も朝夕必ずライオン齒磨とライオン齒刷子で齒を磨きませう」
本舖 株式會社小林商店
東京・大阪・名古屋
大原式羽毛蒲團購買會募集
金六圓掛 六ケ月滿了
東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの? 工場の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く暖く保存に使用に簡易消毒完全なる故永久絕對羽虫發生の憂なく至極安心で有升
卽賣もいたします
大原商會大連支店
電話三六六七番
石綿製各種パッキング
煖房用保溫材料一式
各種スーパーヒートパッキング
朝日石綿煙突
在庫豐富多少に拘らず御用命願ます
杉元商店
大連市榮町十五番地

大連錢鈔取引所側と華南側睨みあふ
わづか咯痰問題から端を發して 成行き頗る注目さる

大連錢鈔取引市場では又も華商取引人側との感情問題から紛糾を起し、華商側では取引所の出様によつては同盟休業すると鼓を囲き双方睨み合の形勢にあり、大連署高等係で警戒中であるが事件の成行は注目されてゐる、問題の發端は錢鈔取引人儲蓄公司某代理人及び益發號某代理人の兩名が市場内で屢々痰を吐き散らすので、取引所からその都度注意を興へてゐたが、去る十六日午後の立會に於ても右兩名が場内で痰を吐いたので、取引所側では一般見せしめのため、内規に基き右兩名の入場徽章を取り上げ、一時入場禁止を命じた爲め、華商側の反感を買ふた至つたものである、動機は極めて簡單なるものであるが日頃の反目もあり華商側では寄々協議し取引所側が直ちに右兩代理人の入場禁止を解かなければ、同盟休業するといひ形勢穩かならぬ裏行きである

入場禁止は一時的にすぎぬ
内規を遂行したまで 市條市場主任語る

右につき市條市場主任談る

動機は極めて簡單ですが、當市場では場内に於て痰を吐くことを衛生的見地から堅く禁じ、これを犯すものは入場徽章を取りあげる内規を作つてゐます、然るに右兩代理人はしばしく内規を犯して場内で痰を吐き散すので、遂に入場禁止をした譯ですこれも一時的禁止をしたに過ぎぬのです、元來右兩名は性質がよくなく、問題發生以來各方面に惡宣傳を行ひ、今にも同盟休業をするやうに云はれてゐますが、決して華商全般の意向でも何でもありません

床次氏 歸宅許さる

【東京十八日發電】今朝八時東京地方裁判所に出廷兩角豫審判事より小橋氏が久須美氏より受けた三萬圓の性質及び使途につき取調べを受けた床次竹二郎氏は午後四時二十分歸宅を許された

「都會交響樂」札止の盛況
昨夜の大日活

十八日初日の蓋を開けた本社後援にかゝる大日活の「都會交響樂」は全市の人氣を沸騰せしめ午後六時半既に札止めの盛況を呈した

民間有力者 對策協議
朝鮮學生事件

【京城十八日發電】最近頻發する學校騷擾事件に關する對策につき加藤鮮銀總裁、渡邊商議會頭發起にて本日午後二時朝鮮ホテルに在城民間有力者鮮人五十餘名、内地人二十餘名を招き對策を協議する處あつた

非常な盛況
セロと舞踊の夕

わが樂壇の第一線に立つセロイスト高勇吉氏を向へて大連グリー倶樂部主催セロと舞踊の夕は十八日午後七時半より協和會館に於いて盛大に開始された、獨曲中の難曲と云はれてゐるベートヴエンのソナタをごく簡單に片づけたのには一同舌を卷き、又ポッパーのガボット、モスコウスキーのギターレ等の小曲に聽衆は心から醉ひ、又ヘテイ夫人の美しいダンスに心を奪はれ時間の過ぎるを忘れアンコールにアンコールを重ね十時過ぎ盛會裡に散會した

日本氷滑聯盟 選手權大會

【宇都宮十八日發電】日本スケート競技聯盟主催第一回選手權大會は十八日午前九時より日光リンクに行はれ先づフイギュアースケーチング選手權競技に入つたが參加者十二名で明十九日得點と合して順位を決する筈、次で午後二時より氷上ホッケーに入つたが帝大AK對立教は十三對八で立教勝ち、早大對諏訪チームは十三對零にて早大の勝に歸した

小川前鐵相 保釋出所を許さる
百餘日振りで昨日歸宅

【東京十八日發電】昨年九月二十八日夜市ケ谷刑務所に收容され俄然疑獄事件の渦卷の中心となつた前鐵相小川平吉氏は今日保釋出所した、此の日氏は午前十時地方裁判所から保釋出所許可を言渡され金五百圓也の保證金を收めた、斯くて午後五時小川氏を乘せたクライスラー九千五百十三號は急速度で走り出た、車中深くカーテンを降ろした中で出迎への牧野良男代議士と並んだ小川氏の蒼白い顔がちらりと見えた、午後五時十五分内幸町の自邸に到着百餘日振りに歸つた小川氏は對の大島絣、白足袋フエルト草履の服裝に茶色の二重マントに身を包んで靜かに降り立つた、生來の鬱ら顔も光線の具合で幾分蒼白く見へる位別段疲勞の様子もない、セキ子夫人、令息、令孃及び書生等は流石に喜びに包まれ無言の鬱主人を迎へたが流石に

兩者の眼に 涙が見えた

流石の小川氏も此の日はどうしても新聞記者の面會に應ぜず只例の漢詩を二首示したのみだつた、氏は十八日夜は自宅で靜養し十九日は平磯の別莊に赴き靜養することゝなつてゐる

巡警殺し犯人逮捕
奉天附屬地で

【奉天特電十八日發】十七日午後六時半頃千代田通七番地先を奉天署の刑事が密行警戒中、擧動不審の一支那人を認め誰何するや逃走を企てたので直に組付き大格鬪の上逮捕した、彼は黑山縣生れ蘆鐵章(二七)と稱し此程城内で巡警を射殺した旨を自白したが引續き取調べ中、尚彼はブローニング拳銃を所持してゐた、また同七時頃前記場所で擧動怪しい二鮮人を格鬪の上逮捕し目下嚴重取調中である

俵商相も本日取調か
疑問視される一萬圓

【東京十八日發電】小橋前文相が三萬圓を受取つたと同時に久須美氏より一萬圓を受取つたと傳へられてゐる俵商相は、事件の處置上どうしても之を取調ねばならぬことゝなり、松坂次席檢事は多分十九日午前中に俵商相を訪問し一應取調をなす筈であるが、一萬圓を受取つたのは俵商相が内務政務次官の頃であり、その金の性質は民政黨の黨費として寄附を受けたもので何等の條件も有せざる白紙の金であると檢事局でも認めてゐたものであつた、然るに小橋氏の三萬圓の取調進行と共に俵商相の受けた一萬圓も疑ひを生じて來た爲めであると

拳銃を擬し所持金强奪
物騒な長春

【長春特電十八日發】十八日午前十一時半ごろ長春城内東四道街糧棧王某(二〇)が吉林官帖廿萬吊(邦貨約八百圓)を所持して附屬地日出町の支店に赴かんとして東四條通りに差かゝつたとき、一名の怪漢現はれ拳銃を擬して現金全部を奪ひ威嚇のため一彈を發射して逃走した事件あり、目下犯人嚴探中

佐世保青島間の海底電信線不通

【佐世保】佐世保青島間海底電信線は今十八日午前六時半又復不通となり本邦と青島及同地以遠支那內地發着電報通信の途が杜絕したので、當地遞信局では遞信省の依賴に依り大連、芝罘間海底線を青島に延長し使用することゝなつたが、右電報は和歐文共大連局で臨時中繼せしむることゝなつた

今夜七時から「滿日放送の夕」
市内の各ラヂオ商店では 通行人足止の準備

今夕七時より大連放送局に於て放送される「滿日放送の夕べ」はプログラム發表の通り出演者が粒よりの顔觸れなのでラヂオ架設者は勿論一般市民にも非常の興味を以て注目されてゐるが、この人氣に刺戟された機に敏なる市中各ラヂオ商店では逸早くこれを商品販賣の宣傳に利用すべく、何れも當夜店頭にラウドスピーカを取付け通行人の足を引止めやうと準備してゐる模樣である

家路をいそぐ ひるさがりの街頭所見

大相撲春場所 十日目勝負

【東京十八日發電】大相撲十日目の勝負左の如し

勝	決り手	負
若常陸	上手投げ	池田川
伊勢濱	寄り出し	東關
出羽岳	突き出し	若瀨川
荒熊	寄り出し	朝光
常陸岳	突き出し	汐ケ濱
常陸島	渡し込み	古賀浦
玉碇	押し倒し	太郎山
大蛇山	捻り	鏡岩
信夫山	寄り倒し	劍岳
和歌島	下手投げ	雷の峯
吉の山	吊り出し	外ケ濱
武藏山	吊り出し	寶川
幡瀨川	はたき込	新海
天龍	下手投げ	星甲
眞鶴	吊り出し	清水川
朝汐	突き出し	若葉山
玉錦	寄り切り	錦洋
豐國	腰砕け	大の里
能代潟	寄り切り	常の花
宮城山	送り出し	山錦

打出し五時卅五分

千秋樂取組

藤ノ里 常陸岳 大島 伊勢濱
東關 大汐 朝光 汐ケ濱
荒熊 出羽岳 外ケ濱 常陸島
若瀨川 寶川 池田川 劍岳
山錦 鏡岩 玉碇 清水川
太郎山 古賀浦 星甲 雷ノ峰
新海 和歌島 天龍 武藏山
吉野山 大蛇山 幡瀨川 朝汐
若葉山 信夫山 大ノ里 玉錦
眞鶴 豐國 錦洋 能代潟
常ノ花 宮城山

温泉めぐり……(二)
湯崗子
淺枝次朗

午後二時鞍山から引返して湯崗子驛に入る、愈々溫泉めぐりらしくなる。

◇―――◇

圓形の浴槽に向ひあつて入ると自然からならぬ季節に野の花が咲いた、記者はこれを下から見た圖を描いて見たが一層それらしい、併し發表は遠慮しやう。

◇―――◇

こゝでは日本の溫泉でまだ試みられてない泥浴場と云ふのが始まるそうで、只今工事中、地の底から湯と共に湧き出た溫泥の中に入るのだ。

「濕布療ホスピン、エキシカなぞでさへ效能があるんです、暖かい溫泉の泥で全身を濕布すると……」

天下一の效能書を聞かされた。

各選手全力を盡して戰ふ
氷滑大會の第一日

大連スケート會主催關東州スケート大會第一日目(十八日)フイガースケーチングは星ケ浦水明莊リンクに於いて午後六時三十分瀬谷大連市助役の開會の辭に依つて開始されたが、各選手共全力を盡して其の技を振ひ最後に各部一等入賞者に夫々賞品は授與され拍手の裡に同八時三十分無事第一日目の幕を閉ぢた、各部成績次の如し、審判山田、藤沼、東瀬戸、酒井以上四氏

女子の部

等	氏名	點
一等	梅澤登喜江	六九點半
二等	金井 綱	六二點半
三等	矢野 武子	五七點

一般の部

等	氏名	點
一等	打越 定男	七五點半
二等	筒鹽 達夫	六三點半
三等	池部 健次	五八點半

選手權の部(參加員四名)

等	氏名	點
一等	穎原 卓爾	六二五點半
二等	古賀 精華	五二〇點
三等	林 六郎	五〇〇點

尚第二日目スピードスケーチング及びアイスホッケー戰は十九日午前九時から鏡ケ池リンクで擧行される

手紙に自分の所氏名を書かぬのん氣者が多い
昨年中に滿洲で八千五百通

昨年中滿洲内差出の内國郵便物中配達不能のため差出人に還附を要するも、其の住所氏名の記載方不完全又は全然記載なきため還附不能に終つた郵便物は

書狀五、三三一通、葉書二、六一三通、第三種三九二通、第四種一五六通、第五種一通、計八四九三通、外に郵便物脫出品二三件の多數に上つた

右の内書狀八〇三通は遞信局で開披の結果内部に記載した住所氏名によつて差出人に還附手續きを取つた

まことにむさい糞便の處理
サテ「如何にすべき」か 關係當局がきのふ寄々協議

お正月匆々少しく臭いお話……大連市民廿萬人の糞便を如何に合理的に處理するか、これには關係當局がいづれも大困りの態で「如何にすべき」といふ書類が、市役所埠頭事務所、海務局、衛生課なんていふところをグルく廻つてゐる、目下北大山通海岸と第四埠頭外側と寺兒溝海岸に下水管で流出する様になつてゐるが、いづれも頗る不備不完全なもので、これによつて繁殖して行く小魚の腹には餘り綺麗なものははいつてゐないといふ、それについて何れは海中に流れ込む樣になるとして、直接その衝に當る埠頭事務所では秋山埠頭長、宮井、中川兩副長、並に淸岡築港長等は十八日午前一堂に會し地圖を睨んで協議を開いた

カフエーに猥書

市内美濃町銀座カフエーでは二階室間に高價な猥褻畫を掲げて客の好奇心を惹いてゐたこと發覺し十八日大連署から撤去を命ぜられた

電車、自轉車を跳ね飛ばす

隋心茹(一八)の運轉で靜ケ浦を發した二系統二〇七號電車が十八日午前九時二十四分ごろ初音町一四七番地先を疾走中、青雲臺八四魚行商張瑞田(二一)が自轉車に乘つて突然線路内に進入つたゝめ電車の急停車きかずこれを突飛したが損害は輕微であつた、然し電車側は急停車による原因で漏電から發火し車臺の下方木部を燃やし乘客は大騷ぎを演じ消火に應援したがこのため運轉不能に陷つた、車臺の損害目下取調中

藤原夫人告別式

【東京特電十八日發】前旅順民政署長藤原鐵太郎氏夫人えつ子夫人は豫て病氣の處十六日午前十一時逝去十八日午後二時東京牛込區袋町光照寺にて告別式を執行した

手長の火夫

神戸生れ住所不定元火夫前科一犯鹽石武一(二三)はかねてより繫留船舶を根城に窃盜を働いてゐたが、去る五日日興丸に侵入し洋服一着、同日海務協會海員集會所において衣類數點を盜み、更に十日アトランチック丸においてオーバー財布を竊取逢郎の馴染女の所で費消してゐたが十六日水上署藤刑事に逮捕され罪狀明白となつたので十八日本局送りと決定

盗みのボーイ

市内黑石礁水明莊滿鐵經理部長竹中政一氏方ボーイ滕學德(二〇)は昨年十一月以來前後七回に亘つて同家の現金その他約三百圓を竊取し、去る廿九日同家を解傭され姿を晦まして居つたところ沙河口署の手配で十七日貔子窩署にて逮捕され十八日沙河口署へ押送されて來た

園藝會懇親會

大連園藝會では新年懇親會を二十日午後四時半より常盤町市社會館に於て開催するが當日は長島憲吾氏の「速成野菜の栽培に就いて」といふ實物提供講演のほか松本貫逸氏の「蘭の一口ばなし」及び會員の實驗談等あり、なほ本年初めての試みとして花卉盆栽の市を開き、終つて同會場にて懇親會開宴し餘興等あり一般の來會を希望すると

玉澤運動具店

有名な東都玉澤バット運動具店は今回連鎖商店街に支店を設け十八日より開店することゝなつた

けふの催物

▲大連觀世會 午後一時より市内藤廟町八三、渡邊師宅にて初謡會、來聽隨意、番組(素謡高砂、八島、草紙洗小町、東北囃子、獨吟、仕舞)
▲日本メソヂスト教會 午前八時半より日曜學校、同十時より「僕召されて」岡安牧師、午後七時より「汝らを覺え」同師
▲西本願寺 午後二時より「機と法との接觸」福永布教使「未定」井藤布教師
▲敷島町組合教會 午前十時より「世は既に審かれたり」磯部牧師
▲大連ホーリネス教會 午前十時より「活ける信仰の內心的結果」吉津好雄氏、午後七時半より「父なる神の愛」同上
▲日本基督教會 午前十時より「唯一の道」白井牧師、午後七時より「現代生活と基督教」手塚長老、なほ今回研究會を設けその第一回を開講
▲救世軍本部 午前十時より大連小隊「試練と幸福」酒井參軍、沙河口小隊「基督教の生活」中島少尉、午後八時より大連小隊「憧れの世界」長井大尉、沙河口小隊「弱者の友」佐々木大尉
▲關東洲スケート大會 午前十時より大連鏡ケ池コートにて
▲靜坐會 午前九時より大連常安寺において橋本教授指導

戀と地獄 (16)

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

厭はしき訪客(五)

「しかしですな、これはこの場限りのことですが、何といつても機運は機運で、若しあなた方の思想がより漸進的な穩和なものになり得るとすれば、決して抑壓すべきものではないと私などは考へてゐるのです。たゞ、丘さんなんかの過激な急進的な運動に接近なさりなぞすると、どうも、役目の上から默つて見てはゐられなくなるので――」

と、言ひかけて、急にだしぬけに、

「丘さんに最後にお逢ひになつたのはいつです?」

この質問は大さう突然であると同時に、甚だしく自然な口調で發せられた。もし、無用心な藤田であれば、ついその調子に捲き込まれて「ええ、昨晩逢ひました」と答へてしまひ兼ねない程、素直な

語調だつた。

藤田はしかし用心し拔いてゐた。彼はジロリと刑事を見た。

「丘さんと――」

と、それだけ彼は訊き返すやうに言つた。

刑事はまんまと、望みがはづれたのを直覺して、

「ええ、丘さんとお逢ひになつたのは何日です? 多分もうずつとお逢ひなるまいと考へるのですが――」

と、少しバツ惡さうに言つた。

「いかにも久しく逢ひません」

と、藤田は十分の餘裕を得て答へた。

「何しろ勤めてゐる社が貧乏で、社長と僕と二人きりで事務を片づけるのですから、なかなか他人を訪ねるひまもありません。いそがしい仕事に疲れると、かへつて來ればこの通り、ぐつたりして、社會改革どころではありませんからね」

「ちやあ、この頃はまああの連中と御交際なさらんと認めてもいいですな」

と、刑事は言つて、

「しかし、もしそれが嘘だと、私

の報告がまるで價値のないものになつて了ふのです。――ちつと私たちのことも可哀さうに思つて眞相を聽かせて下さい」

と、例の絶えざるニヤニヤ笑ひで言つた。

藤田は默つて答へなかつた。

「時に、只今お書きになつてゐるのは何です? 論文ですか?」

と、刑事は卓の上を覗き込んだ。

藤田は一種勝ち誇つて微笑した。

「これですか、これは少年小說ですよ。立志小說ですよ。僕も小說家に商賣換へでもしやうかと思ひましてね」

「へえ、少年小說――」

「讀んで御覽になれば判ります。何なら御通讀下すつても差支へありません」

「イヤ、さういふ物と判ればいいのです。たゞ、目下どんな事をなすつてゐるといふことを、例のソレ「報告書」といふ奴に書き殴せなければならないものですから――」

太田刑事はかくしから手帳を取り出して、短い鉛筆のサキをなめなめ何やら五六行書きつけた。

滿日俳壇 募集規定

次回課題「多鶴」「鶯」「多の梅」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切一月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町入二島田青峰宛

新刊紹介

▲露西亞事情(第九十五輯)「ペセドフスキー事情」が前輯に續く(定價廿錢東京丸ノ内ビルヂング内八九一露西亞通信社)
▲戰友(一月號)在鄉軍人會の機關雜誌である(定價十錢東京牛込區原町帝國在鄉軍人會本部發行)

夕刊 滿洲日報
一月十八日
發行所 大連市東公園町廿一番地 滿洲日報社

近づいたロンドン會議

各國全權、顧問は十九日中に全部勢揃ひ

【ロンドン十七日發電】米全權に引續きイタリー首席全權グランデ海相は本日午後ロンドン到着、佛首相外相ブリアン氏は明十八日佛京、十九日午後までには全部揃ふはず、なほ此等の正式歡迎はしないと其他の佛伊全權、顧問等も續々着

日本側の全員會議 萬遺漏なき對策を協議

【ロンドン十七日發電】日本全權事務所では本日午後二時半から三時間に亘り若槻全權以下各員の總會議を開き米全權一行の着英に對する日本側の對策につき協議し萬遺漏なきを期する事となつた若槻全權は更に今度マ首相と會見すべく米全權とも近日中に會見の運びとなるであらう

米全權着英 一行は總勢百五十名

ロンドン到着 多數出迎裡に

【プリマウス十七日發電】ロンドン會議アメリカ全權一行はジョージ、ワシントン號で本日早朝當港着、駐英アメリカ大使ドーズ氏プリマウス市長其他多數の出迎へを受け汽車でロンドンへ向つた、ロンドンには本日午後到着のはず、なほ一行は全權隨員の夫人連に二十餘名のタイピスト等及び四十名の新聞記者を加へて總勢百五十名である

【ロンドン十七日發電】アメリカ全權スチムソン氏一行は午後二時少し前特別列車でパディングトン停車場に到着、英外相ヘンダーソン氏、外務省高官連、在英アメリカ大使館員、在留アメリカ人等多數の出迎へを受けた、日本側よりは齋藤情報部長が代表として出迎へた

一行は午後二時半本部なるホテルリッツに入つたが、スチムソン氏は一服の間もなく午後三時からマクドナルド氏を首相官邸に訪問し氏一流の目ざまし活動を開始した

米全權一行 車中會議

【ロンドン十七日發電】米全權一行着英に依り軍縮に對する一般の注目は俄に高まつた、一行の汽車は皇室用の特別列車で、プリマウスからロンドンまで二百二十六哩を四時間二十分で突破したがスチムソン氏はプリマウスを發するや直にドーズ大使、ギブソン全權等と初會議を車中に開き交々情報を報告するところあり、殊に最近マクドナルド英首相が發表した戰艦廢止の意嚮及び差當つての艦艇縮小に關し重要協議を遂げた、全權打ち合せ更に主力艦々齡、備砲口徑縮小問題に關して意見の交換をなしたものと解せられて居る、會見終るやスチムソン長官は直ちにホテルリッツに引返し各國新聞記者と會見した

十八日に公式會見 米國全權語る

【ロンドン十七日發電】スチムソン米全權はマクドナルド首相と會見後ホテルリッツで各國新聞通信記者と會見したが、會見の內容については「只おいしい御茶を御馳走になつて世間話をしただけである」と逃げた後、左の如く語つた

マクドナルド首相とは再び十八日正午アメリカ全權と共に公式會見することになつてゐる、開會間もないことであるから各種會見は日曜日でもする積りである、佛、伊全權とは開會前に會見することになつてゐる、若槻全權とも日は決つてゐないが會議前に會見し引續き意見を交換する筈

スチムソン全權 マック首相訪問

會議に關し意見交換

【ロンドン十七日發電】米國主席全權スチムソン氏はロンドンに到着するや旅の疲れを休める間もなく直ちに午後二時四十五分ダウニング街官邸にマクドナルド首相を訪問し三時間に亘つて會見する處あつた、商議の內容は主として會議のプログラムに關するもので佛國の主張たるロンドン會議と國際聯盟との關係、地中海問題を最初の議題とするか又は直ちに主力艦問題より論議を開始すべきかにつきした譯である

高松宮さま 光學工場御視察

【東京十八日發電】高松宮殿下には十八日午前八時二十五分御殿御出門芝の日本光學工業會社に成らせられ社長斯波孝四郎氏の御案內にて同工場の御視察主として光學機械製造の全般につき詳細御覽同十時十分より更に府下大井の同分工場に成らせられ正午御歸還遊ばされた

閻氏の河南乘出は 全く失敗に歸す

蔣氏完全に河南を征服

【上海特電十八日發】蔣介石氏は何成濬氏に多額の軍費を託して鄭州に派遣し雜色軍各將領の買收に努めしめた結果、既にその目的を達する事に成功し魏益三、劉春榮、王金鈺、岳維峻、楊勝治氏等は去る十五日何成濬氏の指揮に從ふべき事を表記し河南一部に進出せる西北軍も夫々軍職を與へられ、韓復榘氏も亦閻錫山氏の任命した前敵總指揮の職を辭する事を表明し、河南に於ける雜色軍は閻氏の麾下より離れ孫殿英軍も近く鄭州より河北に還る筈である、斯くて最近全支の獄となつてゐた河南は完全に蔣氏の手に歸するに至つた、閻氏が遂に山西省監理と稱し狼狽して鄭州を引揚げたのは事實は全く斯くの如き事情に因るものにして閻氏の鄭州乘出しは之によつて全然失敗に歸した譯である

歐亞聯絡の列車は 二十二日から運行

在哈勞農機關代表等三百餘名乘込み モスクワ出發の豫定

【ハルビン特電十八日發】滿洲里は十三日黑龍第二旅程志遠の騎兵到着し、支那の秩序を恢復した爲め邦人自警團は解散した、ダウリヤに止められてゐた支那兵の捕虜七千名の內一部は滿洲里に送られ直ちに齊々哈爾に押送されるが、彼等の食糧品其の他燃料は既に滿洲里に到着し危險なし、在留邦人二百名は暴風一過の跡を眺めて重荷を下した氣持で喜び合ひ、歐亞連絡の日の近づきつゝあるを祝福した、歐亞連絡は二十二日モスクワよりハルビンに向け直通車編成され、ロシア國營機關の代表ゴストルグ、ダリバンク、トウシリジ等約三百餘名の代表が東道として連絡第一報のトップを切り來哈する由、ハルビンからはモスクワよりの列車到着を待ち發車する事に決定してゐる

松黑航行權問題

露支間に紛糾の傾向

【ハルビン特電十八日發】ロシア側はハルビン市內に於ける電話も回收する旨十七日の理事會に提案するらしく、若し支那側が右の提議に對し現在電政監督の下に管理するならば、ロシアの拂つた投資額にて買收すべきであると主張し莫德惠氏は之が爲め一兩日南下を遲延した、尙ロシアは支那の不自然なる松黑航行權回收を不適當と認め航行範圍の協定をも提案する意あり、之が爲め露、支間に暗雲低迷し、再び紛糾の傾向あるも結局支那の泣き寢入りで問題は決定するだらうと

露公營機關の 許可訓令

【ハルビン特電十八日發】ダリバンク其の他ロシア公營機關の復活に就き許可を與へよと張學良氏から行政長官に訓令あり、一時沒收したダリバンクの財產は返還され既に同銀行はキタイスカヤの舊家屋に移轉した

西北軍の宋氏が 土匪に拉致さる

軍費數十萬元と共に

【北平十七日發電】西北軍將領宋哲元氏、將領夫人及び幹部夫人連が西安に赴く途中潼關の西方に於て土匪に襲はれ輸送中の軍費數十萬元と共に拉致され人質となつた旨日本日某軍事機關に入電があつた

休會明け劈頭の 政友會側の論陣

是々非々主義で進む

【東京十八日發電】休會明け議會劈頭濱口首相の施政方針演說に對し政友會より何人が質問演說の先鋒を承はるかは極めて興味ある問題であるが、今のところまだ幹部間に於ても具體的に協議が纏まつてゐない、然し目下代表演說者の顏觸れとしては床次、山本(悌)、三土、山崎氏等が噂に上つてゐるが、一方には又犬養總裁を陣頭に立て正々堂々政府に肉薄せしむべしとの意見も有力で鈴木喜三郎氏等は此意見を總裁に進言せる事實もあるが、犬養氏を質問演說の第一陣に送るについては餘程愼重なる考慮を要する次第で政友會では其人選に非常に綿密なる注意を拂つてゐる、即ち萬一議會解散となれば此質問演說は僅に總選擧への鑑戰ともなるから餘程愼重に取扱つてゐる模樣で其質問演說の內容に於ても從來の如き只反對せんがための攻擊演說は之を避け金解禁の善後策・緊縮政策並びに來年度豫算案に關し政策上の是々非々主義に則り國民生活を基調とし民論を代表したる堂々たる演說をなす方針であると

滿鐵改革協議會

第二回は廿五日開く

【東京十八日發電】滿鐵改革に關する第二回會議は二十五日午後一時より首相官邸に於て開會され前回と同樣濱口首相、宇垣陸相、井上藏相、幣原外相及び仙石總裁が出席する筈

北寧滿鐵兩鐵 有志交驩

【奉天特電十八日發】北寧鐵路局の有志は意思疏通の意味で滿鐵二十二日滿鐵奉天驛員十餘名を招待し懇親宴を催したが奉天驛では之に答禮する爲め不日北寧路局員十五名を招宴すると

樺山床次兩氏 犬養總裁と懇談

【東京十八日發電】樺山資英、床次竹二郎氏は十七日午後六時犬養總裁を訪問し現下政局につき懇談した

駐滿師團初年兵

約二千名の上陸日割

駐滿師團初年兵約二千名は左記の通り上陸豫定の旨通牒があつた

▲二十日午前十時宇品丸より埠頭第九區に上陸、步兵第三十八聯隊約五百六十名、騎兵第二十聯隊約八十名▲廿一日午前十時呂宋丸より埠頭第九區に上陸、野砲兵第二十二聯隊約三百名、步兵第二十聯隊約三百六十名、工兵第十六大隊第一中隊約八十五名、步兵第三十三聯隊約五百五十名

大連農會の 造林成績

大連農會では曩に基本財產林造成並に林業奬勵の資に供する目的のもとに十年計畫を樹て昨春既に第一回の造林を行ひ同年秋引續き第二回の造林を爲した、而して春季造林は植栽後の經過頗る良好であるが秋季造林にありては植栽後直に冬季に入りたるを以て今春に至らざれば苗木活着並種子の發芽を見ることが出來ないが、造林の作業は殆ど豫定通り順調に進捗し植栽並播種共その實行に遺憾の點なく各樹種を通じ大體良好な結果を得るであらうと期待されてゐる、秋季植栽の分は大連管內小平島會大嶺屯の面積二十五町步で種苗は柞種子六石三斗、イタチハギ苗木一萬五千本を植栽し造林費三百七十八圓九十八錢を投じたと

消組問題座談會

大連六文會にては十九日午後一時からヤマトホテルで消費組合座談會を開くべく滿鐵代表、滿鐵社員消費組合幹部、村井商議會頭、その他市中商人側も出席すると

人事

▲宇野卽成氏(元大蓮寺住職)十八日出帆はるびん丸にて內地へ
▲高室三郎氏(天理敎敎師)外百七名同上

五年振で西藏へ 歸參の班禪ラマ

來る廿五日奉天出發

【奉天特電十八日發】久しく當地に滯在してゐた西藏の後藏の活佛班禪喇嘛は本月十五日北平に赴く豫定であつたが延期して二十五日出發すること丶なつたので張學良氏は北寧鐵路局に特別車の準備を命じた、班禪喇嘛が前藏の達賴喇嘛及び英國勢力との微妙な三角關係から西藏を逐はれるやうにして一年間の長旅を續けて北京に來たのは大正十四年であつて爾來北京、浙江、蒙古、奉天と轉々して既に五年の旅愁を味はひ坐ろに故鄕が戀しくなりまた達賴喇嘛とも妥協が成立したので來る五月頃には西藏に歸ることにならうと

地方委員聯合會 けふ奉天で開く

午前中準備委員會

【奉天特電十八日發】第七回滿鐵地方委員聯合會は十八日午前十一時より當地滿鐵社員俱樂部で開催開會前午前九時より準備委員會を開き會議事項を決定、更に二十一日午後零時半より日本人大會幹部末光氏外三名は沿線の各委員と會見し滿洲に於ける多頭政治の統一に就き懇談する處あり、午前十一時滿鐵本社より保々地方部長、中西地方課長、奉天地方事務所より小倉所長、大岩地方係長等列席、沿線委員四十二名出席の上、開會した、劈頭議長席に着き開會の挨拶を陳べ次いで諸般の報告あり正午過ぎ晝食、俱樂部前で一同記念撮影後、午後一時より本會議に移つた

東鐵西部線慰問記(三)

日章旗翻へる所 安全地帶となる

十二日滿洲里にて　秋山特派員

◆…日の丸の旗がいかに愈いものであつたかはブハト以西滿洲里に至る邦人の居住せる地方で露軍の襲來があつても爆彈投下の災厄を脫れたにみても判るだらう。

◆…ジャライノールの戰ひに名譽の戰死を遂げたと報道され第十七旅長韓光第氏は勞農軍が本月二日撤退した後三日ヒョコリ滿洲里に姿を現はしたが、聞けば韓氏がジャライノールの日章旗の下に便服を着けて避難し潛伏してゐた爲め生還したと云ふ話。

◆…十一月十九日勞農軍が滿洲里を襲擊した際、日本ホテルに砲彈が飛來し遂に滿鐵吉武正男氏が重傷を負ひ、給仕中の尾崎フジヨ(二九)は無殘即死した、彼女は熊本縣天草郡小田床村生、不幸なる彼女は矢張娘子軍の一人として滿洲に來り既に年期奉公も終へて多少の貯金さへも出來たが國元には親類縁者もなく全く孤獨の薄倖の女であつた。

◆…今まで暢氣でゐた邦人は同胞の慘死を直視して多少恐怖に襲はれ「これでは我々は絕對絕命互に抱き合つて死なねばならぬ」と想ふに至り、我領事館では在留民を戰場の一箇所に收容日の丸の旗の下で最後の運命を待ちつゝあつた。

◆…處が撤退した支那兵は算を亂して最も安全地帶である我領事館の日章旗前に逃げ來り勞農軍の騎兵約六百は市の南方から襲來し支軍二百餘名を捕虜とし勢ひに乘じて益々市街に肉薄し來た。

◆…梁司令は形勢既に非なるを知り自動車で露軍陣地に白旗を揭げて軍使を送り停戰を申込んだが露軍は十七日ジャライノールを占領せる後停戰降伏すべしと支軍に軍使を派遣した處、支軍は之を射殺したのでその報復として支軍の降軍使を追ひ返した、其夜梁司令は參謀會議を開き愈二十日未明から總退却をせんと軍を整へ、市民に對しては安全地帶に避難せよと布告し携帶、露支人大官、紳商右往左往して避難するもの市中に雜踏し支軍要人は我日の丸の旗に翻へる領事館に殺到し縋めき救ひを求めた。

◆…梁司令は軍を纏めて後退せんとした處、全滅を期待せる勞農軍は既に包圍し應戰の氣力ない八千の支軍は市中に雪崩れ込み領事館前に集つた梁司令が自動車で領事館に駈つけ無條件停戰斡旋方を田中領事に交涉したのは此日であつた。

◆…領事館では直に勞農軍飛行機に對し「支軍は戰意なし降伏する」と信號をするため鹽田書記生は屋上に駈上り避難民の白い敷布を白旗代りに振つてみせるが屋上の白雪に飛行機からは判らぬか尙勞農軍は砲彈を浴びせかけ爆彈を投下し市內には火災起り支那敗殘兵は民家を掠奪し危險この上もない狀態となり、遂に重野書記生と井上氏が支那側軍使と共に八十六線避難に向ひ交涉し漸く滿洲里は安全となつた(寫眞は十一月二十日約八千の支那兵が領事館前に殺到し停戰交涉を田中領事に懇願する所)

大觀小觀

解散は避けられぬ趨勢とあらば一層のこと、正々堂々と論戰せよ それが取りも直さず議會政治だ。

◇

濱口が獅子吼せば、何ぞ犬養が出でて龍攘虎搏せざる。

◇

その論戰の如何によつて國民は總選擧の投票を決するであらう。

◇

十月十日から支那で釐金稅や類似の徵稅を撤廢すと。

◇

例によつて例の如くに。

◇

この釐金稅の撤廢一つでも完全に實施し得るならば、支那統一の前途、樂觀して可なり。

◇

だが、その釐金稅の撤裁、いふべくしてシカも容易に實行し得ぬところに支那の現實がある。

◇

關稅自主とか、治外法權の撤廢とかいふ問題も、釐金問題の解決を試驗石としてからでも遲くはあるまいテ。

天氣豫報

十九日 晴れ北西の風一時曇

	十一時	昨日最低
大連	零下六、九	零下六、三
旅順	同 四、〇	同 六、五
營口	同 九、〇	同 一四、三
奉天	同 一四、一	同 一九、六
長春	同 一五、二	同 一八、二

御大禮を奉祝の滿鐵献上品の一つ

大連港模寫の銀製置物謹製成る

〇…滿洲製産品を材料にして美事な出來榮え

廿日に手續を執る

【東京特電十八日發】御大禮奉祝のため滿鐵より献上した二品のうち大花瓶は昨秋既に献上したが、他の一つ即ち大連港模寫の銀製置物は、豫て美術學校に依囑し正木校長監督のもとに圖案渡邊教授、原型和田助教授、彫金清水教授等主任となり

謹製中

のところ、このほど漸く出來上つたのでいよく來る二十日午後一時献上の手續きをとることになり、山本、松岡前滿鐵正副總裁は十七日午後、狸穴の滿鐵社宅においてこれが下檢見をなし、十八日朝美術學校の教授および學生など製作關係者一同集まり社宅においていろくの手入れを行つた、献上の大連港模寫置物は巾三尺、奥行き三尺三寸五分、高さ一尺で、その臺座は巾三尺二寸五分、奥行き三尺、高さ二尺八寸であるが、その使用原料は全部滿洲製産品で、先づ滿鐵本社、大連醫院、大連驛、港口の燈臺、大連埠頭などは

白金鋼

「(鋼鐵)」にて、大連の大華電氣冶金公司の上島氏が多年研究、製出せる特殊鋼を用ひ、また海面一帯、貯水池などは金屬マグネシューム即ち南滿で多く産するマグネサイトを原料として滿鐵中央試驗所で多年研究の結果、出來せる輕金屬で作り、その他全部銀を用ひ、ところ〴〵に金の

象眼を

施した頗る美麗なるものである、なほ臺座の木材はチーク製り、飾り鋲は白金鋼、嵌板にはめた石材はマグネサイトをもつてこれに當てゝゐると

州内中等學校辯論大會

あす大連商業分校で

第三回州内中等學校辯論大會は十九日午前九時より市内天神町大連商業學校分校講堂に於て開催されるがプログラムは次の如くである開會の辭當番幹事大商校長友木鶴▲太平洋の浪騒がば(日)大二中大塚忠夫▲トーマス、ヘンリーハックスレー(英)旅二中馮文章▲中國の前途(中)大商岡本忠夫▲朝(日)旅師範出雲議▲ヘンリーフォード(英)大一中牧秀夫▲現代の孝道(日)旅一中石川清三、休息(十分)▲滿洲問題(英)大二中市丸三郎▲中日提攜の鍵(日)旅二中李士道▲囚れたる良心の釋放(英)大商原國俊雄▲孔教辯(中)旅師範王義權▲辯解何の用ぞ(日)大一中堀本泰造▲モットーの少年時代(英)旅一中神田謙之、中食(四十分)▲不言實行(日)大商糧原芳人▲變(中)旅二中于清涯▲滿洲子の叫(日)大二中笹川茂▲眞理は平凡の裡にあり(日)旅師範劉耀唐▲支那に亡びて剛健に興る(日)大一中渡部榮▲幻想を見よ(日)旅一中加藤正義▲講評▲閉會の辭友木鶴

半沈沒船漂流

十七日午後三時當地海務局への情報によると天津より青島に向つて航行中の大汽長平丸は、青島沖合千里島附近に漁船らしき半沈沒船が漂流してゐるのを發見したが、附近航行船舶の航路に當るから頗る危險であるから各船舶に注意されたいと

高勇吉氏夫妻歡迎茶話會

十九日開く

大連ダリー倶樂部主催の下に、十八日協和會館にて開催の「セロと舞踊の夕」に出演する高勇吉並にヘテイー夫人の歡迎茶話會を十九日午後三時半より青年會館に於て開催するが、一般有志の出席を歡迎するとなほ希望者は當日正午迄に電話五〇六〇番へ申込まれたしと會費三十錢

念佛入亂れ大交響樂

素晴しく賑つたはるびん丸船出

十八日出帆のはるびん丸は春季大祭に本部大和へ參詣する在滿天理教信者百七名を載せて行つたが、また東京へ轉任の元大連寺住職宇野即成氏も同船に乘合せ、これを見送りの日蓮宗信者百餘名が團扇太鼓で囃立てれば、一方天理教も負けて居ず、惡しきを攘への合唱に手踊に果ては兩宗入亂れての大交響樂に他の見送り連も大喜びの中に賑やかなことであつた

讀者優待の特選映畫大會

いよ〳〵けふから『大日活』で

晝間から人氣を博す

本社主催の市内磐城町「大日活」における新春讀者優待特選映畫大會は上映々畫「都會交響樂」「髷長屋」のいづれもがプロレタリヤ、イデオロギーを持ち、現代人の神經に強く響く映畫であるため、非常な期待を持たれ、全市の人氣を集めて居たが、いよく本日より上映される事となり、既に本日晝間の如きも大入滿員で大喝采を得る盛況ぶりであつた【寫眞は「都會交響樂」の小杉勇と入江たか子】

ふえる少年の犯罪

竊盜―恐喝―詐欺―家出等々

罪は家庭教育の缺陷と活動寫眞

混濁した世相の反映

少年の犯罪が著るしく増加して來た、竊盜、恐喝、詐欺、放蕩、猥褻、家出等々……冒險的であり智能的犯罪が、いたいけ盛りの十八歳未滿の少年によつて犯されつゝあるとは混濁せる世相の反映とはいへ、餘りに空恐ろしいことである——大連署少年係の調査された昨年中の十八歳未滿の少年犯罪は

日本人

竊盜二十一名、詐欺一名、放蕩二名、猥褻七名、家出三名で支那人は竊盜廿一名である、この外初犯は大抵訓戒だけで家庭に引渡したり、微罪不檢舉の者もあるのでこの數を加へると百件以上に達するであらう、雪のやれてゐる

大連署

ではこの點に鑑み昨年四月少年係員を新設し、防犯檢擧と思想善導に努めてゐるが、犯罪數は減ずるよりも寧ろ智能的に傾いて來たことは、家庭及び教育者の考慮すべき點であると云はれてゐる、純であるべき少年が恐ろしい罪を犯す動機は申合せたやうに家庭教育の缺陷と活動寫眞の感化をうけてゐる

けふ大連第一中學校の新講堂落成記念學藝大會

昨年六月に起工、約三萬圓の工費を要して新築された大連第一中學校新講堂落成記念學藝演習大會は、十八日午前八時から同講堂に於いて開催されたが、見るからに質素ながら氣持が好い、そして窓を廣くして充分に光線を取り入れた講堂である、愛する自分の子供や弟の日頃の勉強振りを見るために集つた奥さん達も多く非常な盛會だ、會は先づ西内校長の開會の辭に始まり、午前中に二十五回のプログラムが進んだが、どれもこれも集つた來賓の人々をビツクリさせる立派な出來榮え、校長さんのニコ〴〵顔もさこそとうなづかれた、父兄の休憩室には生徒の學藝品、專門家跣足の地圖、軍艦模型、油繪等が陳列されてゐる、そして會は午後の部から益々面白いプログラムに移つた【寫眞は得意のハーモニカ吹奏】

いま、上海の映畫界はトーキー全盛時代

日本の『新派悲劇時代』をゆく支那のシネマ

上流社會に蔓る忌しのフイルムよ

(9)—記者

若人、惱みの魅力

「見てそして聽きなさい」これは今上海を席捲しつゝあるトーキーが大衆に呼びかけてゐる聲である「音のなきところに生命なし」此短い言葉は上海といふ土地から完全にサイレントピクチユアーを奪ひ取つてしまつた、もし強て

〇…**無聲映畫** の感激のないものに接したいならゴミ〳〵した城内にある幾つかの支那映畫の上映劇場に行くより仕方あるまいだが所詮それは諸君の近代官能にとつて餘りにも無刺戟な、餘りに幼稚なもので、必らず失望するに違ひない、五幕三十八場英雄と女」我々が幼い時、大きな魅力となつて踏みついてゐた、あの新派悲劇時代の足跡を今支那映畫界は踏襲してゐるに過ぎないのだ、大きな青龍刀を持つたセイラーパンツのモボが

〇…**若い娘を** 殺そうとする様な實に下らない筋のフイルムが臆面もなく上映され、その矛盾に氣のつかない頓馬な支那青年、子女に驚喜の涙を絞らせてゐるのである、だが今そういつた殘された時代遺物を默殺して一度租界内の映畫館に目を及ぼすなら、なんとさんらんたる星の如き映畫陣が砲列を敷いてガツチリ設けられてゐることに一驚するだらう、靜安寺路にエムパシイ、北四川路にアポロ同アイシス、オデオン、カピタル、カルトン、何れもが聡然たる映畫殿堂即ち音と聲の交響樂、油然と興味湧く

〇…**歡樂境の** 趣を示してゐるのである、オールトーキング、オールダンシング、オールシンギング……コウいつたチヤーミングなプロパガンダが新しい手段と方法で街の辻々に物凄い宣傳戰を行つてゐる、そしてこれ等のムービイホールは設備の點から衞生の點から大連においても學ぶべき點多々見逃せない、その最も歪態を誇る「カピタル」の如き實に氣の利いたもので其のサロンが一寸奉天丸の特等室に似てゐるなぞうれしいではないか

〇…**閑話休題** 普通大洋一枚放り込めばボーターが見頃の椅子に案内してくれる、殊に上海なぞといふ土地になると遠い異域から萬里を遠しとせず來てゐる諸外國人が雜然としてゐる關係上、外人の觀客が多く欧六割、日本人二割、支那人二割と云ふ割合である、揚子江警備に廻されたセイラーが暗がりのホールの片側でシルバーシートに映じ出される故國の山河風物、人情に淡い郷愁を感じてゐるのや又は若き夫婦が錦のコートを仲よく膝にかけフイルムが生む香高い感激に汗ばんだ

〇…**手を握り** 合ふなその場面はザラに見受られるが、何んとエキゾチツクな氣持よ、靜かな寂しさではないか、上映自由制度からフイルムは原畫そのまゝでトーキーになるとキツスの音が惱ましくかすかな魅力をもつて若人の胸うちをくすぐる「もしヴアレンチノ、今にして命ありトーキーに出演せんか全世界の子女は正に氣絶悶ゆるべし」これはトーキーが如何に近代人に魅迫性に富んだもので如何に近代人にピタリしてゐるかを物語るものである、だが上海における映畫界に見逃せないのはモヒとヘロイン中毒患者が幾何級數的に

〇…**増加する** と同様、いまはしいフイルムが上流社會に組合組織の下に流行してゐるといふ事である

小橋氏の取調べ大體終了す

今明中に司法首腦部が協議

最後の決定を見ん

【東京十八日發電】小橋氏は十七日午後一時七回目の召喚を受け東京地方豫審廷に出頭、午後二時より目下收容中の山ノ手急行監査役一條丈人氏と對質訊問を受け午後七時まで續行、夕食後越鐵關係で久須美東馬氏と對質訊問を受け午後九時歸宅を許された、小橋氏の取調はこれで大體終り今明日中に司法首腦部會議を開き最後の決定を見る筈である

けふ床次氏再び喚問

二萬圓收受の眞相について

【東京十八日發電】今朝九時再度の召喚に應じた床次竹二郎氏は午前十時半から午後にかけて兩角豫審判事の取調べを受けたが、右は小橋前文相が佐竹三吾氏の手を通じて久須美東馬氏から收受した二萬圓が、果して小橋氏の主張の如く本黨の黨費に寄附されたものであるかの點及び越鐵買收につき本黨の態度が變成に急轉した事情を聽取したもので、床次氏の陳述は小橋氏の運命を決する上に重大視されてゐる

細民窟移轉に反對の聲擧る

譚家屯嶺前屯方面に

大連署多年の懸案であつた寺兒溝千代田町以東一帯の官有地にある支那細民窟は、いよ〳〵尾崎新署長の着任により今春の解氷期を待つて斷然寺兒溝細民窟を撤退せしめ、市外石道街方面に追び拂ふ方針に決定したことは既報の如くであるが、彼等は

寺兒溝

に居住して初めて同地の甌呂苦力を相手に生活をしてゐるもので若し同地を追はれて石道街方面に移轉することゝなれば忽ちにして生活の安定を脅かされ、必然的に彼等が大連市内に出入するところの出入口たる譚家屯、嶺前屯方面は彼等によつて各種の犯罪が敢行せらるゝ虞があり彼等の移轉によつて更により以上同地方面の各住民は生活を脅かされることになるといふので大いに脅威を感じ、兩地居住の有力者はこれが對策について講究すると共に、細民窟石道街移轉について反對の聲が擡頭して居る

埠頭ビルを根城に萬引や無錢遊興

喧嘩を賣りかけて只で飲む

偽記者遂に捕はる

最近偽新聞記者が横行し廓やカフエー街を荒し廻るので、大連署で内偵中のところ、去る十五日岩代町路上で通行人に喧嘩を賣つてゐる男を大連署員が取押へ調べると住所不定松本命作(二七)といひ「俺は滿洲日報記者だ」と威張り散らしたが將來を戒めて放免した、其後松本の身元につき司法係で内偵すると同人は常に伊藤某の

變名で

滿洲日報記者だと吹聽し、界隈カフエーその他飲食店で記者風を吹かしては喧嘩を賣り、仲直り又は仲裁と云つて、唯飲みしてゐたことが判明したが、更に同人は埠頭ビル六階を根城に十數名の不良少年を手足につかつて毎夜市中に出沒し萬引、無錢遊興の惡事を働いてゐたことが暴露したので目下大連署で捜査中

『おせん』を脅す兇暴性の男

『あなたがその氣なら』で

大連署で元の鞘に

十八日午前十一時大連署保安係で取調べの警官を中に挾み、人目も恥ぢずに言ひ爭つてゐる男女があつた、男は市内二葉町四丁目前科三犯常習賭博者岩爪藤義(三一)女は大

末廣席

藝妓おせん事坂井キサ(二〇)で、おせんは岩爪と昭和二年四月から昨年五月まで內緣關係で同棲してゐたが、男の放埒さに愛想を盡かし、叔父に當る濱通町一四〇番地和田某を仲に入れ、昨年十一月サッパリ夫婦別れをして了つた、ところが男の方で未練を殘し再三復緣を迫つたが、聞かぬので男は持前の兇暴性を現はし打つ蹴るの暴行を加へ果ては「殺してやる」と脅迫し、夜毎日毎におせんの身をつけ廻るので

恐怖の

餘り警察へも出來ず思案盡きて大連署に保護を願ひ出たものである、そこで双方呼び出され、熱を受けたが男は未練たつぷりで「眞面目に立ち返つて正業に就くから」と復緣を迫ればおせんは「あなたがその氣なら」と妥協成立保官を煙に卷いて引退つた

壽洋丸離礁す

既報昨十七日朱明基隆附近船頭鼻に於て擱坐した山下汽船所屬壽洋丸は、同日午前十一時半無事離礁し基隆に入港した旨大連無線電信局に通知があつた

平安異香

葉多默太郎作 一中一彌畫

神樂囃子（七）

人間に附纒ふ暗い運命のやうに常にお蘭の身邊に附纒ふて、お蘭の方を脅かしてゐる怪人である。

お蘭は再び叫ばうとした。が、怪人の射竦めるやうな眼にあふと胸が石のやうに固くなつて、聲が出なかつた。

「奥方さま、お蘭の方さま」

憎惡と侮蔑と、蛇のしつこさを含んだ聲が、ねつとりとお蘭の方の耳にからんで來た。

お蘭の方は、負けてはならないといふやうに、瞳を開いて、瞬きもせず、ぢつと怪人を見返した。

その眼に、怪人の顔が段々大きくなつて來る。聲が、續いてお蘭の方の心臓を凍らせる。

「奥方さま、お蘭の方さま、遂々土壇場になつたぢやないか。亭主の師輔は滅んでしまつたぞ。二十年の榮耀榮華に終結が來たのだ。二十年の榮耀榮華だ。たんのうしたらう。面を脱いではどうだ、皮を脱いではどうだ」

立ちかゝると、その裾を掴んで甚十郎がいつた。

「あくまでも手前は人をこけにする氣か。手前はとつくにわしをわしと知つてゐた筈だ。おい、お蘭いらをきるなら、これが證據だ」

いひさま襟を掴んで引倒し、肩に手をかけて引裂くと、裂けた重ね着から乳色の肌。腕を掴んでねぢあげた。と、桃色の腋下に黛色の刺青一つ——指を丸めた程の髑髏だつた。

「これ見やがれ、髑髏のくゞつの印の刺青だ。太政大臣の女に、こんなものがあつてたまるものか」

絶體絶命のお蘭、探りあてた短劍の鞘を拂つて、いきなり甚十郎の脇腹へぶつゝり——

「な、なにをしやがる」

手首を掴まれて、短劍は、お蘭の手からもぎとられさう——

牢を出た春光は、庭で拾つた鎧下を頭から被つて、城中を睨まはつた、物蔭などがあると頭を入れて「幸、幸」と呼んでみた。が、

「待つた、待つた」

と叫んで、致命の一刀を振りかぶつた春光の腕を掴んだ者があつた。

「師輔がどうならうと、清盛の女の妾に、平家の天下が續く限り、榮耀は續く。陰陽師めいたくり言いはずと退りや」

「強情な女だな。もつとも、手前は昔から強情な奴だつた——」

といつて、怪人は鬚まで垂れかゝつた髪を掴んでかなぐり捨てた。眼を開いた。口に銜めてゐた不様な歯を吐いた。と、それは、くゞつの甚十郎に相違なかつた。

「二十年といやあ、手前には短かつたか知れねェが、おれには長の月日だつたぞ。手前をめつけ出すのを、一生の仕事にして艱難辛苦だ。時には、たかゞ女一人のために、と思つて、我ながら情ねェ心持になることもあつたが、因果といふのか、手前があきらめ切れなかつた。二十年の間、自まゝにしておいてやつたんだ、おれと一緒に行つてくれ」

といふ甚十郎を尻目にかけて、お蘭の方はクヽヽ、と笑つた。

「不敵な男ぢやな。氣を失ふて氣が狂ふたと見える。よい／＼、西八條の邸に落着いたなら、その女とやらを探してとらす。日を改へて訪ねて來るがよい。今は歸ふてをれぬ、行きや、行きや」

甚十郎の面に、惡鬼のやうな憎しみがみなぎつた。

お蘭の方はぞツとした。思はず

駄目だつた。北殿へ忍びこんで、様子をうかゞつてゐると、突然、ギヤーといふ女の悲鳴が聞えた。ぎつくりして、戸を蹴返して飛込むと、それはお蘭の方の居間だつた。

一人の男が、春光を振返つて、一足跳びさがつた。

お蘭の方が虚空を掴んで、仰向けさまにぶつ仆れた。その乳の下に、短劍がつゝ立つてゐる。

何が何だか分らないが、春光はいきなりお蘭の胸から短劍を引抜いて、

「曲者！」

と叫んで男に躍りかゝつた。

「手前は春公、春光だ」

男がいつたが、春光はかむしやらだつた。

今日この頃の春光の腕力は素晴しかつた。

大悲山で「死んでも負けるな」と奥義とも秘訣ともつかぬ術を、辛苦して鍛錬した腕力は、雑作なく甚十郎を組み敷いた。その時、

映畫と演藝

受難苦業を經た問題の映畫『都會交響樂』

ブルジョア對プロレタリヤの階級對立を意識的に描かうとしたもの、それが「都會交響樂」である、けれども此の映畫が完成した時、被壓迫階級の描寫に可成りの鋏附を加へる現行檢閲制度は、俄然「都會交響樂」の上映を禁止したのであつた、以來二ケ月間、映畫界空前の問題として論爭し、幾分鋏閲を變へる事によつてやつと解禁上映の日を迎へたのであつた、幾多の苦難を經て生れ出でた「都會交響樂」そこに描き出される物は何か、ブル對プロの階級的對立、ブル階級の内實暴露、現代資本主義社會の内的矛盾の暴露等である、此の映畫の持つ力強さは、必ず觀る者の胸に強くうつたへる所があらう。

新妻四郎獨得の 龍巻長屋 イデオロギーのある物語

名目と上邊ばかしの見得で飾られてる利己的な有産階級よりも、赤裸々で、あるがまゝなる「その日稼ぎ」の棟割長屋の貧民窟の方が、どれだけ美しい人情味や、社會組織的觀念が旺んであるか判らない。

この蟻の隧道よりも劣つた汚い巣の中に、雨の降る日は破傘を天井から吊して寢てゐる數十人の日雇稼ぎの群に交つて、これはまたあたら免許皆傳の腕前を蚤と虱の喰ふに任せ、どうやら足らぬ勝ちで、世を罵り暮す汚い浪人赤星（新妻四郎）は、浮世の葬の熊公八公の親分でもあり、同時に人の道を説く道學先生ともなつて兎に角面白からぬ浮世の毎日を、自棄糞三昧で送つてゐるのであつた。

それでも表へ出れば、例の持ち前の氣質で、天下の良民を窘め苦しめる惡旗本等や、長脇差連の横暴を默つて居られず、まるで子供でも扱ふ樣に懲らしては、せめて日頃の溜飲をさげてゐるのを「イヨウ、今樣中山安兵衛ぢや」と囃して上げる野次馬連に無氣味な一瞥を呉れて、さり氣もなく去つて了ふ。巣窟へ歸れば屑拾ひの夫婦喧嘩のさばきやら、サイコロの手慰みを叱り飛ばすことを彼は商賣の樣にして、イヤそういふ風に世間が彼をさせて了つたのである。

然し彼にも脈々の熱い血汐は流れてゐて、左官の庄公（葛木香一）の妹で、當時深川で評判の羽織藝妓小鹿（櫻井京子）が惡旗本に執拗くつけ廻されて困つてゐるのを救ふために、身受けの料を拵えやうと素人芝居の莚小屋を興行したりしたが、根が色氣といふ奴を、その顔形と同樣藥にする程も持ち合はさないといふ變物だから、小鹿から口説かれても、彼の往來での俠客ぶりに惚れ込んで、結婚を膝詰め談判で押しかけて來た、天下の直參佐伯氏や、その愛娘の切なる戀をも彼には何の反響をも起さしめ得ないのだ。

けれどもこの佐伯氏が、娘のことから惡旗本連に虐殺されたと聞いた彼は、忽ち奮然と、決して寛げなかつた愛刀の鯉口を切つて、深川八幡の境内で、縱横無盡の働きは、物見遊山のできない長屋の人々に、飛んだページエントを演じてやつた譯だ—（監督渡邊邦男）

噂

映畫常設館新築にからみ、上映々畫の會社に就き、流言益々燃えさかり、惑星飛れ飛ぶ大連映畫界▲突如一昨日帝國館々主南氏が陸路内地に向つたが▲浪速館々主吉田氏が、約する所あつてか、あらずにか、やはり近日歸國するとの噂が傳へられて居る▲大浪速館新築の根本たる浪速町土地建物株式會社の計畫、なかなかはかどらぬ模樣、策士しきりに笛吹けど……嗚呼▲本社主催特選映畫大會いよ／＼今晩より大日活に於て▲プロレタリヤ映畫とはいかなるものか、イデオロギーを持つ映畫とはいかなるものか▲本紙刷込割引優待券を盛んに利用されたい

ラヂオ

滿日放送の夕 愈よ今晩開催

大連（十九日） 自午後〇時三十分ニユース▲自午後三時三十分ニユース▲自午後七時△ニユース△ジヤズ（一）フオツクストロツト（ゼー、ウイ、タンカンヅル、アロング（二）ワルツ、マイビクトリー（三）スロー、アオツク、トロツトラブケイング、コーリング大日活ジヤズバンド△挨拶高柳滿日社長△セロ獨奏（一）コンセルト（ゴルターマン）（二）スワン（サンサーン）（三）ハンガリアン、ラプゼデイー（ポツパー）高勇吉△普化尺八（一）本調追分（二）本曲眞言阿字觀谷狂竹△講演此頃の小兒流行病醫學博士金子甚藏△清元四君子清元延園松社中△長唄紀文大盡唄宇佐美、同安藤、同山住、同田中、三味線平田、同中村、同仙波、同中里、補導吉住小之藏、鳴物四世田中傳兵衛社中▲九、料理獻立▲十天氣豫報

東京（十九日） 自午後六時廿五分、浪花節の夕△紀國屋文左衛門港家小柳丸△相馬大作八洲天舟△義理の柵東武藏△葛の葉子別れ東家左樂遊

新春特選映畫會
讀者割引券（此券持參者に限り割引）
階上 一般九十錢 讀者五十錢
階下 一般七十錢 讀者四十錢
於大日活
主催 滿洲日報社

滿洲日報

社說

學制系統

改正案是非

行き詰まれる我敎育界の現狀打開及學校敎育の實生活化を目標として前年來種々調査研究を重ねた全國中學校長會では敎育革新の根本方策として學制系統の改正案を作製した。その要旨とするところは、多岐複雜なる現在の學制系統を單純化して上下學校の連絡を圓滑ならしめ、小學校の卒業生をして各種各樣の中等敎育を受けるに便ならしめ、且つ全學制系統を通じて修業年限を短縮せんとするものであつて、學制の全系統を通じ現在生活に適應する敎育を施し易からしめ敎育の効果を更らに増大せんとするのが窮極の目的となつてゐる。

◇

該改正案の系統表によると尋常小學校は從來通り修業年限は六年であつて、小學卒業生が高等小學校及中學校に聯絡することは現在のまゝである。中學は修業年限を六年とし、之を尋常科三年高等科三年に分ち、高等科では土地の事情に應じ文理科、農業科、商業科工業科の中の一科若しくは二科を設け、師範學校(修業年限四年)へは中學尋常科三年修了者若しくは高等小學(修業年限二年)修了者が入學、而して中學高等科からは大學及師範二部へ連絡することになつてゐる。大學の修業年限は四年(但し醫科は五年)それ以上は大學院を設けて大學卒業者及それと同等以上の學力あるものを入學せしめる。その他現在の女學校は修業年限六ケ年の女子中學とし、之も男子中學校同樣尋常科と高等科を三年宛に分ち、女子中學の卒業生は修業年限四年乃至五年の女子大學に聯絡する。

◇

學制系統の改正案は大體以上の如きものであるが、果して之等の改正系統案が該案作成者の言ふ如く現在の行詰れる敎育界を打開し得るや否やは吾等の大いに疑問とするところである。

◇

先づ之等の改善案が單なる形式のアレンヂメントより一歩も出てゐないことに氣がつく、該學制系統案の作製に當つた人々が唯一の目的としてゐる行詰れる敎育界の打開とは如何なることを意味してゐるか知らないが、それが一般に考へられてゐるやうな現時敎育の停頓狀態を指すものであるならば吾等はかゝる學制系統の改正によつて現時の敎育を革新することの不可能であることを斷言して憚からない。

◇

抑も敎育界の行詰りは奈邊に存するか、吾人を以てすればそれは學制系統の如き形式に存するに非ずしてもつと實質的な敎育内容に在る。從つてかゝる改正案は沈滯せる敎育界を糊塗する一時的の彌縫策に過ぎぬものであつて到底敎育の本質的目的に立脚した根本的革新とはなり得ない。眞に敎育根本の建直しを達成せんとするならばかゝる形式方面よりも先づ實質に觸れなければならぬ。そこには當然敎育者の手を着けなければならぬ幾多の改善すべき問題が横はつてゐる。修業年限を制定する前に改廢すべき學科はないか、現在實施して居る各科の敎授時數に無駄はないか、上級學校への入學試驗のために學生生徒が將來實社會に立つて役にも立たぬやうな學科に全力を傾注せしめてゐるやうなことはないか、敎壇上からの講義が生徒の睡眠劑となつてゐないか、然して、生徒等が果して學習に歡喜してゐるかどうか、かく述べ來れば、そこには幾多の改善すべき當面の問題があらう。

◇

該改善案の創製者は、この改正系統案によつて入學難の緩和、敎育の實生活化、最も力強き國民の養成と幾多の結果を豫想してゐるやうであるが、如何に學制系統を完備しても、之等の實現とはその根本に於て相距ること遠きを遺憾とせねばならぬ。

解散の機會は反對黨の出樣如何

十七日の定例閣議で大體の意見一致

【東京十七日發電】十七日の定例閣議は午前十時半より首相官邸に開會(小泉遞相缺席)幣原外相よりマクドナルド首相の聲明書全文につき報告し特に山梨海軍次官を招致して右の聲明内容に關する專門的説明を聽取し重要協議を遂ぐる處あり、次で議會再開當日行ふと云ふに大體意見の一致を見たが午後更に具體的協議に入る事とし午後一時休憩一時半より續行した

午後の閣議

【東京十七日發電】午後の定例閣議は一時半再會井上藏相の財政演說幣原外相の外交演說草案につき協議夫々決定し、更に議會對策につき懇談を重ね二時半散會した、尙財政外交の演說内容も夫々上奏の手續を執る事となつた

高松宮殿下に「御祝詞言上」

【東京十七日發電】濱口總理以下各閣僚は十七日午後閣議散會後高松宮御所に伺候御納采の儀御目出度く御終了につき祝詞を言上した

濱口首相の施政方針演說

決定した草案の內容

【東京十七日發電】十七日の定例閣議で決定した濱口首相の施政方針演說草案內容は

一、現內閣組閣と重大政策の遂行情況
一、金解禁準備に關する施設經過
一、金解禁後の善後施設と財界の情況
一、海軍々縮と帝國の態度及び對支外交問題
一、各種產業振興に關する施設方針
一、各種社會政策的施設及び方針
一、思想善導に關する施設
一、選擧廓淸に關する施設

等であつて其の內容は極めて精細に亘つて居る、尙此の草案は十八日中に淸書し十九日濱口首相は葉山御用邸に伺候奏上する事となつた

別項の如き

要項を決定し、更に議會對策の打ち合せに入り各自情報を報告する處あり、濱口首相より十五日の閑院公訪問の顚末を報告し政府の執るべき方針は既に明瞭である、此の點に關し特に老公の諒解を得るため詳細報告して置いた

と述べ愼重協議の結果

解散の機會こそ全閣僚戒心して注意すべきで詔書降下の時期は反對黨の出方如何に依つて決する、即ち質問を許して解散するか大臣の演說直後解散するかは相手の策動如何を見て決すべきもので之れを非立憲と云ふべきでない、從つて此の決定は二十一日の院內閣議で

最後の打合

せを行ひ其の裁量は首相に一任する

軍制改革案には言及せぬ事に決定

【東京十七日發電】濱口首相の施政方針演說草案は十七日の閣議で決定を見るに至つたが、宇垣陸相が豫て力瘤を入れてゐる陸軍々制改革に就ては一語も言及せざる事となつた、本問題は內閣成立當初より宇垣陸相に依つて閣議に提案せられ各閣僚も之れを承認し陸軍部內では委員會を設置し現に審議を續けつゝあり、閣僚も亦之れを口にし來つたのであるが、首相は去る十三日の陸相との會見に於てこれを施政演說に加へざる事の諒解を遂ぐるに至つたのである、右の如き結果を見るに至つた原因に就いては軍制改革は委員會の審議進行と共に漸く實現至難なること判明し來つた爲めであるとの說と宇垣陸相と安達內相との反目から內相の反對に遭つた爲めであるとの說が行はるゝに至つた、而して反對黨は右に關し相當痛烈なる質問をなすべく意氣込んでゐる模樣である

解散後の方略協議

月曜會の總會

【東京十七日發電】濱口內閣の手で馘首された政友系地方長官より成る月曜會は來る二十日總會を開き七十二名の會員總登場して解散後の方略を協議する事となつた、目下月曜會員で活動中のものは二十名位であるが政府與黨方面では前回の總選擧の經驗に鑑み早くも恐怖を感じたものか、地方出張中の會員に對しては夫々尾行を附する等警戒を開始した、會では選擧監視等と云ふケチな消極的態度を捨て堂々と積極的に來るべき選擧戰に活動する考へだと云つてゐる

選擧革正委員顏觸

【東京十八日發電】選擧革正委員會の確定せる顏觸れ左の如し

△會長　濱口首相
△副會長　安達內相、江木鐵相、渡邊法相、齋藤內務政務次官、小原司法次官
△委員　小泉遞相、松田拓相、中川文部次官、今井田遞信次官、鈴木書記官長、川崎法制局長官、小野塚喜平次博士、美濃部達吉博士、佐々木惣一博士、高田早苗博士、林毅陸博士
△衆議院議員　粕谷義三、山崎達之輔、前田米造、藤澤幾之輔、富田幸次郎、櫻內幸雄、安部磯雄、淸瀨一郎
△貴族院議員　近衞文麿公、伊澤多喜男、關直彥、黑田長和男、靑木信光子、伊東祐弘子、塚本淸治、花井卓藏
△幹事長　潮內務次官
△幹事　大塚警保局長、次田地方局長、泉二刑事局長、篠原普通學務局長、山本郵務局長、黑崎法制局參事官

政友會當選觀測

二百十八名は確實

【東京十八日發電】政友會は來るべき總選擧に對し現有議員數の維持を目標として犬養總裁を中心に森幹事長、熊谷黨務部長、島田兩總務の現幹部の手許に於て候補者の選定地方地盤の協定等着々選擧の準備を進めてゐるが各府縣に於ける最近の情勢並に候補者の關係より見て其の當選基本數は現在議員數二百三十七名より各府縣を通じて二十七名を減じ新議員八名を增加し差引二百十八名の當選は確實で尙對策如何に依つては七八名を增すことは必らずしも難事でないと見てゐる

政府の總選擧費

總額四百萬圓內外か

【東京十八日發電】議會の解散は遂に避くべからざるものとして關係各省は總選擧經費を調査中であるが、總額約四百萬圓で中機密費は百萬圓餘に上るべく解散直後の臨時閣議で國庫剩餘金中より責任支出するに決定する筈である、なほ右費用の各省內譯は內務省百九十萬圓、司法省百六十萬圓、遞信省百六十萬圓である

解散對策協議

廿日臨時閣議で

【東京十八日發電】政府は二十日午前九時半より臨時閣議を開き解散對策を協議する事となつた

太田關東長官濱口首相を訪問

【東京十八日發電】安達內相は十八日午前濱口首相を訪問し選擧秘策につき懇談し次で太田關東長官も首相を訪問して對選擧策、貴族院對策につき懇談する處があつた

堀內參事官後任

【東京十八日發電】北平公使館參事官堀內謙介氏が駐米大使館參事官に榮轉したのでその後任には廣東總領事矢野眞氏が轉ずる事に決定した

我が七割要求は英國再考を約す

主力艦問題は日英間の意見一致

外相閣議で說明

【東京十七日發電】幣原外相は十七日の閣議にて海軍々縮問題に關し左の如く說明した

ロンドン會議も四日の後に迫り各國最後の豫備交涉に努めて居るが本會議々題は英國より提示され其の各々に就き具體的提案がある筈であるが

今日迄の經過

を見るに英國側根本的態度としては

一、地中海協定、海洋自由問題等紛糾の危險あるものには觸れず海軍縮小を抽出された形にて扱ふ

一、最大難問の大型巡洋艦問題を後廻しとして當初戰鬪艦問題を持出す形勢で、我が七割要求は英國が再考して居り本問題の會議迄には尙豫備交涉が繼續されると思ふ

一、主力艦問題に就ては日英間に意見一致してゐる

一、潛水艦全廢は全廢不可能なるは明となり、英國も保有量縮小を希望するに至り我が國も縮小につき討議の用意がある

一、會議の協定は即時効力を發生せしむとの意見は我國と同じである

之に關し閣僚間に意見交換の結果我國は飽く迄

既定方針に基

いて進み殊に七割要求に就いては今後の豫備交涉にて極力その正當なる根據を徹底せしめ、最終的に本會議にて我が要求として持出すべしといふに意見一致を見た

航空母艦の縮小

日英の意見一致か

【東京十八日發電】日英豫備交涉の結果華府條約にて制限外艦艇とされた一萬噸以下の航空母艦即ち所謂補助航空母艦をも如何に其建造技術の發達に伴ひ之が有効艦種となる傾向あるので之をも制限內とするに彼我意見一致したものゝ如くである、更に總噸數縮小については結局現在の最大限二萬七千噸を一萬五千噸乃至二萬五千噸の間に縮小するに落着くものと見られる更に華府會議で許された航空母艦保有量英米十三萬五千噸、日本八萬一千噸を英米十一萬六千噸、日本七萬噸程度に總量を縮小せんとする日本の態度は相當注目され又

撫順自働式電話けふ通話を開始

大正六年九月以來の懸案

炭礦と局の電話併合

撫順炭礦電話は約一千口を擁する一大私設電話で豫て電話統制上及び一般使用者の便利上同地郵便局電話との連絡を

要望され

てゐたが櫻井遞信局長並に山西炭礦長もつとに此點に着目し大正六年九月以來之が對策を研究したが何分通話區域が廣汎にして炭礦事業の性質と法規の拘束とは之が實現を困難ならしめた、然るに當局者は大英斷を以て撫順局の自働式電話開通を機として炭礦電話交換所を廢し撫順局に合併加入することに決定まり昨夏以來工事中のところ愈々十九日午前零時を期して一齊に

切替へを

實施することゝなつた、斯くて撫順電話は一躍關東廳管內第三位の數を占め市民が經濟上運用上利するところ少くないが、一面斯くの如く系統を異にした多數電話を合體し電話統制の實を示したことは我國最初の試みであると謂はれてゐる

撫順局と電話併合功勞者(右、櫻井遞信局長　左、山西炭礦長)

內河航行問題に力を注ぐつもり

最近の外交問題に關して外交部長王氏語る

【上海十七日發電】今朝上海に來た王正廷氏は最近の外交に關し左の如く語る

治外法權

撤廢に關し其後引續き各國と交涉中だが駐米公使伍朝樞氏よりの最近の報告に依ると大分意見が接近して來た新公使ジョンソン氏は廿六七日頃に着任の筈で一段と進展するだらう、英國とはランプソン公使と交涉中だが目下請訓中で回訓の來次第交涉を繼續する、英米とは前後して解決するだらう日支通商條約改訂交涉は重光氏が代理公使に任命されたので愈々近く交涉を開始する事に諒解出來た、日本及び英國との條約改正には特に

內河航行

權問題に力を注ぐ考へだ、臨時法院會議は引續き續行してゐる、露支交涉も目下奉天側と打合せ中で其後進展して居らぬ

巡洋艦問題

解決に關する觀測

豫備交涉中の難關

【東京十七日發電】若槻全權とマクドナルド首相の前後三回に亘る豫備交涉中の難點たる八吋一萬噸巡洋艦問題に對し、確聞する處に依れば英國は此の難問題解決のため、英米假協定に依る英國の保有量十五隻十四萬六千八百噸に更に一隻を加へ十六隻十五萬六千八百噸とし、日英間の均衡を保たんとするもの、結局日本は十四隻十二萬六千噸、英國は十六隻十五萬六千八百噸、米國十八隻十八萬噸と決定し此の問題を解決する肚と見られてゐる

メートル法實施の下打合

鐵道省及び朝鮮鐵道の慫慂により來る四月一日から滿鐵でもメートル法を實施しようといふことに大體の決定を見てゐるも、取引人組合書記長荻原哲藏及び重要物產取引所書記長照井長次郞の兩氏は十七日滿鐵營業課に小林主任を訪問し該問題に對し種々下打合を行ふところあつたが、各關係箇所によつて硏究し、更にその硏究材料を持ちよつて會議を開催することゝなつた

張氏招待に氣乘せず

內地大實業家

【東京十八日發電】張學良氏の日本實業家滿蒙視察團招待に就いては我實業家何れも氣乘薄の態で人選等何等具體的に進んで居らず從來支那に投資してゐた三井、三菱、大倉、古川の如きも支那が約束を無視して顧みぬ苦い經驗を嘗めてゐるので何れも今更實業視察でもあるまいとの意向である上滿蒙の對立今後の見定めさへ付かぬ今日經濟提携を策するも無意味りとしてゐるので結局視察團の實現を見るとするも單なる觀善の意味か僅に雜貨の賣込みを目的とする小商人のための實業團となるものと見てゐる向がある

哈市々政籌備處長

【ハルピン十七日發電】蔡運升氏は一切の官職を辭し單に東北政務委員會の一員として閑職に止まるので後任として鍾毓氏が市政籌備處長に就任し十六日正午蔡氏は鍾毓氏と共に築島滿鐵所長八木領事を歷訪し挨拶をした因に蔡氏は今後もハルビンの自邸に居住すると

勞農々民の家畜濫殺禁止

【モスコー十七日發電】ロシア農民中に農民組合加入に先達ち家畜を屠殺したり家財、器具を破壞するものが漸次增加してロシア經濟界を脅かしてゐる、之に對し勞農政府は地方官憲に訓令を發し富裕な農民で徒らに家畜を屠殺し若しくは他人を使嗾して斯くの如き行爲を爲さしむるものは其所有する土地及び家畜を沒收したる上二ケ年の禁錮刑に處し居住地方より放逐せしむることゝなつた、農民組合は家畜を屠殺し家財、器具を破壞せる者を加入せしめぬ規命を受けてゐる

旅順九聯隊交代兵

旅順駐劄第九聯隊に交代兵として入隊すべき初年兵は一月十五日午前十一時五十五分京都驛を發し同十六日大阪から陸軍輸送船宇品丸に便乘し一路旅順に向け出發した

埠頭クレーン名稱

現在大連埠頭に使用中のクレーン十五個あり從來是等に名稱は無かつたが今回第十五埠頭右側より順次に一より十五迄番號を附した

莫德惠督辦赴寗期

【奉天特電十八日發】東鐵督辦莫德惠氏は二十日若くは廿一日南京へ向け出發の筈

小賣物價低落

【東京十七日發電】日銀調査に依れば一月中の小賣物價は調査品目百品中騰貴三品、低落二十六品保合七十一品で總平均指數一七〇・一で前月一七一・四に比し八厘の低落である

辭令

【東京十八日發電】
領事兼關東廳事務官　田代重德
任朝鮮總督府事務官

うらる丸

十九日午前八時半大連港外着豫定

人事

▲岡崎半兵衞氏　今般市內山縣通土木建築請負業合資會社久保田組の技師長として入社
▲宇野卯成氏(大連寺住職)今回東京市下谷區妙圓寺へ轉任を命ぜられ十八日出帆はるびん丸で上京することゝなつたので十七日後任の松村壽顯氏を同道市內關係方面を歷訪挨拶した
▲下野重三郞氏(盛京時報大連支社長)新任挨拶のため十八日市內各方面を歷訪

安樂椅子

(略)

本日滿報及附錄を添ふ

特產　定期後場(銀建)
現物後場(銀建)
錢鈔
定期後場(單位錢)
現物後場(單位錢)
商品　後場
神戶特產(十八日)
東京株式(長期)
大阪株式
大阪綿糸
東京期米
大阪期米

滿日地方版

奉天

繼母に虐められ十四少年の家出　列車内で警官が發見

十五日午後十一時頃下り廿五列車が奉天驛を發車間際に同列車の三等車内に十三四歳位の日本少年が無賃乘車してゐるのを警乘員が發見し文官屯驛到着と同時に下車せしめ保護を加へて送り返したがこの少年は奉天江島町二番地當原勝太郎長男貞夫（一四）で聞く處によれば貞夫の母は繼母で家庭の圓滿を缺き常に無斷家出して騷がした事のある少年であると

温泉廻り團奉天見物

本社主催の溫泉廻り團一行は大連鐵道事務所の林信記氏及び本社の淺枝畫伯同道で十七日午前十一時半着奉し大部分は自動車を驅つて北陵見物に赴き一部分は城內見物その他に向つたが無風快晴に惠まれ厳寒中には珍しい遊覽日だつたので一行孰れも滿足してゐた

優勝旗爭覇戰　奉天道場にて

武道奬勵會主催第三回優勝旗爭覇戰は二月九日午前九時から奉天署道場に於て擧行されるが本年は昨年の優勝組である醫大（劍道）警察（柔道）の外にも之を奪回すべく猛練習を續行してゐるチームもあるので盛會が期待されてゐる尙劍道は二段以下正選手七名補缺一名柔道は正選手五名補缺一名で希望者はチームを整へ二月五日まで奉天署へ申込まれたいと

格鬪の上捕へた曲者　全く冤罪と判る

十六日夕金票千三百圓を强奪せる强盜が百七十號列車で奉天に向つたとの手配捜査を受けた奉天署では折から舊年末で非常警戒に努め緊張し切つてゐる時なのでおのれ逃さじと同列車警乘員並に各驛取締巡査に通告し大警戒の中に百七十號列車に警官を乘り込ませ進行中犯人と思はれる一支那人を格鬪の上逮捕し奉天署に送り取調べを行つた處その實は强盜でも何でもなく撫順よりも奉天の方が兩替の率がよいといふので千五十圓を持ち奉天に來た事が判明した

人事

▲佐藤滿鐵々道部次長　十七日安奉線急行にて來奉同日歸連
▲二宮憲兵隊長　十六日過奉旅順へ
▲川合奉天署長　十六日鞍山より歸奉
▲松田關東廳高等警察課長　廿一日急行にて來奉二泊二十三日鐵嶺へ向ふ筈
▲有田同保安課長　同上
▲齊吉長鐵路副局長　十七日長春より來奉

沿線ところどころ（一）

豫定もなければ、順序もない、長くつて一泊、短ければ數時間、仕事の暇々に五日か一週間の沿線飛び步記、臍の緒切つて最初の滿洲旅行、いきのいゝ處をと云ひたいが、問屋が卸さぬ。大きな聲では云へぬが……實繋ぎ、と御承知ありたい。事實、今更めいた土地の紹介、歷史の復習では讀者諸君の方で願下げだらう。

◇

で、私事に亘つて恐縮だが……

◇

「人生なんて變なものだなあ」——夜汽車の寢臺は、通路の電燈をカーテンで遮つて、仄かな薄明り、みうちを擽るやうな暖かさに抱擁されながら、凝つと考へ込んだことだ。

闇の曠野は凍てついてゐるであらう滿洲の深夜を、長春行の急行列車は轟々と驅る——午前二時。

◇

出不精で、無口で、だから、一月でも家庭の人達と全然沒交涉で變人扱ひに甘んじてゐた小生、二十年に近い東京生活の間に、電車で一時間の横濱をつい去年まで知らなかつた小生、日曜といへば正午まで寢込んで、午後は陽光ぼッこで晩食を待つ小生——一足飛びに「紅い夕陽」で親意なばかりの滿洲を、夜汽車で、しかも欣々然として、横行するのだから、小生の身にとつては、

「人生は變なものだなあ」

である

◇

が、考へてみると、

「人生に偶然はない」とも云へるのだ。

今を去る十五年前——話は舊い——有樂町から日比谷公園へ拔ける二間幅の路次、花月食堂もあれば故大場茂馬博士の法律事務所もあらうといふものを、誰が、どうして呼び初めたかヤマカン横町。その一劃に聳り立つ一事務所に、小生が通つてゐた事がある。

◇

仕事は月刊雜誌。但し此の雜誌はヤマカンではなかつた。小生なぞは文壇に出る足場にしようなぞと虫のいゝ量見で、會計から顰めッ面を浴びせられながら、正宗白鳥だの、田村とし子だの等々、當時では高い原稿料を奮發して自分も毎號書いたものだつた。

◇

小生の鐚い、然し、ちよッと打算的な努力にも拘らず、雜誌は賣行增加と來ない。そのうちに社主兒玉篁南氏が代議士に當選すると、間もなく廢刊になつたから同氏の宣傳雜誌だつたのか、と力を落した連中もあつたのはヘンだつた。が、兎も角、二千部刷れば八百は賣る。篁南氏からは叱言を喰ふ。小生は苦心慘澹——今から思へば幼稚極まる雜誌だつたのは自認するが、第一、社の連中が酷い。

◇

主筆の松本烏城氏は寡默謹嚴、諤々の論が災をなして當時の寺內朝鮮總督から追はれた名文家「此の口實で俗謠を唱はず」と同人をして讚嘆せしめたものだが、毎月、校正時期となると、忽然として病床に呻吟する癖の持主。主幹の小山田劍南氏と來ると全然野武士の典型だ。素面の時は溫厚玉の如き大人だが、一度盃を擧げたが最後、慷慨淋漓、悲痛の意氣天に冲し、怒號、罵詈、最後が鐵拳だ傍に居る友人、醫者——誰彼の容赦はない。

◇

所謂ヤマカン横町の事務所へ、ごろいらを主題に巢をくつてる連中の處へ袁世凱を手玉に取つたと噂の主の內藤隈南氏、黃興に親交を呈したといふ何とか某氏等々が毎日のやうに縱談橫議だ。福本日南先生も偶に姿を見せられる。薄天鬼氏が肥つた體を大儀さうに持込んで

「蒙古で羊を飼ふので農商務省から補助して貰はにや」

と、柄にない算盤話。

◇

出不精で、無口で、偏窟屋の小生が、その裡に居たのだ。

「北齋の描いた梅曆の丹次郎だね」

篁南氏が小生を評した言葉——思へば夢だ。

が、その丹次郎、見上げるやうな大男の隈南氏の、云ひ分を憤慨して、決闘すると騷いだこともあつた。

◇

朝から晩まで支那が語られ、支那を聞かされる。天下國家が月旦される。十五冠四合瓶の口から飛び出し、十五錢の合の子辨當で大陸跋渉の勇氣が横溢する。小生が遲まきながら「人生修業」「商賣修業」の第一步を踏み出した。ヤマカン横町の事務所——

矢ッ張り支那に緣はあつたのだ

◇

時代は移る。

送別の席に附物の「渭城朝雨」は「テナモンヤモンヤ」の道頓堀節に代り、往年の「北齋描く丹次郎」は鬢髮霜を置いた。弱冠氣銳にして、足、居を出でなかつた小生は、「我見ても久しくなりぬ」の嘆深い現在、夢も遙かに滿洲の曠野を驅騁する——

「人生は變なものだなあ」だが、人生に偶然は無い。

◇

述懷が過ぎた。さて、沿線を巡らう（一記者）

撫順

在撫青年の爲めに青年會館を設立　一部の有識者で計畫

最近撫順體育協會有力者間に多期間戶外的大衆スポーツの猛練習をなし得る大ホールを有する青年會館建設の議が起り既にその設計案まで出來たと傳へられてゐる、場所は眺望もつともよき永安臺社宅街の南臺町と北臺町との中間の廣濶たる空地が擬せられてゐる、その理由は滿洲の冬は餘り長く而もスキー、スケートの如き一部的のものである上降雪量その他の關係上練習し得る日は極めて些なく夏期折角鍛錬した身心が無爲に苦む冬の間ですつかり壞されて了ふ且つ無聊に苦むが爲についうかうかと麻雀などを覺えお終ひには金錢を賭するやうにもなりそれ以上

雜多な弊害 が起るので消極的には滿蒙の第一線に活躍すべき使命ある中堅たる青年の身心の蠹毒を防止するに止らず積極的には夏期と等しい大衆的スポーツの獎勵をなさんとするにある、經費は約五萬圓であらゆる競技の練習をなし得るは勿論室內プールまで設けると云ふのだから在撫幾千の青少年はその實現を非常に渴望してゐる

地下二十米の鉛管が酷寒で破裂する　◇係員泣かせの水道事故◇

流石は滿洲の多連日零下三十幾度と云ふ大陸的酷寒の襲來せし撫順に於て舊臘十二月十八日より一月十五日まで一ケ月足らずの間水道係の調査に依る水道鐵管破裂等の故障が七百七件と云ふのだからたまらぬ、やさしいのは水栓口から三、四尺の凍結を始めひどいのになると屋外の埋沒鉛管二十米突も凍つた上破裂し修理係を泣かした件數も相當ある係員は多い時は四、五十名馳い時でも三十名位が晝夜兼行で忙殺されてゐる、とは滿洲の冬にふさはしい特殊現象である

市場賣上高

撫順市場會社の手を通じて供給されたお正月の材料である舊臘十二月中の魚類菜果類賣場高は總計三萬六下百十六圓六十八錢で三年同月の三萬七千三百十三圓三十五錢に比し一千百九十六圓六十七錢の減少を示し茲にも舊多流行の緊縮の聲が現はれてゐる、尙四年十二月の賣場內譯は次の如くである

▲中央市場　鮮魚が斷然多く二萬一千六百七十二圓四十七錢、次が菜果五千四十九圓四十錢、製造物二千四百二十六圓九十四錢、鹽干もの二千二百十五圓五十二錢、計三萬一千三百六十四圓三十三錢

▲千金市場　魚類は僅に四百六十一圓二十錢、野菜四千二百九十一圓十五錢、計四千七百五十二圓三十五錢

大倉組事務所の小火

古城子スキップ捲現場大倉組出張所事務所より十六日午前九時四十分出火五十四坪を全燒同十時二十分鎭火、損害家屋五百圓、家具衣類一千圓機械類一千二百圓計二千七百圓の損害、原因失火

千金出張所移轉

十六日より撫順局千金出張所は山城町消費組合隣の舊千金郵便局出張所跡に移轉した

安東

安東氷滑大會　けふ鴨綠江リンクで

安東氷滑部の鴨綠江リンクは漸く完成をとげ各選手及び一般會員も毎日猛練習を開始してゐるが、氷滑部幹部は十六日協議の結果、豫定の通り十九日午前九時から安東氷滑大會を開始する事となつた、當日のプログラムは

▲學生の部　二五〇米（二回）五〇〇米（二回）一、五〇〇米（二回）五、〇〇〇米（一回）背進二五〇米（一回）同五〇〇米（一回）千米リレー（一回）

▲中等學生の部　二五〇米（二回）五〇〇米（二回）一、五〇〇米（二回）五、〇〇〇米（一回）一〇、〇〇〇米（一回）背進二五〇米（一回）同五〇〇米（一回）二、〇〇〇米リレー（一回）

▲一般會員の部　二五〇米、五〇〇米、一、五〇〇米（各二回）五、〇〇〇米、一〇、〇〇〇米、背進二五〇米、五〇〇米、二、〇〇〇米リレー（各一回）

▲初年生の部　二五〇米、五〇〇米（各一回）

▲老頭兒組の部　五〇〇米、一、〇〇〇米（各一回）

なほこの外に選手リレー及び團體リレー等も行はれる筈である

林田滿洲體協主事

滿洲體育協會主事林田學氏は十六日來安し氷滑部河原地幹事の案內にて鴨綠江リンクを視察し、更に地方事務所に於て滿鮮大會開催に關する準備その他の件につき協議を遂げた

鞍山

手長の女中　質屋で盜み

鞍山北一條町飲食店「鹿兒島屋」女中柚某は昨年十一月より本年一月までの間に、北二條町質店高島七之助方に出入し數回に亙り金時計五、六個、クローム時計四、五個金指輪二、三個を竊取したこと自白したので目下其筋で嚴重取調べ中である

實業青年團役員會

鞍山實業青年團は十六日午後七時より會堂に於て役員會を開き協議の結果、總務部および常任幹事を廢し幹事全員を四分し月番幹事制に改正、十二日の定例役員會を三日に變更したがその組合せは次の通りである

一番藤招、伊藤、太田▲二番野村、內野、池尻▲三番藤竿、野尻、河村、犬塚▲四番三好、秋貞、武田

警備會議出席者

營口に於て開催される警備會議に出席すべく松木鞍山警察署長、太田驛長、山本保安主任、千山、濱田驛長、神田立山驛長等が十八日出發した

地委聯合會出席者

奉天に於て十八、九の兩日開催せられる全滿地方員聯合會に出席すべく伊藤地方係長は十七日出發し正副會長增田直次、石川義助兩氏は十八日出發した

遼陽

更に代償要求か　工場移轉善後策として　實青年團の態度强硬

遼陽實業青年團總會は十六日午後一時からカフエー笹巻に於て開催出席者廿餘名工場閉鎖後の市內小賣商工業者救濟案に付協議の結果案は微溫的なりとし往年滿鐵が撫順市街地移轉に際し緩和料支拂の實例もあり一層强硬に滿鐵當局に望むべく實青團から實行委員會に希望條件として提出することにし午後四時散會した

遼陽工場跡　使用希望多し

遼陽工場は既報の如く沙河口工場に併合したので其跡を使用せんとする希望者は多く、その主なるものは奉天の野田、大連の機械等及び立山鑛鐵會社等であるが、鑛鐵會社の神保晉藏氏は多年滿鐵に貢獻する處あるので滿鐵本社々長室秘書役田丸一氏が來遼調査中である

新入隊兵到着　廿三日午前

遼陽駐劄步兵第廿聯隊及び工兵第十六大隊第一中隊に入隊した新兵は廿三日朝七時六分着列車で着遼の筈多數歡迎されたしと

地委代表出奉

奉天に於て十八、九の兩日開催の第七回全滿地方委員聯合會には遼陽から青山員雄、安藤吉三郎の兩氏が出席した

工場長別離宴

遼陽工場長杉浦能男氏は廿日午後六時から在住官民の主なる向を公會堂に招待別離の宴を催す

人事

▲山崎副領事鐵道警備會議出席の爲め十八日營口へ
▲長山警察署長　同上
▲横山第十六師團參謀　同上
▲酒井憲兵分隊長　同上
▲田中驛長　同上
▲福田機關區長　同上
▲川村保線區長　同上
▲田島沙河口工場技師長　十七日來遼々陽工場引繼

英國植民地功勞者列傳（十）

在牛津　關屋悌藏

濠太利の部（2）　キャプテン・ジエイムス・クック（下）

その後の航海は案外無事で、遠くオタヘイテ島に到着し、金星觀測の目的も達し、第二の計畫ニユージーランド行に就き容易く今のポバテイー灣に着いた。土人のマオリ族は、この船を大きな島と間違へ、殊にその翼（帆）の美しさに感嘆したと云ふ。こんなことで退屈な長い船路の鬱を遣り、この間、まだ充分探險の屆いて居なかつたニユージーランドの海岸をよく調べた。ニユージーランドが

南北の二島 から成つて居ると云ふことはこの時初めて發見された處々、一路歸英の途に就いて出帆後數日、即ち一七七〇年四月十九日、右舷に陸影を認めた。近づいて見ると思ひがけない大きな土地だ。ニユージーランドの西に大きな島があると云ふことは漠然と云ひ傳へられてゐたがそれが斯の如き美しい大陸であらうとは夢想だもしなかつた。一同意外の收穫に有頂天になつた。この時、一方植物學者でもあつた前掲のジヨセーバンクス（後年のサア、ジエー、バンク?）がこゝで採集して

倫敦へ持歸 つた數種の標本が世界への植物學上貴重な仕事をした後このエンデグー號が初めて錨を下した灣をボタニー灣と呼ぶこの地方の風景が、ウエイルスのペンブロウク、カマアセン邊の丘陵地に似て居るのでニユー、サウス、ウエイルスと名づけた。さて一同、クック、バンクス兩人の技術に全く信頼し何の不安も感じなかつたばかりか、目の前に見る新大陸の美しい姿に誘惑を覺え、もつと長く留まつて更に大きい收穫を擧げたかつたが

公の命令で 來て居ることの航海に豫定の日數をそんなに多く費すわけに行かなかつたので、一まづ錨を上げて本國に向ひ喜望峰を廻つて目出度くプリマスに歸り着き、英國船の世界一周記錄を初めて完成した。クック、バンクスの報告によつて、南洋の新大陸に異常な興味を有つた英國政府は直に第二回探險隊派遣の

計畫を立て た今度はリゾリユーション號（四五〇噸）アドヴエンチニア號（三〇〇噸）の二軍艦でリゾリユーション號の長にクック、アドヴエンチユア號にキヤプテン、フアーノクスを任命した。二艦は一七七二年七月十三日プリマスを出て今度は、前航海の反對に喜望峰から南洋に向つた。頗る難航で、暴風雨のため兩艦が十四週目にやつと落ち合つたこと等があつた。然し兎に角首尾よくボタニー灣に到着し

此處を中心 にニユーサウスウエイルスの奧地、海岸を踏査し、貴重な收穫を擧げた後更にニユージーランドに寄り、ケープホーンを經て本國へ歸つた。第三回の探險が企てられた。派遣艦は前回の二艦で、クックはまたリゾリユーション號の艦長に、デイスカヴリー號へはキャプテン、クラークが任命された。一七七六年七月十二日リゾリユーション號はプリマスを出帆した。此の時クックは年四十八歲、この年で、而も前二回の航海で充分な功績を擧げ、名譽を獲た後、更に

新な冒險に 向はうと云ふ、その冒險も、四五〇噸の扁舟で茫漠たる荒海を乘切らうと云ふ、筆者が彼に感心する最大なものは、この邊の壯な意氣である。しかも彼はこの第三回の冒險に遂に命を棄て了つた。勿論甫んで餘りあることである。彼に猶多くの天壽が藉されたとしたら、それは啻に英國の利益のみではなかつたかもしれない。然し乍ら、此種の冒險家の死所はその冒險の途中である冒險、探險等の效果は必ずしもその

經濟的利益 （之も妙な言葉だが）ばかりでない、詩歌の世界に生き後世の人々の心を鼓まず所がその身上ではあるまいか。冒險家が冒險の途中に身を終ると云ふことは、正にその詩味を無限に引き上げるものであり、彼等の人としての務めを完成するものだらう。筆者はクックの死をから見て居る。第三回の探險は妙な目的を有つて居た。それはケイプ、ホーンとニユージーランドの丁度眞中邊から南極洋へかけて素晴しい

大陸がある と云ふ噂を確めようと云ふのであつた。然し四〇〇噸の小船は充分の續航力がなくその上天候に惠まれなかつたので、思ふやうな探險が出來なかつた。で何の收穫もある筈はなかつたのだけれ共、クックとしては何かあると云ふ噂を全く否定するに足るだけの充分な探險がしたかつたのである。この探險の後、彼等は更に太平洋から大西洋に通ずる航路を南北アメリカのどこかに

見出さうと 云ふ目的の航海に移り、南アメリカの太平洋岸を北航した。彼等はアメリカはどこかで南北に切れて居るのだらうと云ふ考へであつた。彼等はこの時アリユーシヤン群島からベーリング海峽まで行つて居る。規模の大きいと聞くだけで胸がすくではないか。歸航の途中オタヘイテ島で、はしなくも土人と衝突した防禦につとめたが、寡勢の悲しさ恐れを知らない猛獸のやうな土人との太刀打は非常に困難であつた

苦鬪の間に 四人の味方を喪つた。キャプテン、クックもその一人であつた。味方の最後に立つて土人の追擊を防いで居るうち、彼は流れ矢に當つて倒れた。再び起き鬪つて居る裡に、遂に力盡きて息を引とつた。彼は第三回の探險から歸つたら、從男爵位が授けられる筈で、首を長くして歸航を待受けた英國の上下は、この不幸な通信を悲しんだ。キングジヨウジは即座に、彼の寡婦に年三百磅の扶助料を送ることを決定させた。然し繰返す通りキャプテン、クックは寔に死所を得たものである。無事に歸つて從男爵の

榮位を樂ん だ所で何程のことがあつたらう。胸のすくやうな思ひ切つた大冒險で太平洋の南北を征服した後、春の花のやうに突然散つて行つた春を惜む人の心に永く彼の面影が殘る。今日シドニー灣頭の彼の記念像を仰ぐ人の胸に、彼がこのはてしない南太平洋の孤島で敵なく死んで行つたと云ふことが、彼に對する思慕の想ひをどの位强くして居ることであらう。（寫眞はクックと土人の格鬪）

長春

邦人を襲つた强盜の片割

去る十四日市內三笠町四丁目二十七番地藥種商日昇堂事井手傳治（四六）方を襲つた强盜二名はその場から姿を晦ましのたで極力嚴探中十六日城內新市場廣澤醫院前に於て擧動不審の一支那人を發見し日支警官共力して取押へ、公安局に連行取調べた所日昇堂方に押入つた强盜の一名にて山東省生吳國新（二〇）なること自白した

校長會議に出席

來る二十二、三、四日間滿鐵本社に於て小學校長會議が開催されるので長春からは上原室町、田城西廣場各小學校長、小林公學堂長が出席すると

同仁醫院の失火

市內富士町同仁醫院方では十六日午前一時頃失火し居室及び事務室の一部を燒いたが大事に至らずして消し止めた原因は煖房の不完全かららしいと

新築郵便局へ　十九日に移轉

今回新築された郵便局は昨年中に引越の豫定であつたが年末に差迫つた爲め延期され愈々十九日移轉した、新築と共に計畫された自動式交換機も實現の運びとなり、十五日より配線其他の工事に着手したが、自動交換機も二月中には到着の筈で愈々完成され自動式に依り通話されるのは三月半頃になるであらう、右自動式に改正の爲め電話交換局のみは現在のまゝ繼續され完成と共に引揚げると

原視學大連へ赴任

今回大連民政署に榮轉した當支署の原視學は十六日七時五十五分發列車にて家族同伴離長した、驛頭には署長兩課長以下署員市民、支那人等多數の見送りがあつた

四平街

六百人收容の滿鐵講堂　公會堂に利用

公會堂建設計畫は久しき以前より地方の懸案となつてゐたが累年委託せる地方財界では工費捻出に方法なく其必要に迫られつゝも荏苒今日に至つてゐた折柄滿鐵本年度の施設として現存の社員俱樂部橫手空地（從來相撲場跡）に工費二萬八千餘圓總坪數四一〇平方米突に六百名を收容し得る大講堂を建設すべく既に滿鐵本社の認可を經て本年の解氷期を俟つて着手し秋期までに竣工せしむべく確定したが前記地方の計畫である公會堂が果して何時になれば實現するか今尙豫想すらつかざる折柄とて滿鐵側の企ては最も機宜を得た地方施設なりと喜んでゐるが該講堂に百尺竿頭更に一步を進めて公會堂代用として一般地方に開放する樣地方側より滿鐵に請願する處あつたが滿鐵側も地方の實情に鑑みて右請願を諒とし公會堂代用として開放することに決したがそれには該講堂の施設に更に舞臺並びに樂屋等を設け常に活動寫眞、芝居等の興行をもなし得る設備を要すべきが這は滿鐵當事者が地方側との意見を徵して理想的に設備をなすことに確定したが右地方側より舞臺樂屋の附帶工費は一般地方民より金五千圓醵金して前記工費の一部を援助することになつた

貔子窩

舊年末に一仕事　貔子窩馬賊團部下を集合

日本のお正月も過ぎて今度は支那人に慌たゞしい年の瀨が訪れた、此苦い決算を濟ませる爲めに强盜が橫行する、馬賊の樣な商賣にもお正月が來る、莊復二縣を根據に暴威を逞しうして居る匪賊頭目曲長江は一時何處にか姿を晦まして居たが、最近部下二十名を率ゐ莊河縣玉皇廟附近に潛伏し復縣の全明以を頭目とする約十名の一團と合し、此年末に一仕事せんものと此外に各地に散在する舊部下を集合しつゝある模樣である、警務課では何時當管內に入るやも判らんので署員を督勵し警戒を嚴にしてゐる

開原

兩課長視察

關東廳松田高等警察、有田保安兩課長は所管事務視察のため管內各署巡視の途次來る二十三日午前十一時二十一分着列車にて鐵嶺より來開し事務視察の上同日午後五時三十三分發列車にて四平街に向ふ

川崎所長招宴

川崎所長は十六日午後六時より當地新聞記者を二葉に招待し盛宴を催した

鐵嶺

華商窮境　廢業居出者廿軒に達す

舊節季の逼迫と共に支那側商店は難關切拔け策に相當頭を惱ましてゐる模樣なるが既に廢業申出る者も最近稅捐局に届出たる者二十軒に達し中には理髮店、靴屋、染物屋錢舖、特產商、質屋等一寸名を知られた店もあると

入學届出を　至急提出されたい

鐵嶺に於ける本年度學齡兒童は八十八名の處入學願書の提出者僅に卅一名に過ぎず書類整理入學準備等にも支障あるにつき期日たる二十日前に至急入學願書を提出されたいと希望してゐる尙學齡兒童は來る二十五日午後一時より病院に於てトラホーム檢査を行ひ二十八日午前九時より小學校に於て學校專門醫の體格檢査及父兄と學校側との懇談會を催すにつき當日は父兄同道出席されたしと

鐵倶電話架設

滿鐵クラブでは十六日より公衆電話を架設した番號は三百二十六番であると

日語學堂學生募集

當地日語學堂では來る四月新學期に入學の學生を募集するが人員は六十名願書受付は三月二十日まで二十五日に入學試驗を行ふと

人事

▲江草憲兵分隊長　十五日衞戍病院より退院自宅で療養中
▲末廣榮二氏　全滿地方委員會出席の爲め十七日赴奉
▲山田耕藏氏　同上十八日赴奉
▲所德人氏（新任鐵嶺公安局第十五大隊長）　十五日着任挨拶の爲め各方面歷訪

南征雜錄 (84)

難波勝治

日本人と農業 (上)

比島に於ける日本人集合地は大別して五箇所ある、ルスン島のマニラとバギウ、セブ島のセブ、ミンダナオ島のダバオ及びサンボアンガが即ちそれで、この中歷史の最も舊いマニラとセブとは、在住者概ね貿易其他の都市營業に從事して居るが、殘り三箇所は農業經營が總ての中堅だ就中注意すべきはこれ等

農業地帶 への入植が、バギウに於けるベンゲット移民に原因附られた事である、比島人が東洋無比の避暑地と誇稱するこの地は、ルスン島北方の西部山脈中にあつて、海拔約五千呎、氣候の好適と風光の明媚とを以て知られて居り、開拓者は現米國大審院長タフト氏である、當時比島總督として令名あつた同氏が、蓁痾の爲めに同所にキャムプ生活を送つたのが緣となり、これを避暑保養の地たらしむべく

基礎案を 設計させた、其うちダルモチス驛からバギウまでの自動車道路築造のために、一千五百人の日本勞働者を輸入したが時は明治三十六年、今を距ること二十七年の昔語である、ボエド河に沿ふて左曲右折する二十五哩の谿谷は、木曾川の上流にも比すべき峻拔險難の奇勝だけに、開鑿架橋の諸工事に使役された同胞の勞苦は一方でなかつた、二個年後の竣功と共に大部は日本に送還されたが、その中バギウ市の郊外に足を駐めた者、及びミンダナオ島のダバオに渡航した人々は、この兩地に

農業經營 の基礎を開拓したのである、ダバオに比すればバギウの耕地は數と量と乏しく小さいが、其素朴堅實な落着き振りは寧ろ後者が立優つて居る、私は七月二十三日以後の三日間を同地の觀察に費したが、ダモルチスはマニラを北に距ること百五十哩、其處から乘合自動車で驅登る二時間の山路は、溪澗岩を嚙む深谿を下瞰し、布を懸けたやうな瀑流や、空にそゝり立つ斷崖絕壁や、いやが上に重なり合ふ峰巒や

それ等を 彩る疎らな松林など眞に飽くなき幽雅な勝景を送迎する、バギウ驛に着いたのは午後五時過ぎ、其處から中央盆地の右手を降り行く一筋道は、煉瓦木造取交ぜた家屋が立ち並んで、市中唯一の繁華な商店街である、目下人口約七千、市廳あり、寺敎院あり、夏期行政官の事務所に充當する諸建築あり、(圓形劇場)キャムプ・ジョン・ヘイあり、比島敎員大會用のテイチャース・キャムプあり、中央盆地のバアンハム公園を遶つて、ホテル、別莊、住宅等が

林樹の間 に隱見する光景は宛然一幅の畫圖である、旅館は米人經營のパイン・ホテルを第一とし、スペイン人、ヒリッピン人支那人の營業する者各一戶あり、私の落着いた支那人旅館ワシントン・ホテルは、昭和三年四月開業した木造の新家屋で間數四十を有する清楚な三階建である、何よりも心強いのは日本商店の發展振りで早川商店の如きは各國人中その右に出づる者もないが、更にこれ等邦商の幾んど總てが

赤手空拳 で仕上げた處に特色がある、早川商店主早川秀雄君はベンゲット移民中に交つて身を立てた山梨縣人だが、二十餘年間拮据經營して今日の產を成し、雜貨商を本業に建築輸送等の諸方面に手を擴げて居る、今しも活動の衝に當る令息豐平君は

神戶高商 卒業後渡航してから茲に十四年、業務の傍ら民會長として邦人間に信望を博して居るが、試みに主なる商店を擧ぐれば左の通りである

業種	氏名
雜貨請負及運送業	早川豐平
時計販賣	浦田松雄
食料雜貨	木下初六
同上	阿部商店
雜貨商	谷水松吉
同上	荒川 豐
同上	宮井國吉
寫眞業	辻 義光

このうち 浦田君の鄕里は熊本縣、農學校卒業後米國に渡航し、コロラド州でキャベツ栽培に從事して居たが、十年前友人を賴つてダバオに轉住し、間もなく避暑の積りで出懸けたのがこの地に落着く緣となつた、お門違ひの時計商はホンの申譯、民會副長として專ら農業地の改善發達に努力して居る【寫眞はバギウのベンゲット道路】

馬の偉勳 (上)

死の魔手から人間を救ふ

血液十四萬瓦を供給した馬 免疫血清の犧牲

南滿獸醫畜產學會 倉賀野晉

人類社會に及ぼす馬の貢獻は軍事產業、交通運搬から娛樂機關たる外尙隱れたる功績がある、殊に吾人生命の危機に際し顯著の勳功を奏して居る、即ち醫療的方面に於て血清療法に對し貴重なる血淸を人類に供給することである、容姿大に揚り步樣輕快の駿馬は騎士に謳歌され、雄大力量强大なる肥馬は輓曳農耕に、夫々適所に使役せられるが不幸にして體軀の發育整調ならず充分なる勞役に服し得ない馬も血淸療法に利用される場合にありては天晴

偉勳を奏 し幾百千の人命を救ふのである、馬は血淸療法に要する免疫血淸を供給し人類の惡疫傳染病、家畜傳染病の免疫血淸を供給するが、人類と至大の關係ある傳染病中殊にヂフテリーに對する場合を次に說明しよう、抑々ヂフテリーの血清療法は吾が北里博士が今を去る三十年前ドイツのコッホ先生の許に於て細菌學免疫學に沒頭研究せられた際、ベーリング先生と共同研究を遂げ遂に完成したものである、其の實施は明治二十七年末からであるが、其奏效神の如きヂフテリー血淸の製造は明治二十六年頃に着手したもので、先づ緬羊に對してヂフテリー毒を注射する第一回は熱發、食慾斷絕

苦惱衰弱 を伴ふが恢復を待つて第二回第三回の注射を行ひ遂に免疫たらしめた此の緬羊から血淸を絞り取るが死に至らしめぬ程度にて止め、健康恢復を待つて更に採血する方法であつた、然し血淸の需用が多くなるに伴ひ緬羊の代りに馬を用ゐることになつたのである、馬を免疫せしめた時代は明治二十八年であるが最初これがために十五頭の馬を用ゐた、其中一頭の馬は非常に高度に免疫した、此の馬は格別の名馬でもなく血統も判明せず

凡庸なる 馬であつたけれども體質が良く免疫付與操作が順調に運んで有効なる血淸を提供したのである、其後も斯く强き免疫血淸を得らるゝものは稀であつたこの可憐なる犧牲動物が八年の久しきに亘り供給したる血淸量は總計實に十三萬七千百瓦に達した、唯一匹の馬から得たる血淸の爲めに九死に一生を得た人は幾百人に達したことであらう、容姿振はざる一駄馬と雖もその偉大なる勳功に對しても感謝の念を禁じ得ない

紅い夕陽

滿洲安圖縣松風落月嶺林中に根據を有する朝鮮獨立標榜の一派百濟團は、舊臘の臨事總會で懸賞付襲擊隊鮮內潛入を決議し實行に着手した▲この懸賞付襲擊隊は血氣の靑年四十名を四隊に分けて武裝せしめ結氷期中に鴨綠江岸地帶を襲擊するといふので懸賞方法は目指す對手一名を殪せば賞金三百圓、二名が五百圓、三名以上五名に八百六十圓、六名以上十名に對しては千三百圓○○を奪ひ武器を掠奪した際には長銃、軍刀、拳銃の種別に應じ夫々賞金が異る事になつてゐる▲各隊は舊臘二十日根據地を出發し第一隊は馬道山、第二隊は玄一虛、第三隊は張英哲、第四隊は黃世雄の指揮で長白縣以下安東縣までの間に通路を求め鴨綠江岸に向つたと

投書歡迎

新聞行數五十行以內のこと 中傷を目的とするものは採らず

鐵道事務所の方々への希望

奉天 一特產商

奉天驛食堂へ行つてみると正午頃はいつも大入滿員だ、どうかすると席が空くのを待ちくたびれて退却する事すらある、常連の內には滿鐵事務所の偉い方々の顏が見えるがこの方々の腰が頗る長い、定つて一時半の急行列車の發車まで雜談が續く、一般の迷惑は勿論驛員連中も不平たらたらである、この方々も食堂のお客樣である以上別に文句をいふ譯ではないが相成るべくは事務所內の專用食堂で願ふ事はできないだらうか?お役目から特に一般旅客の便宜に御注意をいただきたいものだ。

市中の浴場の改善を切望す

大連 入港狂

僕は昨年の七月以來朝鮮の京城で暮したが、赴任準備かたがた當地で先方の新聞を爾讀してゐる間に最も頭を惱ましたのは浴場だ、新聞の記事によると恐ろしく不潔で到頭警察から干涉を初めたがなかなか改善されない、といふのだ一日に二度でもお辭儀をしない入浴好きの僕は何よりも怖氣を振つて縮み上つたものだが、行つて見ると大した相違、このお湯屋で不足の云へる京城人がつくづく羨しくなつた。東京と藤澤、大阪と尼ヶ崎――京城と大連の湯屋を比較するとそれ位の優劣はある。劣つてゐるのは……遺憾ながら大連の方だ。第一、水が違ふ。大連の湯屋で水道を使用してゐる所があるか、僕ですら三日も入浴を續けようものなら皮膚が痛むのだから、大連女性の玉肌に及ぼす被害に至つては慘憺たるものがあらう。浴場內の陰暗不潔に至つては沙汰の限りだ。最近警察署から注意方を示達するといふ新聞記事を見たが遲い〱である。文化都市が聞いて呆れる醜態だ。それでゐて京城は十月六錢に値下したのだから大連のは高からう惡からうだ。入浴者が慾いにしてから湯屋擁護ばかりでは公衆衛生の保善は困難だらう。自宅に湯殿を持たない人達の事も考へなければ內地人の所謂植民地式ダラ官の標本になる。

食物の 消化と不消化

＝好き嫌ひ＝ といふ事と消化不消化とは密接な關係がある。たとへば如何に牛乳が消化がよいと言つても、牛乳を好まない人には容易に消化しないのみならず異常の醱酵作用を起したりすることさへある。また反對に、蛸の如き消化し難い物でも、之を好む人の胃腸は忽ち消化して了ふ。之が好かない人だと殆ど絶體に消化しない。時には其のまゝ糞便の中に出て來ることがある。また習慣と消化とも關係が深い、たとへば

＝澱粉質を＝ 食ひなれた胃腸と、蛋白質を消化しつけた胃腸とがある。勿論詳細な研究をして見れば分らぬことであるが日本人は祖先傳來澱粉で生活して來てゐるから、概して澱粉に對する消化力が遺傳的に強いやうに思はれる。從つて消化云々といふことも一概には言はれないことで、その人の健康狀態と嗜好とを考へなければならぬ。それから俗に消化がよい、悪いといふこと、學問上の消化の良否とは少しく違つてゐる。俗に消化がいゝといふのは食べてから早く

＝腹の空く＝ ものであるが、單に腹が空き易いといふだけでは、未だ本當の消化がいゝといふことにならぬ。早く腹が好くといふことは、食べたものが早く胃を通りぬけるといふことで、空腹を感ずるから、それで早く通り拔けるものが消化がよいと俗に考へるわけである。ところが、胃腸を通り拔けてその儘それが便と一緒に出てしまつたのでは何んにもならない。そこで先づ

＝學問上の＝ 消化の良否を調べるには、食つたものが幾ら身體に殘つて、即ち吸收されて幾ら外に排泄されたかを見るのである。例へば飯を二杯食ふとしたら、飯三杯の中にある滋分を計つて、それから大便を調べる、さうして食物の方にあつた滋分と、大便の中にまだ殘つてゐる滋分とを差引いた殘りが、消化されたと見るのである。その消化の割合を計算したものが即ち「消化率」で消化率のよいものが本當に消化のよい食物なのである。そこで、こうした研究の結果から見ると

＝蛋白質や＝ 脂肪に富んだ食物は概して胃腸を通りぬけることが非常に遲い。即ち野菜と肉類とを比較すると、肉の方は野菜より遙かに消化率は高いが、肉を食ふと、いつまでも腹に持つてゐるから、なか〳〵腹が空かない「どうも肉類は消化が悪い」などいふ人があるのも全くそのためであるが、實際は野菜類より肉類の方が遙かに消化がよいのである兎に角腹が早く空くから消化がいゝと思ふのは大いなる誤りである却つて消化が悪いために早く腹を通ることのあることを考へねばならぬ。

生食は 健康を増進する

吾々は物を美味しくたべるために常に煮たりやいたりして食べるがそれは生で食べる場合とは大變その效果がちがふ。それは次の様な試驗によつて立派に證明される。即ち鼠に米を主食として之にバタ、オリザリン、カゼイン等を適宜に與へて、煮た米を與へたものと、生の米をあたへたものとを比較した處、煮て食べさせるものは最初のうちは成長が早かつたが早く死亡した。之に反して生で與へたものは比較的永く生存した事實を確める事が出來た。これは始め單に不思議な現象とのみ考へてゐたのであるが、その後、二三年經て、一九二六年にドイツの消化器病學會に於て生食食療法について報告があり、一九二八年にはオランダで開かれた同學會では人體について研究された結果生食療法の效果が認められた。それは、生食は健康者に用ひればいよ〳〵榮養を良くし、病人、特に貧血症、肺結核、糖尿病、心臟病、腎臟病、不妊症の人々に效果の多いことが分り、なほ病氣の治療を早からしめる。これは生命によつて新陳代謝機能を旺ならしめ食事様式による身體の變調を整へる作用がありカロリーやヴイタミンのみでは不足する何物かを補給する働きを持つてゐるからである

大チャンノ モウジウガリ （8）

ハルミチ作　ジラウ畫

ソレコソ　コンナ　オホダコ　ニ　スヒツカレテハ　ボケツトカシマシ　タイヘン　デス。大チャン　ハ、ポケツトカラ、ピストル　ヲ　トリダシ、タコ　ノ　アタマ　ヲ　メガケテ、メツタウチニ　シマシタ。シカシ　タコ　ハ、スコシモ　ヒルマズ、オホキナ　アシ　ヲ　オドラセナガラ、フタリ　ノ　ハウニ　セマツテキマス。

フイニ　キリツケラレテ　オドロイタ　タコクン　ハ　ウミ　ノ　ウヘ　ニ、ニユーツ　ト　オホキナ　アタマ　ヲ　アゲテ、クチ　ヲ　トガラセマシタ。ソシテ、ヘビ　ノ　ヤウニ　ナガイ　アシ　ヲ　ナンボンモ　ウゴメカシナガラ　イマニモ大　チヤン　ヤ、オヂサン　ニ、スヒツカウト　シマシタ。

懸賞童話 ＝佳作＝

比呂志 （上）

敏　浩二郎

今日も比呂志は校庭の東のすみに植ゑられてあるポプラによりかゝつて、晴れ渡つた空を、ジツと見つめて居るのでした。

秋です。

澄み切つた大空、色づいて來たポプラ、アカシヤの葉。

秋です。

「池谷君」

比呂志は、ハツとしてふり向きました。

と、一葉、二葉生、氣を奪はれ力もないポプラの葉が、ヒラ〳〵と比呂志の上に落ちて來ました。

そこには、受持ちの土肥先生が眼鏡の奧から優しい瞳を見せて、立つて居りました。

「君はいつも、このポプラによりかゝつて、寂しさうに空を見て居るね」

比呂志は頭をたれました。

重苦い氣が、胸先の方から咽喉元の方へ込み上げて來ました。

「寂しさうにして居ると、しまひには、病氣になるよ」

比呂志は、肩の上にのせられた先生の掌から、いひあらはせない溫かみを感じました。

「滿洲の秋は始めてだね」

比呂志は首をたれたまゝ小さくうなづきました。と、にじみ出た涙が一滴、乾いた赭土の上にポツリと黑く、しるしづけました。

比呂志の胸のうちには、又して も、一度消えた故鄕のことが、繪卷物をひろげる様に、うつし出されました。

藁屋根の大きい家。

枝もたわむ許りにみのつた柿。

白壁の土藏。

栗毛の馬。

土藏のわきに有る樫の木。

樫の實のこま。

………

「池谷君の國はどこ？」

その聲に、胸の手にうつされて居た故鄕のことどもは消えうせて………思はず頭をあげました。

「いばらぎけんです」

「おや？。君は泣いたね」

いはれて、再び首をたれて、面を泪をにじませてゐるのを、先生に見附けられたことが、比呂志には恥られたのでした。

「泣くなんて……泣くなんて……」

二言つゞけ様にいつて先生は、唾を呑み込みました。

「泣いちや駄目だよ。……ね……日本人は、別けても日本男兒は今少し強いはずだよ」

そういつて先生は、比呂志の肩を優しく、二つ三つ叩きました。

「泣くなんて、女の赤ちゃんのすることだよ。池谷君は、日本男兒だらう。泣いちや駄目だよ。泣いちや駄目だよ」

歐米の印象 （20）

日本人でありながら 日本語の勉强

……阿左見福馬……

日本から米國に出稼に來てゐる親の多くは勞働者であるから、うまく英語が話せない。しかし、米國生れの子供達は小さい時から英語で育つてゐるから、日本語は拙いが英語は達者だ。そこで親子の間がどうも旨く行かない。親父が一生懸命日本を說いても、地圖を開けば豆粒大の島であり、街に出れば、天どん、一ぜんめし屋の貧弱さを見せつけられては益々米國カブレになつて了ふ。が然し、中學、女學校と進むにつれ米人はもう學校の往復も一緖にはしない「ジャップ」と云つて馬鹿にする。米人として立つか日本人として立つか第二世の惱みはこゝにある「せめて日本語を學ばせてをいたら」の親心から子供達は放課後日本語學園に通はせてゐるのである（寫眞は在米邦人に日本語を敎へる桑港の金門學園）

阿左見少年團主事の歐米印象記は以上の二十回を以て一先づ完結とします。尙同氏は近く同氏の撮影にかゝる四百餘枚の寫眞を印象記と共に短行本として發表するさうです。

テレビジヨン

◇我國の文字文章及び假名遣ひ等が頗る複雜であることは我國文化發達の上に非常なる障害となつてゐるが、今度近衞文麿公、鎌田榮吉其の他數氏が發起となり國語整理統一の大運動を起すことゝなり各大臣參列の上十五日に發會式を擧げた。

◇…山梨縣東山梨郡後屋敷村女子靑年團では十一日に同村小學校の二階の教室で禮儀作法講習會開催中俄然大音響と共に床が落ちて十數名が重輕傷を負ふた。

◇…和歌山縣高野口町湯本織物の工場の女工田中イノは六十五歳の高齡であるが妊娠三十日に女兒を分娩、母子共健全であるとは珍しい。

◇…鹿兒島で新年明けの七日の夜活動寫眞館に入りゆつくりと映畫を見物しながらい、氣持ちで永眠往生したお婆さんがあつた

◇…長野縣諏訪郡岡谷下町木戸幸次郎長男孝（三）が疊の上に落ちてゐた留針を呑み込み苦悶してゐるのを母親が發見して附近の醫院にかつぎ込み目下手當中お母さん御用心。

ラヂオ露語講座

大連放送局一月二十日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ДВАДЦАТЬ ШЕСТОЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы завтра утром дома.
Б.—Сейчас я хорошо не знаю может быть, буду дома.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы обыкновенно обедаете.
Б.—Я всегда обедаю в двенадцать часов.
А.—А скажите пожалуйста в котором часу вы ужинаете.
Б.—Я ужинаю в семь часов вечера.
А.—Скажите пожалуйста, всегда ли вы встаете в семь часов утра.
Б.—Да, я всегда встаю в это время.
А.—Скажите пожалуйста, в котором часу вы сегодня встали.
Б.—Сегодня я встал в восемь часов утра.
А.—Почему вы так поздно встали.
Б.—Потому что вчера вечером у меня были гости и я поздно лег спать.
А.—Если вы будете свободны в это воскресенье, то приходите, пожалуйста, ко мне.
Б.—Благодарю вас, если я буду свободен в это воскресенье, то непременно приду.

第二十六課

А.—何ウゾ言ツテ下サイ，明朝 貴下ハ御在宅デスカ？
Б.—只今私ハヨクワカリマセン，多分家＝居ルデセウ。
А.—何ウゾ言ツテ下サイ，平常貴下ハ何時＝晝食ナサイマスカ？
Б.—私ハイツモ十二時＝晝食シマス。
А.—何ウゾ言ツテ下サイ，何時＝貴方ハ晩食ナサイマスカ？
Б.—私ハ夜ノ七時＝晩食シマス。
А.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴下ハ常＝朝七時＝起床シマスカ？
Б.—ハイ，私ハ常＝此ノ時刻＝起キマス。
А.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴下ハ今日何時＝起床ナサイマシタカ？
Б.—今日 私ハ 朝ノ八時＝起キマシタ。
А.—何ウシテ貴下ハソンナ＝オソク起キマシタカ？
Б.—何故ナレバ昨晩私ノ處＝オ客ガアリマシタ，ソシテ私ハオソク就床シマシタカラ。
А.—若シモ今度ノ日曜日＝オ暇デシタラ何ウゾ私方ヘオ出デ下サイ。
Б.—有難ウゴザイマス，若シ私今度ノ日曜日暇デシタラ必ズ參リマス。

鼻
鼻腔内分泌腺を調節し、且消炎作用あるを以て、鼻病に確實なる效ある
ミツワ鼻病液
適應症候
鼻加答兒、鼻汁過多、鼻閉塞、鼻充血、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹
眼 ミツワ點眼液
齒 ミツワ齒痛液
ミツワ石鹸本舗 丸見屋商店
熱 痛
感冒、頭痛、齒痛、レウマチス、神經痛等に因る發熱疼痛に卓效ある
ミツワ解熱錠
適應症候
感冒、頭痛、齒痛、レウマチス、神經痛等に因る發熱並びに疼痛
咳・痰 ミツワ鎭咳錠
結核 ミツワミューズ
ミツワ石鹸本舗 東京 丸見屋商店
胃
食欲減退、胃酸過多、胃加答兒等の病的消化器の慢性を帶びたるもの、保健に
ミツワ健胃錠
適應症候
急(慢)性胃加答兒、胃酸過多症、胃弛緩症、胃擴張症、胃下垂症、胃潰瘍、胃痛、消化不良、嘔吐、神經性胃痛
制酸 ミツワ制酸錠
消化 ミツワ消化錠
常に新柄と新型 ユヤカニシツクリト
大連 丁子屋洋服店 電話六二七 振替大連三四九
大連市愛宕町(天金前)
内科專門 櫻井内科醫院 電話七〇〇〇番
産婦人科
婦人の病は婦人の手で
女醫 永井清子
永井婦人醫院
あつさりと美味しくあがる高級食料油 サラダにフライに天ぷらに
ノモイル
一升罐 二升罐 四合瓶
日清製油株式會社
化學工業博覽會銀牌受領 東京博覽會優良國産賞牌受領
ミツワ人參葡萄酒
香味高潔 清和滋養豐富
元氣增進 興奮作用優秀
ミツワ石鹸本舗 丸見屋商店
辻利茶店
イカ鹽辛 ハゼ佃煮
カツヲ鹽辛 アミ佃煮
鮎ノ春日漬 蛤時雨煮
辻利食料品部
品質優良 白米
多少に拘らず御用命願上ます
米穀商 志摩洋行
温泉旅館
御保養に御入浴に永滯在の御客樣にも樂しい遊び場所です
保健浴場
新春劈頭の第一聲!
「今年も朝夕必ずライオン齒磨とライオン齒刷子で齒を磨きませう」
ライオン齒磨
本舗 小林商店 東京・大阪・名古屋
良い醬油は……
キッコータツ
丸辰醬油會社
金華號本店
大原式羽毛蒲團購買會募集
東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるものか、工場の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ嘗て數を見ず輕く暖く保存に便利に使用に簡易衛生完全なる故永久絶對羽虫發生の憂なく至極安心で有升
大原商會大連支店
石綿製各種パッキング
煖房用保溫材料一式
各種スーパーヒートパッキング
朝日石綿煙突
在庫豐富多少に拘らず御用命願ます
杉元商店 大連市

大連錢鈔取引所側と華南側睨みあふ

わづか咯痰問題から端を發して 成行き頗る注目さる

大連錢鈔取引市場では又も華商取引人側との感情問題から紛糾を起し、華商側では取引所の出様によつては同盟休業すると敦圍き双方睨み合の形勢にあり、大連署高等係で警戒中であるが事件の成行は注目されてゐる、問題の發端は錢鈔取引人儲蓄公司某代理人及び益發號某代理人の兩名が

市場内 で屢々痰を吐き散らすので、取引所からその都度注意を與へてゐたが、去る十六日午後の立會に於ても右兩名が場内で痰を吐いたので、取引所側では一罰百戒を見せしめのため、内規に基き右兩名の入場徽章を取り上げ、一時入場禁止を命じた爲め、華商側の反感を買ふた形となつたものである、動機は極めて簡單なるものであるが日頃の反目もあり華商側では寄々協議し取引所側が直ちに右兩代理人の入場禁止を解かなければ同盟休業するといひ形勢穩かならぬ雲行きである

入場禁止は一時的にすぎぬ

内規を遂行したまで 市條市場主任語る

右につき市條市場主任語る

動機は極めて簡單ですが、當市場では場内に於て痰を吐くことを衛生的見地から堅く禁じ、これを犯すものは入場徽章を取りあげる内規を作つてゐます、然るに右兩代理人はしばしば内規を犯して場内で痰を吐き散すので、遂に入場禁止をした譯ですこれも一時的禁止をしたに過ぎぬのです、元來右兩名は性質がよくなく、問題發生以來各方面に惡宣傳を行ひ、今にも同盟休業をするやうに云はれてゐますが、決して華商全般の意向でもなんでもありません

拳銃を擬し所持金強奪

物騷な長春

【長春特電十八日發】十八日午前十一時半ごろ長春城内東四道街糧棧王某（三〇）が吉林官帖廿萬吊（邦貨約八百圓）を所持して附屬地日出町の支店に赴かんとして東四條通りに差かゝつたとき、一名の怪漢現はれ拳銃を擬して現金全部を奪ひ威嚇のため一彈を發射して逃走した事件あり、目下犯人嚴探中

同地以遠支那内地發着電報通信の途が杜絶したので、當地遞信局では遞信省の依頼に依り大連、芝罘間海底線を青島に延長し使用することゝなつたが、右電報は和歐文共大連局で臨時中繼せしむることゝなつた

盛會を極めた新年川柳會

三十數名出席して

わが社主催にかゝる新年川柳會は十六日午後六時より監部通り「いろは」本店に於て開いたが、出席者は三十數名の多數に達し殊に奉天柳界の重鎭田中連樂氏の出席あり近來にない盛會であつた最初高橋月南氏は司會者として開會の挨拶を述べ課題「肩、諦める」を締切つて中沼若蛙氏の最近における内地柳壇の漫談あり、續いて月南氏の滿洲柳壇の將來、青龍刀氏の川柳の傾向について、鐵十氏の所感、かはづ翁の柳壇經營法、司石長介、連樂諸氏の柳壇に對する希望談ありて後課題披講、賞品授與終つて開宴となつたが、酒間扣腹絶倒といふ名八氏案の福引句相撲三番勝負等ありて各賞品を抱いて解散したのは十一時半であつた、尚水府先生選「長」は是非二十日迄投句されたい、當夜の天賞は川柳句帳舍青龍刀、かすみ吟社喜一の兩氏であつた、尚入選句は順次本紙上にて發表する

佐世保青島間の海底電信線不通

【佐世保】佐世保青島間海底電信線は今十八日午前六時半又復不通となり本邦と青島及

巡捕殺しの犯人逮捕

鳳凰城にて

【安東特電十七日發】去る十日午後五時頃市内四番通に於いて安東署の何巡捕長外三名を殺傷、逃走せし犯人逮捕については司法當局に於て不眠不休、捜査中のところ十七日該犯人が安奉線鳳凰城方面に潜伏しをるとの報道に接した安東署高山署長以下司法、警察の幹部其他出動し遂に之を逮捕し、同日午後四時三十五分安東着列車にて押送し來り目下嚴重取調中

最近の視察者を集めて

東京で滿洲座談會開催

滿鐵東京支社の試み

【東京特電十七日發】滿鐵東京支社では二十日午後五時から狸穴の社宅に滿洲座談會を開く筈であるが、出席者は最近滿蒙を視察した著名文士、畫家、其他で目下なほ交渉中であるが、主なる人は長谷川如是閑、堀口九萬一、有島生馬、戸川秋骨、金子しげり、吉屋信子其他松竹、蒲田の野村芳亭を初め男女優數名も出席すべく、初めての試みとして興味を以て觀られてゐる

溫泉めぐり……（二）

湯崗子　淺枝次朗

午後二時鞍山から引返して湯崗子對翠閣に入る、愈々溫泉めぐりらしくなる。

◇——◇

圓形の浴槽に向ひあつて入ると自然からならぬ季節に蓮の花が咲いた、記者はこれを下から見た繪を撮いて見たが一層それらしい、併し發表は遠慮しやう。

◇——◇

こゝでは日本の溫泉でまだ試みられてない泥浴場と云ふのが始まるそうで、只今工事中、地の底から湯と共に湧き出た溫泥の中に入るのだ。

「濕布薬ホスピン、エキシカなぞでさへ効能があるんです、暖かい溫泉の泥で全身を濕布すると……」

天下一の効能書を聞かされた。

巡警殺し犯人逮捕

奉天附屬地で

【奉天特電十八日發】十七日午後六時半頃千代田通七番地先を奉天署の刑事が密行警戒中、擧動不審の一支那人を認め誰何するや逃走を企てたので直に組付き大格闘の上逮捕した、彼は黒山縣生れ蘆韓章（二〇）と稱し此程城内で巡警を射殺した旨を自白したが引續き取調べ中、尚彼はブローニング拳銃を所持してゐた、また同七時頃前記場所で擧動怪しい二鮮人を格闘の上逮捕し目下嚴重取調中である

五百餘名收容さる

校内運動は下火

【京城十七日發電】學生騷擾事件にて十五日から十七日迄に檢擧された男女學生は五百八十五名で内釋放されたものは八十名に過ぎず拘留及び西大門刑務所送りとなつたものが五百餘名に達した、尚校内運動は稍下火となつたが休校中の各學生及び自ら休んでゐる學生が何處かに集合して屋外運動を爲さんとする形勢あるので、警察當局は市内要所に警官を派し嚴戒中である

學生背後の主義者取調べ

【京城十七日發電】京城府内朝鮮人中等學校生徒の騷擾事件は全く社會主義的運動で鍾路署ではその背後の指導團體に目を附け、學生の取調一段落着いた十七日新韓會の吳一徹外十餘名、槿友會の許貞淑その他二十餘名を檢擧嚴重取調中である

劇場で不穩文書を撒布

【京城特電十七日發】十六日午後十時半朝鮮劇場において觀劇中の群衆に不穩の檄文を散布した青年があるので八百名の觀客は大騷ぎとなつたが、直に警官出動して學生五十餘名關係者三十名を逮捕した

又多くなつた浮浪人の鐵砲打

特に沙河口方面が酷い

最近又復市内各方面に浮浪者の鐵砲打が多く女子供許りの各留守宅に於いては大恐慌を呈してゐるが特に此被害が甚だしいのは沙河口方面で十六日午後三時頃沙河口大正通り某家庭に社會館宿泊の二人連が金州迄行く汽車賃が不足だから二十錢貸せと約三十分餘据はり込んでゐた事實もある、鐵砲打も世智辛くなつた昨今十錢二十錢と少額宛強要し而も一度貰へば始終常得意の如く入り代り立ち代り來るので各家庭に於いて可成り惱まされてゐる

醫大遠征軍獨逸で敗北

二回とも

昨年末遠く歐州に遠征した滿洲醫大アイスホッケーチームは一月十五日伯林に於いて全ドイツアイスホッケーチームと對戰したが、遂に十五對四（庄司二點、高橋二點）にて敗北した、當日は日本側は長岡大使を始め公使館、領事館員在留邦人等多數觀戰盛に應援をした尚引續き十六日は伯林スケーチング倶樂部アイスホッケーチームと戰つたが、再び十二對二（平野一點、庄司一點）にて敗北した

大相撲春場所九日目勝負

【東京十七日發電】大相撲九日目の勝負左の如し

勝		負
出羽ヶ岳	（寄り切り）	池田川
若瀬川	（上手投げ）	伊勢濱
汐ヶ濱	（寄り出し）	荒熊
寶川	（寄り倒し）	常陸島
外ヶ濱	（寄り切り）	東關
常陸岳	（押し切り）	劍岳
綾櫻	（押し倒し）	太郎山
星甲	（寄り出し）	山錦
鏡岩	（寄り倒し）	朝光
玉碇	（寄り倒し）	古賀浦
雷の峰	（突き出し）	新海
信夫山	（寄り出し）	吉野山
幡瀬川	（吊り出し）	清水川
武藏山	（寄り切り）	眞鶴
若葉山	（掬ひ投げ）	大蛇山
錦洋	（寄り倒し）	和歌島
玉錦	（寄り切り）	豐國
大の里	（肩すかし）	能代潟
宮城山	（吊り出し）	天龍
朝汐	（突き出し）	常の花

打ち出し五時二十分

千秋樂取組

藤ノ里（常陸岳）大島（伊勢濱）
東關（大汐）朝光（汐ヶ濱）
荒熊（出羽岳）外ヶ濱（常陸島）
若瀬川（寶川）池田川（劍岳）
山錦（鏡岩）玉碇（清水川）
太郎山（古賀浦）星甲（雷ノ峰）
新海（若島）天龍（武藏山）
吉野山（大蛇山）幡瀬川（朝汐）
若葉山（信夫山）大ノ里（玉錦）
眞鶴（豐國）錦洋（能代潟）

小川前鐵相接見禁止を解かる

（常ノ花 宮城山）

【東京十八日發電】市ヶ谷刑務所に收容中の前鐵道大臣小川平吉氏は、十七日午後七時過ぎ接見禁止を解かれ、十八日は早朝より豫審廷に於て取り調べを受けた、同氏を中心とする私鐵疑獄事件も最早一段落を告げた模樣で、同氏も玆一兩日中に假出所を許される樣子である、なほ十八日は面會規定時間の十一時迄には面會を屆出た者は一人もなかつた

苦力來往急激に増加

舊正前になつて急に大連港を中心とする苦力の來往がはげしくなつたが、一月一日より十五日迄海務局の調査するところによると來連苦力男子六千九百十三名、女子七百六十七名、計七千六百八十名、離滿者、男子一萬四千百九名、女子千五百二十六名、計一萬五千六百三十五名で、離滿者の數は素晴しく増加傾向をしめしてゐる

附馬をまく

市内西通一四番地河部正巳（二七）は十七日午後五時、市内春日町樂水カフエーで八十錢の飲食をしたが懷中無一文で女給を附馬に自宅へ歸る途中、行方不明となつた旨大連署に訴へ出た

近く讀者に見ゆ二大雄篇

維新秘史と探偵物

我社が滿洲の文運に資し、讀者諸賢の眷寵に酬ゆべく、常に紙面の刷新充實に精進しつゝあることは、既に各位の諒せらるゝところであるが、左の豫告によつて、我社の微衷を披瀝し得ることを自ら欣快とせざるを得ぬ、即ち現に三上於莵吉氏作の『戀と地獄』に添ふる次の二大傑作を以てし、錦上さらに花を添へんとするものである。

『艶色生膽秘譚』

作者　伊藤松雄氏
挿繪　河原塚龜太郎氏

夕刊連載の「平安異香」は愈々近く大團圓を告げる、讀者諸君の殆ど空前とも云ふべき熱狂的歡呼に感激した我社は、矢繼早に上記の創作を提供する。東都文壇に雄飛する新進潑剌の才人が、流暢華麗、生氣躍動する筆致の妙は、取材の斬新怪奇と相俟つて、妖艶、壯快、悽愴、憂愁、幾多の劇的場面を展開し來つて、讀者の心魂を震撼し去るを疑はない。

作者の言葉

伊藤松雄

「維新革命」の事業は、果して正史に傳へらるゝが如き偉人、傑士、女丈夫……のみに依つて成就されたものであらうか？

徳川治世三百年、泰平の夢をまどろむでゐた大江戸の市中に、叛幕府的精神を喚起し、且つその人心動搖を企圖して、革命時代の招來に努めた者、即ち、無名の浪士、鼠賊、女怪、賣僧……いはゞ市井のどん底に潜居し、夜の闇黒に悪の華を咲かせて居つた輩こそ、反つてその種蒔に與つて力あつたのである。

いまや私は、彼等の埋もれてゐた歷埃を掘つて、此處に「維新革命」秘史を、公明なる陽光に曝して見たく思ふ。

そこにこの物語りの稿を起す理由と興味とは存するのだ（記者の言葉）

探偵小說『女妖』

合作　江戸川亂步氏
　　　横溝正史氏
畫　伊藤幾久造氏

亂步氏は探偵小說界の覇王、正史氏は森下雨村氏の後を受けた「新青年」編輯者—この兩巨星の日本に於ける最初の合作、これが驚異以外の何ものであらう？我社の讀者奉仕の努力は完全に酬いられた。亂步氏の瑰麗奇峭、正史氏の雋拔機織、凝つて浮び出す「迷路の殿堂」は、近く朝刊紙上に懷しくも、芳はしき藝術的驚奇の畫面を出現し來るであらう

満洲日報社

家路をいそぐ

ひるさがりの街頭所見

戀と地獄（16）

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

厭はしき訪客（五）

「しかしですな、これはこの場限りのことですが、何といつても僕は職務で、若しあなた方の思想がより漸進的な穩和なものになり得るとすれば、決して抑壓すべきものではないと私などは考へてゐるのです。たゞ、丘さんなんかの過激派的な運動に接近なさりなぞすると、どうも、役目の上から默つて見てはゐられなくなるので——」

と、言ひかけて、急にだしぬけに、

「丘さんに最後にお逢ひになつたのはいつです？」

この質問は大さう突然であると同時に、甚だしく自然な口調で發せられた。もし、無用心な藤田であれば、ついその調子に捲き込まれて「ええ、昨晩逢ひました」と答へてしまひ兼ねない程、素直な語調だつた。

藤田はしかし用心し拔いてゐた。彼はジロリと刑事を見た。

「丘さんと——」

と、それだけ彼は訊き返すやうに言つた。

刑事はまんまと、睨みがはづれたのを直覺して、

「ええ、丘さんとお逢ひになつたのは何日です？　多分もうずつとお逢ひなるまいと考へるのですが——」

と、少しバツ惡さうに言つた。

「いかにも久しく逢ひません」

と、藤田は十分の餘裕を得て答へた。

「何しろ勤めてゐる社が貧乏で、社長と僕と二人きりで事務を片づけるのですから、なかなか他人を訪ねるひまもありません。いそがしい仕事に疲れると、かへつて來ればこの通り、ぐつたりして、社會改革どころではありませんからね」

「ぢやあ、この頃はまああの連中と御交際なさらんと認めてもいいですな」

と、刑事は言つて、

「しかし、もしそれが嘘だと私の報告がまるで價値のないものになつて了ふのです。——ちつと私たちのことも可哀さうに思つて眞相を聞かせて下さい」

と、例の絶えざるニヤ〳〵笑ひで言つた。

藤田は默つて答へなかつた。

「時に、只今お書きになつてゐるのは何です？　論文ですか？」

と、刑事は卓の上を覗き込んだ。

藤田は一種勝ち誇つて微笑した。

「これですか、これは少年小說ですよ。立志小說ですよ。僕も小說家に商賣換へでもしやうかと思ひましてね」

「へえ、少年小說——」

「讀んで御覽になれば判ります。何なら御通讀下すつても差支へありません」

「イヤ、さういふ物と判ればいいのです。たゞ、目下どんな事をなすつてゐるといふことを、例のソレ「報告書」といふ奴に書き歡せなければならないものですから——」

太田刑事はかくしから手帳を取り出して、短い鉛筆のサキをなめ〳〵何やら五六行書きつけた。

滿日俳壇　募集規定

次回課題「鶯」「多の梅」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切一月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲露西亞事情（第九十五輯）「ペセドフスキー事情」が前號に續く〳〵定價廿錢東京丸ノ内ビルヂング内八九一露西亞通信社）

▲戰友（一月號）在鄕軍人會の機關雜誌である（定價十錢東京牛込區原町帝國在鄕軍人會本部發行）